

安芸太田町地域 ICT 利活用モデル構築事業
行政のユニバーサルサービス提供に向けた
地域情報分析システム

報 告 書

平成 20 年 3 月

安芸太田町

目 次

序章	1
序-1 事業の背景と目的	1
序-2 調査のフロー	2
序-3 事業の概要	3
第1章 活動可能性に関する調査の概要	4
1-1. 活動可能性に関する調査の基本方針	4
1-2. 生活実態調査	4
1-3. ワークショップ	5
第2章 生活実態調査の結果	7
2-1. 生活実態調査の結果概要	7
2-2. 生活実態調査結果の集計	7
第3章 暮らしの診断カルテづくりワークショップ	8
3-1. 第1回ワークショップ（座談会）	8
3-2. 暮らしのカルテ集計表	17
3-3. 第2回ワークショップ（座談会）	18
第4章 活動可能性データの作成	27
4-1. 活動可能性データ整備の流れ	27
4-2. 活動可能性データ整備	27
第5章 分析システムを利用した事例について	43
5-1. システムの仕組み	43
5-2. 基本データの表示	44
5-2-1. 集落データ	44
5-2-2. 中心部までの距離	45
5-2-3. バス停、バス路線データ	46
5-2-4. 下水整備状況	47
5-2-5. 拠点施設（商業施設）	48
5-2-6. 拠点施設（医療機関）	49
5-2-7. 拠点施設（教育施設）	50
5-2-8. 拠点施設（レジャー施設）	51
5-3. 活動可能性データの表示	52

添付資料	61
資料 1. 「安芸太田町での暮らしに関する」調査	61
資料 2. 安芸太田町の暮らしに関する集計シート	63
資料 3. 安芸太田町暮らしのカルテ集計表	91
資料 4. 安芸太田町地域 ICT 利活用モデル構築システム概要	94

序 章

序－１．事業の背景と目的

安芸太田町では、人口減少の傾向が著しく、昭和 55 年から平成 17 年で人口が 3 分の 2 まで減少している。また、高齢化率が約 42%と、高齢者の生活をサポートする仕組みづくりが急務である。また、過疎化・少子化の進行によって、小中学校の統廃合の動きが本格化しているとともに、町立総合病院の機能統合など町内の各種行政システムが大きく変わろうとしている。さらに、本町は急峻な山地地形に位置しており、居住する集落は山あいの谷筋に点在しているため、交通手段の確保をはじめとした各種の行政効率は非常に低い状況になっている。

このような状況の中、例えば交通対策の状況をみると、免許証を持たない高齢者や移送支援が必要な障害者などでは、それぞれの状況に対応した公共交通サービスなどの施策がなされているが、高齢化による運動能力低下に伴って、バス乗降が厳しい高齢者なども増加しており、様々な属性を持つ住民に最低限の活動機会を提供する行政のユニバーサルサービス提供が求められている。さらに、従来の通院や買い物といった生活を確保するための交通手段の提供といった発想だけでなく、生活を維持するために各種サービスを自宅に配送するような取り組みによって、総合的なサービス向上と行政負担額の削減に向けた施策が不可欠である。

上記のような課題に対して、本事業では以下の取り組みを実施する。

①現況の住民の生活活動可能性に関するデータ整理

GIS を活用して、安芸太田町内の各集落における、詳細に分割した個人属性（主に活動可能性の観点からの分割）毎に様々な活動の可能性をデータとして整理する。データ整理に当たっては、事前にデータ整備システムを構築し、客観的なデータから自動的に入力可能なデータと役場内で整理可能なデータ、公民館や各集落で実際に判断するデータに分割して入力する。

整備した活動可能性データは、バス運行の路線設定を変更することによって、運行対象集落における免許証非保有者の移動可能性が向上することを自動的に更新するなど、施策と連動して更新が可能となるように整理を行う。

また、この活動可能性データは、インターネットを通じて住民がアクセスすることを可能とし、行政施策の透明性とその効果を具体的に周知する道具として活用する。また、NPOや民間企業が当該データから、新たなビジネスやボランティア活動を考える基礎となる。

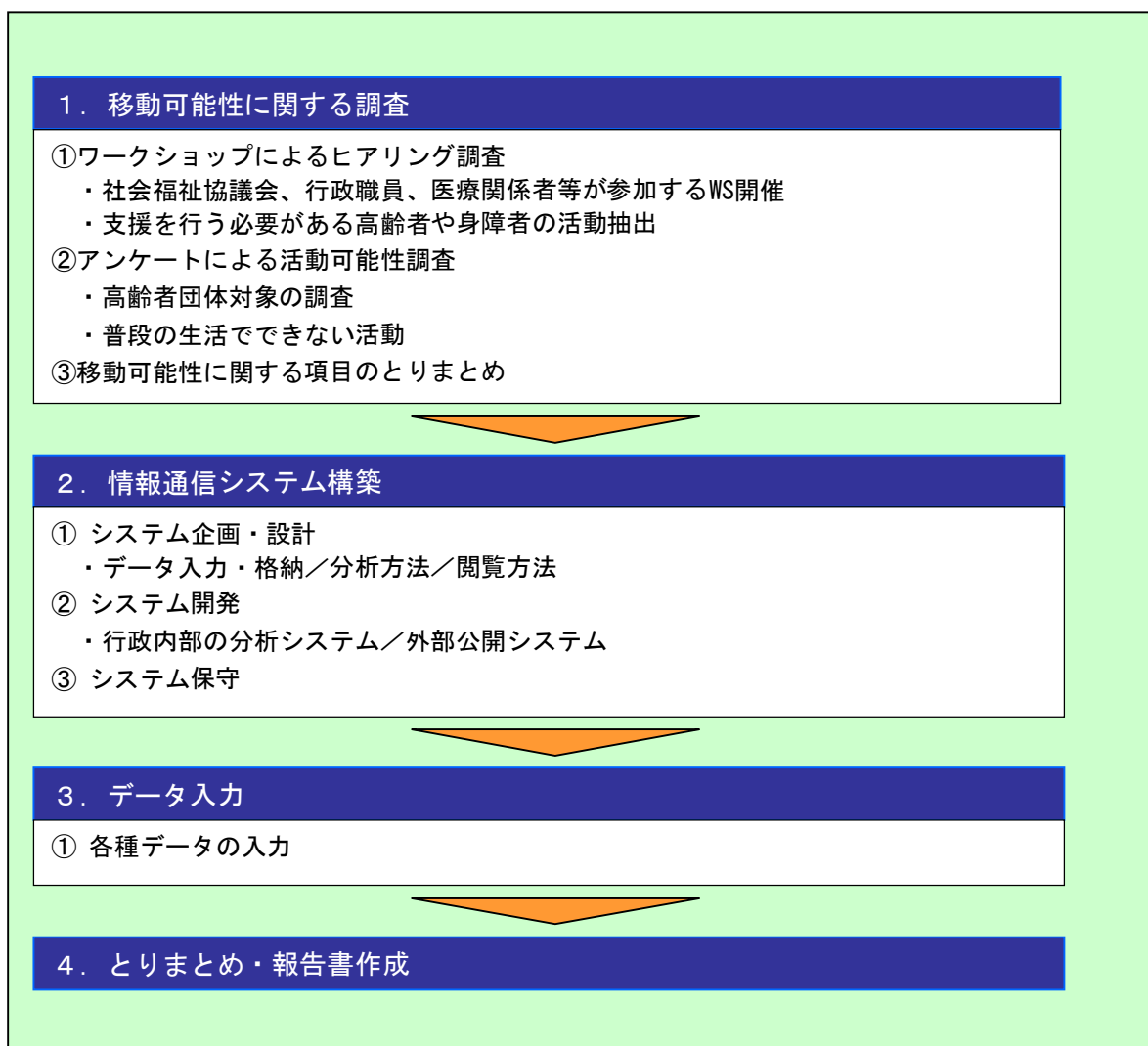
②住民の属性別の生活活動可能性の分析システム・サービス提供支援システム

上記データを基にして、集落毎や住民の属性毎に様々な生活活動の可能性を分析するシステムを構築する。各種行政施策に基づいて、住民の活動可能性が向上することをシミュレーション可能とするとともに、行政施策の評価や具体的な効果を分析する

ものとする。具体的には、基本分析を分析用 PC の G I S システムで行い、結果のデータベースを使って、細かな条件毎にその結果を地図上で表示するものとする。

行政職員は、全てのデータ分析を可能とし、ユニバーサルサービスの実現に向けたサービスの検討に活用する。民間企業・NPO 等では、全データ分析にはアクセスできないが、地域において制約されているサービスを分析し、ビジネスやボランティアを通じて、住民生活の可能性を広げる。

序－２．事業のフロー



序－3．事業の概要

(1) 移動可能性に関する調査

構築するシステムで適用する移動可能性に関する活動内容について、以下に示す方法により詳細な調査を実施した。また、各調査の実施に当たっては、協議会と調整し内容を決定した。

① ワークショップによるヒアリング調査

社会福祉協議会、行政職員、医療関係者等が参加するワークショップを開催して、支援を行う必要がある高齢者や身障者等の活動を抽出する。

② アンケートによる活動可能性調査

高齢者団体等を対象にして、普段の生活において自分自身でやりたくてもできない活動について、アンケート調査によって把握する。

③ 活動可能性に関する項目のとりまとめ

調査を通じて抽出したシステムに組み込む活動項目を整理するとともにとりまとめを行う。

(2) 情報通信システム構築

① システム企画・設計

上述の活動可能性について、住民の属性、地域条件などから「現在の状況」と「サービス改善や新たなサービス提供」によって可能性拡大効果を分析可能なシステムについて、データ入力・格納方法、分析方法、閲覧方法などを詳細に企画・設計を行う。分析に当たっては、平成 15 年に作成した安芸太田町集落データベースを活用するために、GIS ソフト MapInfo をベースにシステム構築を行うものとする。

特に、バスなどの公共交通運行のサービス改善によって自動的に活動可能性の更新ができるなど、今後のデータ更新を容易にするための工夫を行う必要がある。

② システム開発

上記の企画・設計に基づいてシステムの開発を行う。システムは、行政内部のみで分析するシステムと外部に公開する 2 つのシステムから構成する。

③ システム保守

システムの保守を行う。

(3) データ入力

構築したシステムに対応する各種データを入力する。

(4) 報告書作成

上記項目をとりまとめるとともに、報告書を作成する。

第1章 活動可能性に関する調査の概要

1-1 活動可能性に関する調査の基本方針

当該事業で構築するデータベースの内容を決定するために、住民の活動可能性に関する調査を実施する。調査の基本方針は以下のとおりとする。

調査内容 : 住民の移動可能性

調査の詳細 : 属性別、活動別、季節別、曜日別、イベント別、地域別に抽出

調査方法 : 1) 住民の生活実態を知る立場の方を被験者として、自由記述式の調査票で調査

2) ワークショップを通じて、より深い生活実態を抽出

3) その他の既存調査結果から活動可能性に関連するデータを抽出

1-2 生活実態調査

(1) 調査対象

生活実態調査は、様々な住民のニーズを把握可能な立場にある方を対象として実施する。調査対象を以下に示す。

① 役場職員

様々な属性の活動、地域固有の不便さなどを調査する。

② 社会福祉協議会職員

高齢者や身障者といった移動や活動に制約がある住民を主体に調査する。

③ 医療関係者

高齢者や各専門科への通院など、医療関係の活動を行う住民の実態について調査を行う。

④ 教育関係者

教育関係への通学や課外活動、保護者の状況などを対象に調査を行う。

⑤ 民生委員、自治委員、地域の高齢者の会等

(2) 調査方法

調査は、一般的なアンケート調査ではなく、上記調査対象者が日常的に関わりを有する様々な住民の活動困難な事項について、調査対象者自らが記入を行うものとする。

(3) 調査内容

調査内容は、各住民の活動可能性を詳細に聞き取るものとして、以下の内容の回答を得ることとする。ただし、回答を容易にするために、本調査の主旨をわかりやすく説明する資料を提示するとともに、回答事例を提示する。

アンケート調査の内容

- 個人属性（住所、所属主体）
- 活動が困難な内容（内容、活動が困難な対象者の属性、季節限定か否か、曜日限定か否か、特殊なイベント時のみか）

調査票は、上記内容のみとして、できるだけ多くの活動内容、多くの住民の意見を抽出するものとする。

2-3 ワークショップ

ワークショップは、以下に示す2回の開催を予定する。

① WS 1回目

当該調査の主旨を説明した上で、属性別、活動別、季節・曜日・単発イベントなどの仕分け毎に、活動困難な状況について、ブレインストーミングを行う。具体的には、10名程度以下に班分けを行い、各班毎にブレインストーミング結果を整理する。

② WS 2回目

アンケートを集計し、取りまとめた後で、それら資料を見た上で、1回目と同様なブレインストーミングで、活動困難な状況に対する解決策を抽出する。

以上の調査に関して、住民に対しては生活実態調査とワークショップを、安芸太田町の「暮らしに関する調査」と「黒師の診断カルテづくり」と呼ぶ。

安芸太田町「暮らしに関する調査～安芸太田町の生活診断カルテづくり～」の流れ

1. 暮らしに関する調査

- 調査対象者: 民生委員、老人クラブ等メンバー、社協職員、役場職員等
- 調査内容: 現在の暮らしの中で困っていることを記述

■■地域では、大雪のときの雪かきの人手がないので、……



までに、郵送または役場・各支所に提出

2. 事務局（役場）で整理

安芸太田町の生活診断カルテづくりのための座談会

3. 第1回座談会（暮らしの症状を診察しよう）

- 参加メンバー: 民生委員・老人クラブ等のメンバーの代表、社協職員など
- 座談会内容: 調査結果を基にして、各地区や個人属性別の生活に困っていること(暮らしの症状)を思いつくままに抽出、整理(診察)します。



▲▲地区に住む免許証のない人は、日曜日の買い物は……

4. 第2回座談会（暮らしの病気を診断しよう）

- 参加メンバー: 民生委員・老人クラブ等のメンバーの代表、社協職員など
- 座談会内容: 第1回座談会の診察結果による生活に困っていること(暮らしの症状)に対して、その要因(暮らしの病気)を整理(診断)します。



日曜日には、「あなたく」が運休していて、しかも……

5. 事務局（役場）で整理（安芸太田町の生活診断カルテ）

第2章 生活実態調査の結果

2-1 生活実態調査の結果概要

生活実態調査の結果概要を下表に示す。

表 2-1 生活実態調査の結果概要

調査票	添付資料-1 に掲載
調査員	民生委員・児童委員、町女性連合会、町老人クラブ連合会、町老連合会女性代表、保育所保護者、行政区長、議会議員、社協職員、役場職員
調査内容	「活動したくても何らかの要因でできないこと」「活動はできなくないが、不便を感じていること」を調査
配布数	514
回収数	218 (回収率 42%)

2-2 生活実態調査結果の集計

生活実態調査は自由記述であるため、その内容を「医療」、「福祉」、「教育・子育て」、「日常生活」、「就業・その他」に分割して集計を行う。

結果として、各内容の集計数は下表のとおりである。ただし、同一の内容のデータは一つにまとめて集計している。

表 2-1 生活実態調査の結果概要

項目	抽出数
医療	79
福祉	110
教育・子育て	58
日常生活	513
就業・その他	150

集計結果は「安芸太田町暮らしの調査集計シート」として整理する。(添付資料-2)

第3章 暮らしの診断カルテづくりワークショップ

3 - 1 第1回ワークショップ（座談会）

（1）第1回ワークショップの概要

第1回ワークショップの概要を下表に示す。

表 3-1 第1回ワークショップの概要

WS のテーマ	暮らしの症状を診断しよう
開催日時	2008年2月9日（土）
開催場所	川・森・文化会館
参加人数	22名
WS の内容	安芸太田町の生活で困っていること（暮らしの症状）を抽出する

(2) 第 1 回ワークショップの内容

STEP1 困っていることはなんだろう？

A から D の 4 グループ分け

班ごとに自己紹介

「暮らしに関する調査シート」から、代表的な意見、特徴的な意見についていくつかの紹介、これを参考に困っていることを考えてもらう旨の説明

誰が、いつ、どこで、どんなことについて困っているのか・できないのかを、ブレンストーミング

STEP 2 困っているカードを整理しよう！

1人ずつ順番に付箋に書いたことを読み上げ、6つのジャンルに分けた模造紙に貼付

全てを貼り終えたところで、似た内容のカードをまとまりを作る

それぞれのまとまりにタイトルをつけて整理

各班の発表者を選出

グループ別の発表

【D グループ】

小児科や産婦人科がない、長期入院ができないなど医療への不安が出された。

【C グループ】

日常的な移動についての不安の声、また冬季の除雪で困っているという意見が出された。

【A グループ】

あなたくについて、乗り継ぎが悪い、日曜日の運休、乗り方が難しいなどの意見が出された。

【B グループ】

車の免許を持たない人や、独居の高齢者が抱える日常の移動の不便さや地域活動ができないといった問題が出された。

医療

小児科がほしい。

産科・婦人科がない。

戸河内病院の診療所化への決断。**2階棟の利活用**の即決。

医師の勤続年数が短い。
 ↳ しっかり診てほしい

長期入院ができない。自宅での療養に困る事もある。しっかり病院に入院させてもらいたい。
 ↳ 安心して入院できない

在宅診療をしっかりしてほしい。

日常生活

移動手段

低床型のバスも必要では？

車に乗れなくなった時、公共交通機関がないと生活出来ない？不安

アナタは**30分前に予約**しないといけない(5分前だとだめ)予約した所でないと下車する事が出来ない。

川森文化交流センターへの交通便を考えてほしい。

食・買い物

生協のマークシート方式が使えない。
 ? これにかわる配達サービス

農協がなくなる。食事(食料品)に困る。

買い物はショッピングセンターのみで、他の商店は衰退している。

ウォーキングする歩道がない。

教育・子育て

子どもの声が聞けない。姿も見えない。

学校の適正規模化の推進 中学校1校等。

通学バスに乗る人が少ない。(親が送る)

中学校の統合。

ガソリンが高い

町内でのガソリン・灯油が高い。市内とあまりにも違いすぎる。もう少しなんとかならないか。

ETCをよく利用している。高速道をよく利用している。移動する事により、活性化につながる。料金を限りなく安くしてほしい。

交通の便が悪い。車の維持費が年々上がる。ガソリン代が上がる。高速の通行料が上がる。

冬・除雪

除雪の対応が高齢者ではできない。支援体制が築けないか。

除雪作業。(高齢者がやるのは重い。力がある)

近隣の人と話をすると**年数回しかない**。忙しい?互いに。

隣近所のつながりが疎遠になっている。隣組の復活。

高齢になり、**田畑の耕作ができず**、子供は近くにいないのに帰ってこない。

JA筒賀・JA戸河内は廃止。JA上殿へ統合される。実に大変な事で、生活に直結して心配だ。

福祉

高齢の父が離れて暮らしている。連絡をとっても通じない場合があり、その際、**隣近所でも安否確認**いただけるようなシステムができないものか。

一人暮らしの高齢者との交流の場がない。

千風苑で通夜、葬式**二式出来る**とよい。

就業

就労の場・機会の不足

若者

若い人が少ない。**就労できる会社・工場**が少ない。

若い人に地域に帰ってほしいけれど、**仕事がなく**生活出来ないので帰れない。

高齢者

高齢者も金もうけの出来る場がない。

その他

芸達者の人が多い

青年団活動を**活発**にしてほしい。

神楽団が活発に動いている。**もっと支えが全町的にできないか。**

地産地消を考えてほしい。
 ↳ 田・畑 荒れているところを活用

空き家が増えている。人口減少。
 ↳ さみしくなる

医療

急病時の備え

夜間の急病に備えて加計インターを常時利用できる様にしてほしい。(主治医が広島市内の病院)

日常医療

高齢になって辺地のためと、体の不自由のために治療が出来ない。(定期的な巡回診療が欲しい)

これから独居老人が多くなり医療・福祉の面が大変。

加計病院までの直通あなたく便が欲しい。

教育・子育て

少子化で親同士、子供同士の交流が少ない。統合するが地域が広く、今後あまり望めない。

学校統合はするが、後、校舎の活用案がない。(特に屋根修繕が望まれる)(行政の協力がほしい)

中学校、部活後の交通手段が無くて不便。

福祉

一人暮らしの90歳(男)が「食事」が大変だ、とのこと。配食サービスの充実を。

家の中では時間をかけて家事をこなせるが、足が悪く移動が難しい。介護でヘルパーさんには来てもらえる様だが、自分では病院への送り迎えがしてほしい。本人の希望をしっかりと聞いてほしい。

就業

子供が帰って来たいが仕事がない。

日常生活

日常の移動

あなたくに電話予約したら「満員なので日程を変えてもらえないか」と言われた。「そうですが、わかりました」と電話を切り、タクシーで病院へ行った。

足腰が弱り、車への乗り降りが大変。

免許はあるが、年をとると乗れなくなり今の交通状態では不便だ。

現在は車で移動できるが、高齢になり、車に乗れなくなった時、日常生活が出来なくなるのではと不安である。

今のところ、病院に行くにも行政のおかげ様でアナタクがありますので不安に思ってはいません。将来の事は言いませんが...

85歳以上の老人が多くなり、買い物に困っている。(自動車の便利が悪い)

イベント時の相乗り

イベント講演等、出かけたいが、小さい子供をつれていし、近くでないし、免許がない場合人に迷惑をかける。

会合に出席するのに、あなたくが使用出来るようにしてほしい。個人でなく、何人かの代表で予約も出来るといい!

日常の連絡手段

携帯電話が充分に利用出来ない。(不通地区になっている)

携帯電話が普及しているため、公衆電話がなくなり、通信が難しい。

一人暮らしの問題

一人暮らしで夜は特に心細い。

一人暮らしの生活が多くなっている。(冬季の生活が困り、冬季の住宅生活がほしい)

その他

他都市との交流が少なくなった。(都会との交流会がなくなった)

除雪

大雪の時、除雪を早い時間にしてほしい。いつも午後なので除雪が済んでも用事が出来ない。

冬期、国道を除雪した雪のかたまりが、道をふさがられなくなる。

除雪する人が高齢化して困っている。

調査に対する成果

調査や話し合いはよいが、もっと要望に対して実践と対策が必要である。

行政の方に、色々生活上の事を相談するが、一向に話が進まない事が有り、困っています。分自の地域では高齢者ばかりで、何に要望して作ってもらってもどうする事も出来ません。

医療

通院が大変

サービス内容が不十分

科目 病院に小児科がなく、遠くまで病気の子どもを連れて行かなければならない。急の場合大変！

質 足の指が腫れて病院へ行きました。病院で誤診。2週間ギブス生活！他の病院で治った。

巡回の診療をしてほしい

待ち時間が長い(予約)

病院での受付。当日病院へ行く時、随分待たされます。

通院。加計病院の耳鼻科。予約がなく遠方の者は帰りの交通手段に困る。

負担が大変

介護保険料を年金から引かれていますが、割合が高いように思いますが...

教育・子育て

施設が充分でない(遠い)

子育て中の人にとって子どもと遊ぶ公園が少ない。

保育所・幼稚園・学校の適正配置を進めておられますが、子どもにとって通学時間が長くなるのはどうでしょうか？

就業

仕事がない

若い人、老人にも仕事がない(少ない)

福祉

介護サービスが見直される度に悪くなっている。

日常生活

地域内の移動に困る

あなたく

交通の便が悪い。アナタクがあるが、利用する場合不便である。

交通の便が悪く、その上に乗換連絡が悪い。

アナタクの時間設定。

日曜日に交通手段がない。

行政懇談会が日曜日にあるが、集まるのは車に乗れる男性のみ。

アナタクの車の仕様が老人向けでない。足腰の悪い身傷老人には利用しがたい。

アナタク利用を簡単にしてほしい。病院前で空席があれば利用したい。

まちへの移動

高速バスが加計BSに止まるので便利が良くなりましたが、加計市中に帰る便の連絡が悪いので困ります。

災害に対する不安

台風とか梅雨時の大雨の時の避難場所が安全か？

楽しみの場が少ない

加計にも老人の楽しめるグラウンドゴルフ場を作してほしい。

お金がおろせない

銀行預金を郵便局でおろせるようにしてほしい。

その他

地域のルールづくり

葬儀の香典等の様子を町内で統一してほしい。

除雪

老いて除雪に困る。 ? 誰が
体力がなくなり。
除雪した雪の捨て場に困る。 ? どこへ
(国道に出す人もいるが...)

各種会合に町内東側の委員が少ない。

コミュニケーションの充実

町内放送で葬式のことばかりではなく、月別に町内の出生状況を知らせてほしい。 明るい内容も

独居老人の方がおられ、声はかけるが、冬の寒い日はほとんど出られず、何とか連絡を密にすることはできないものかと思う。

携帯電話が不通の地区が多く、アナタク連絡にも困る。

環境

下水道が整備されているが、それに繋ぐ工事をしていない人がいる(高齢化のため後がないので)

太田川の水もあまり綺麗に(生活汚水)見えない。

浄化槽維持費が高い。

動物に困っている

野菜を作っても猿が食べに出ます。猿は赤い顔して怖い。人間の食べるところがありません。

野良猫が多くて困っている。

除雪が大変

道路までの除雪。老人世帯の事が大変。加計市中の除雪がありません。

医療

病院(戸河内)が入院できなくなり、老人の人が不安がっている。

病院(加計)に受診するために行くと、予約でなかったら時間がかかる。

日常生活

お酒を飲んだときも...

車の免許を持たない

車の免許がないので、いつも主人に頼んでいる。しかし、居る時はいいが、都合がつかない時は、あなたの便も少ないので困る。

戸河内・加計での夜間の行事は、なかなか出席したくても出来にくい。老人は一人暮らしの人が多く、車の免許がない人が多いから。

外出するのに、乗り物がなく不便を感じている。
(免許を持っていない)

(日常生活、買い物、病院)

行事がある時など、送迎がないと行けないので困る(熊などの心配も)

車の運転が出来ない人はバスの便が少なく町内でも行動できない。

就業

就業場所

若者の働く場所がない。

福祉

緊急・夜間の交通

夜間のタクシー運行がない。

戸河内? PM7:00まで

認知症の心配

最近筒賀地区でも認知症と思われる方があります。一人暮らしだと、これを気付いてもどうすれば良いかが解らないと思う。社協の方へ連絡はしているのですが。

その他

周りの人が気づかないと!

一人暮らし

高齢化し、一人暮らしなど税金の支払いが出来ない。年金など少なくなる。天引きされ収入がなく生活出来ない。

近所に家がなく、高齢者三人暮らしなので夜間体調が悪くなった場合不安である。

老人一人暮らしの人が心配。いつも不便だろうと感じている。まだ元気の内はいいが。

以前は地区でも3班に分かれてお世話をしていたが、現在は1地区でも道灯、宮お世話する人が大変である。(高齢者一人暮らし)

高齢化で困る。集落的に活動出来ない。

高齢者が多く、役員を引き受け手がいない。

地域活動の支障

分かりやすい表現

高齢者(デイサービス利用)。やたらカタカナを使っているので理解しにくい。

教育・子育て

若い人が少ないので、もちろん子供も少ない。地域の子育ての済んだ人達が子供達との交流を持つことを考えてみるのはどうか。

子供が少ない

これから先の行政への不安

町民一人ひとりのつながり、友情あればこそ地域の助け合いが出来れば。母子社会が暗い。

合併して人口少なくなる。将来の行政どうなる。

行政財政難で住民の云う事を聞かれない。先が暗い。

若者が少なく将来の安芸太田町を考えると自治が成り立たなくなるのでは。

道路までの除雪に時間がかかる。

土地管理

高齢者ばかりで、空き家とか空いた田んぼが多い。

農地の荒地で近隣の農耕者が困っている。

災害時の不安

災害時、自力で避難することができるか不安である。

災害時の避難ルート及び避難場所の公表がない。

第1回ワークショップのまとめ

普段から住民の方の意見を知っている方にご参加いただいたため、短い時間で意見を出してもらうことができた。

例えば医療では、普段の通院から救急のこと、予約のことまで幅広く深い意見を吸い上げることができた。

第2回WSでは、“病気の原因”を探る。病気もいろいろあるが、重要度や緊急度を反映する旨を説明。

3 - 2 暮らしのカルテ集計表

安芸太田町暮らしの調査集計シートを整理して、カルテ集計表（添付資料-3）を作成する。

作成した集計シートは、座談会（ワークショップ）出席予定者に事前配布して、第2回座談会までに緊急度の高いもの5つを抽出してもらう。

3 - 3 第 2 回ワークショップ（座談会）

（ 1 ）第 2 回ワークショップの概要

第 2 回ワークショップの概要を下表に示す。

表 3-2 第 2 回ワークショップの概要

WS のテーマ	暮らしの症状の処方を考えよう！
開催日時	2008 年 2 月 27 日（水）
開催場所	川・森・文化会館
参加人数	22 名
WS の内容	安芸太田町の生活で困っていること（暮らしの症状）に対する解決策（処方）を抽出する

(2) 第 2 回ワークショップの内容

STEP1 緊急度の高い症状は だ！

A から D の 4 グループ分け

「暮らしのカルテ集計表から選んできてもらった緊急度が高い項目 5 つに、一人ずつシールを貼り、投票

その結果シールが多い項目は、1 位「通院」「少子高齢化」「災害」(12 票)、2 位「交通(あなたく)」(11 票)、3 位「診療」(10 票)、4 位「行政」(9 票)、5 位「生活環境」(6 票)、6 位「教育」「観光」(5 票) となった。

STEP 2 暮らしの処方箋を考えよう

STEP 1 で投票数が多かった項目の中から、グループごとに処方箋（解決策）を考える項目を選定。（関連のあるテーマを合わせて考えるグループもあり）

1人1人がテーマの解決策を考えカードに記入

模造紙に解決策を書いたカードを貼付、グループ全員で確認

グループごとに工夫を凝らしてカードを整理

各班の発表者を選出

グループ別の発表

【A グループ】

テーマ：「交通」

- ・買い物バスツアーを作り 10 人くらいで行くとタクシーより安く利用できる。
- ・あなたくで予約をしていなくても、空いていれば利用できるようにする。
- ・将来的には、曜日ごとに地域を回るようなバスができればよい。

テーマ：「行政」

- ・社協・福祉課などが同じことをやっているの、行政の縦割りをやめるように工夫を。

【B グループ】

テーマ：「少子高齢化と生活環境」

- ・ 1 人暮らしの高齢者が多い中「とんとんとんからり」の精神で声を掛け合うことから始める。
- ・ 若い人に入ってきてもらうため、出会いの場をつくることはすぐにできそう。
- ・ 定住のため、町営住宅の家賃を負担の少ないようにする。空家を有効活用できるようにする。
- ・ 役場職員は町内に住んで住民税が町に入るようにする。

【C グループ】

テーマ：「診察」

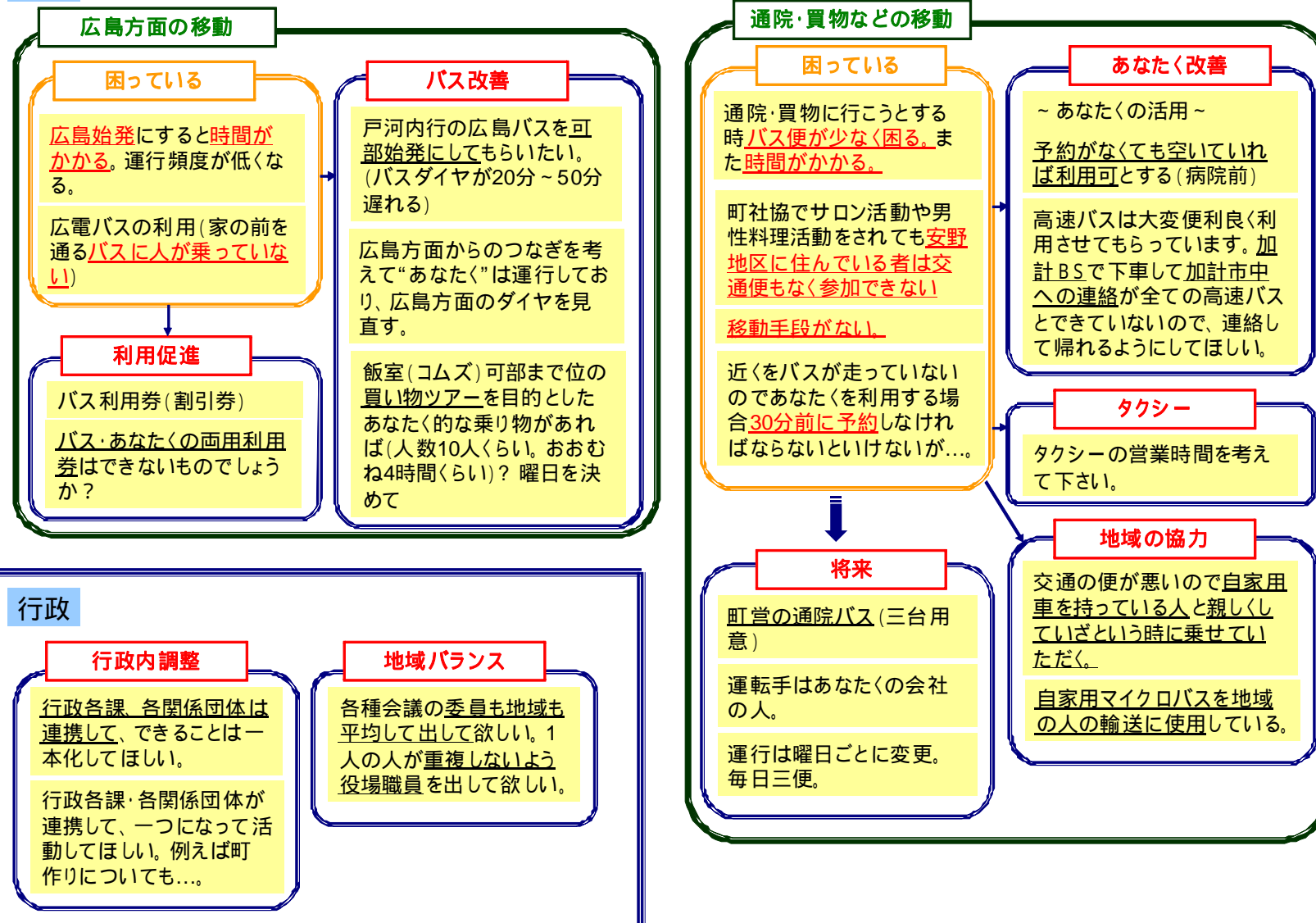
- ・ 医師が不足しているので、保健師による月 1 回程度の定期巡回を行う。
- ・ 待ち時間の解消のために、院内にサロンを設置。地域の方との交流の場にもなる。
- ・ 長期的な解決策として、地域ぐるみで健康増進に努める。
- ・ 医師の異動が多く主治医が持てないので、固定できるようにする。

【D グループ】

テーマ：「あなたくのデメリットに対して地域で補えること」

- ・ あなたくを知らない人が多いので、まずは、あなたくを利用した人の声を含めて広報する。
- ・ 個人での送迎は事故発生時の対応が不安。送迎ボランティアの組織を立ちあげる。
- ・ 民間企業の邪魔にならない範囲で、社協の送迎サービスを拡大する。
- ・ 頼みやすい人間関係づくりや、歩くのが健康につながるということも地域で考えていきたい。

交通



少子高齢化を背景に解決策として具体的にどう取り組む必要があるのか

若い人・子ども

交流の場を増やす

お嫁さん来て！！プロジェクトチーム作りを（お婿さんも！）

（若い人） 中年層で考える

未婚者の方（特に男性）の相手を見つける手段として 田舎暮らし希望者を心地良く迎えて、交流を持つ様にする。

人口を増やすため（定住）には町をあげて 出会い場を作る。

お嫁さん太田町に来て！！老若男女が 集える場作り。

町外の方を巻き込んでの交流行事。

若い人が一緒に活動する場を作る。
ダンスと歌、ふれあい

青年団の復活、女性会他団体とのつながり。

高齢者

ご近所パワーを発揮！！

すぐにも実行

あいさつをする。

ご近所同士のお互い様の気持ちを大切に
にする。

隣同士の会話を増やすように連絡を取り
合う。

ふれあいや仲間づくり、憩いの場の提供。

地域の 見守り安心ネットワークづくりが
必要。

“トントントンカラリ”の心。お隣への声かけ。

支援を必要とする人々が顕在化してきている現在、自立支援につながる 相談支援が必要。

高齢者世帯の問題は、社協でやっている さんさんネットを利用してもらうように
する。

定住しやすく

地元のお店に行く。

町営住宅の家賃をあげないでほしい。
子育て支援の一つ

空き家に住めるようにする。

空き家を無料で紹介して家族で住んでもらう。

町外の方が住める環境を作る。

田舎暮らし希望者を受け入れる体制づくり。
強化

高齢者の集合住宅

戸河内病院の利用方法。老人集合施設にする。

高齢者、特に一人住まいの方は、集合住宅でお世話する。

高齢者同士のグループホームを作る。

まずは行政から！！

役場の職員は、町内に 住むこと
？ 住民税

すぐにできそう

時間がかかりそう

診察

短期的 ←

→ 長期的

通院手段の整備

あなたくをもう少し大型化するとか運行回数を増やすとか、運行範囲を拡大する等で対応。

個人で(ボランティア)便乗させてあげることもできるが、事故が心配。

交通の確保。

通院手段の確保。

・ボランティアで手助け(自家用車で)できる人を登録しておく。

↓
事故に備えて保険は行政で

登録者は行政で連絡

・必要に応じて行政側で依頼する(要求)

主治医の固定

加計病院の医師の人事異動が多い。

? 固定する!

決定的な主治医がもてない。

地域での健康づくり

地域ぐるみ(町ぐるみ)で健康増進をはかる。

簡易診察の仕組みづくり

24時間電話で対応し急病の場合のみ病院での診察。

テレビ電話の設置。

保健師の確保

保健師の増員・登録。一人暮らし巡回。(孤独死減少?)

巡回検診の実施

医師不足。保健師による月一回程度の基本巡回検診。

定期的な巡回検診(保健師さんでも良いので)を実施できないものでしょうか。

診察。遠方まで出かけられない人の為に、保健師の家庭訪問、医師の往診等で対応する。

診察。定期的に巡回検診の必要。保健師による活動。各学校区ごとの実施はどうか。

特に身体障害者、高齢者(ひとり暮らし)のために日時を決めて巡回検診を。

加計病院に週一回(希望)でも小児科専門医に来てもらう(曜日を指定する)

待ち時間の解消

院内でのサロン。お茶、おしゃべり(待ち時間)

病院の待ち時間、院内に図書室、サロン、ゲーム式リハビリセンター等の設置。

診察者の患者と普通の患者の解消(待ち時間の短縮)

その他

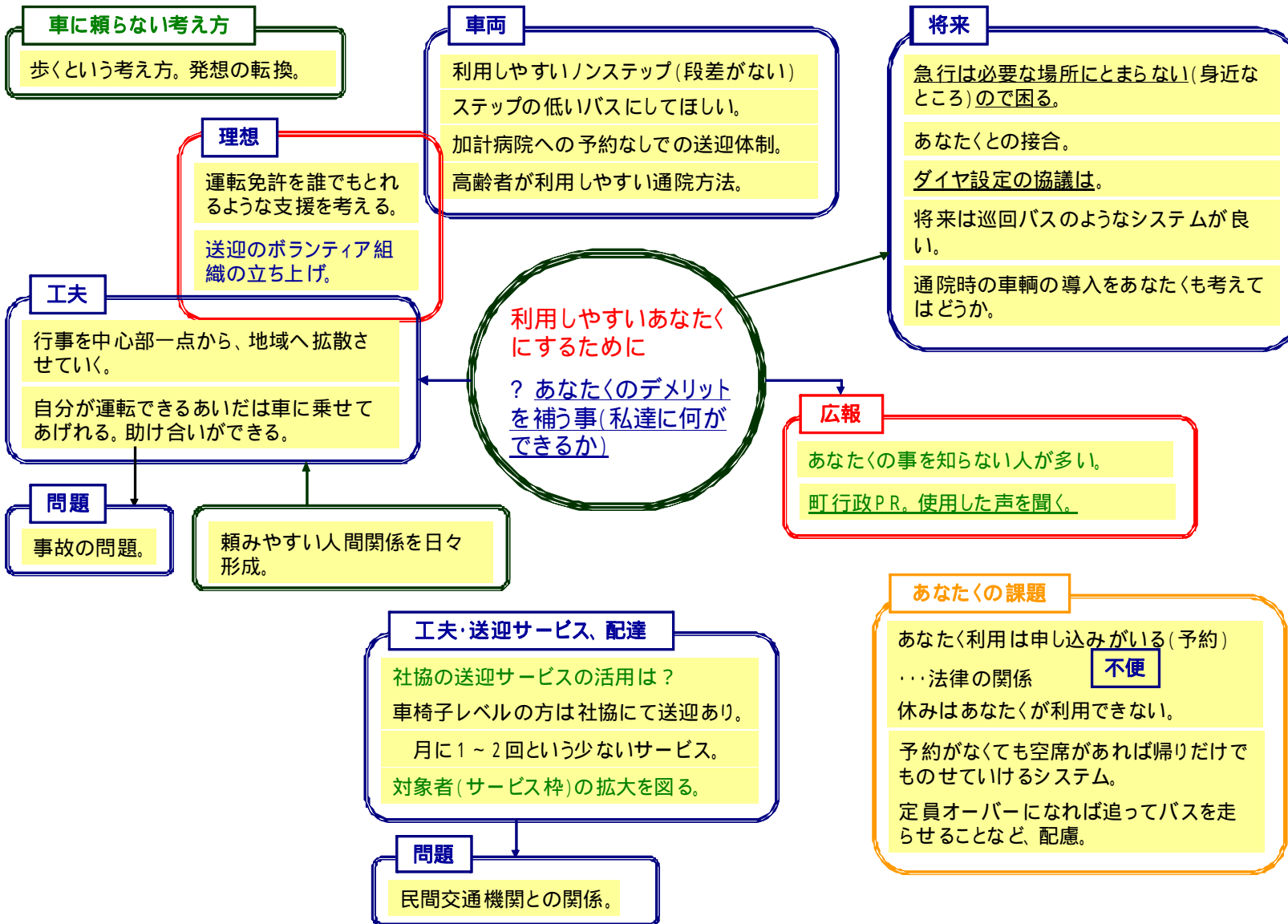
戸河内病院の近くに住んでいるので是までの習慣(いつでも診てもらえる)がなくなると大変困る。せめて加計病院との関連で連日朝夕夜間当直医がほしい。

少子高齢化。未婚者解消。都市との交流の会の活動促進。(若者の集い)

その他、「学校」「交通」も重要

Dグループ

2008.2.27



第2回ワークショップのまとめ

解決策の抽出では高齢者問題にしても交通問題にしても、近所づきあいによる解決策が挙げられた。これから地域の問題を解決するのに地域コミュニティの重要性が再認識できた。

今後は、「困ったこと」と「解決策」の両方からデータベースを作成する。

STEP1のところでは「行政各課・各関係団体が個々にがんばって活動しているが、一つになって活動すべき」の項目が重要性が高いものとされたが、この事業自体が解決方法になる。行政の各課や地域の団体などが横断してデータベースを見ることで、効率的に解決できるようなシステムづくりを推進していく。

2回の座談会を通じて、役に立つデータの抽出ができた。

第4章 活動可能性データの作成

4-1 活動可能性データ整備の流れ

「暮らしに関する調査」および「生活診断カルテづくり」を通じて得られた「暮らしのカルテ集計表」等を基に、以下の手順でデータ整備を行う。

①「暮らしのカルテ集計表」等から、「できないこと」データベースの作成

②「暮らしのカルテ集計表」等から、「解決策」データベースの作成

③「できないこと」・「解決策」データベースから、基本となるデータベースを作成する。
データは、「①施策の対象主体の基礎データ」、「②サービスや施設側（対策と課題が同一）のデータ」、「③活動可能性を解決するサービスのデータ」に分割して作成する。

この基本データベースは、現況の状況を把握するとともに、解決することで直接的に活動可能性が改善されるデータである。

④基本となるデータベースを組み合わせたデータを作成する。

当該データは、集落毎の活動可能性を判定するもので、項目（医療、商業、金融・郵便、行政・イベント、娯楽、教育）から、移動を伴う活動について、詳細な分析を行う基礎を作成する。

例えば、医療の診療・検診であれば、専門科（内科、耳鼻科・・・）の別、曜日や時間帯別に分析を行い、分析対象は、移動困難者の属性を詳細に選択するものとする。さらに、解決策を複数選択することを可能とし、例えば居住する集落から「あなたく」による通院が可能かどうかという判定だけでなく、乗り継ぎの必要性、乗り継ぎ時の待ち時間の不便さからも判定することを可能とする。

逆に、移動手段が全て利用できなくても、往診が可能であれば活動可能であるという判定とすることも可能である。

4-2 活動可能性データ整備

次頁以降に、①「できないこと」データベース、②「解決策」データベース、③「活動可能性基本データベース」、④「組み合わせデータ」を示す。

① 「できないこと」 データベース

安芸太田町「できないこと」データベース

番号	項目	内 容	対象	整備データ	番号	データ詳細	公開	
医 療								
1	診 察	巡回検診が定期的に必要	免許非保有者	免許証非保有者	1	集落毎の免許証非保有者数	×	
			身障者(下肢)	身障者(下肢)	2	集落毎の移動に係る身障者手帳の人数	×	
			要介護者(歩行)	要介護者(歩行)	3	集落毎の移動に係る要介護者(歩行)の人数	×	
			後期高齢者	後期高齢者数	4	集落毎の後期高齢者数	×	
		2		遠方の医院からは、往診してもらえない	対象者に関するデータは「診察」と同様。			×
		3		加計病院の待ち時間が長い	町全体	作成しない		
		4		加計病院で午後の受診もできるようにしてほしい	町全体	作成しない		
		5		専門科がない(眼科、皮膚科、小児科、産婦人科)	町全体	作成しない		
6		加計病院での耳鼻科に予約がなく、待ち時間が長い	町全体	作成しない				
7		休日や夜間における急病時対応の病院がない	町全体	作成しない				
8		戸河内病院で外科の診察日が少なく困る (あなたくは月水金だけであり怪我の治療が金曜のみとなる)	町全体	作成しない				
			交通関係データは、別途作成					
9	通 院	加計病院の待ち時間が長い通院で、自動車にボランティアで同上させてあげればよい	対象者に関するデータは「診察」と同様。交通関係データは、別途作成					
10		あなたくが利用できない地域のため、通院が不便	対象者に関するデータは「診察」と同様。交通関係データは、別途作成					
11		あなたく(またはバス)が病院に直行しない(行きたい目的地まで運行していない)	対象者に関するデータは「診察」と同様。交通関係データは、別途作成					
12		あなたくは病院の帰りでも予約がないと利用できない(予約したくても携帯電話はなく、公衆電話もない)	町全体	携帯電話不感地区	5	町内のキャリア別携帯電話不感地区	○	
			町全体	公衆電話分布	6	町内の公衆電話分布	○	
			町全体	公衆電話分布	7	拠点施設毎の公衆電話の有無	○	
13		バスの便数が少なく、通院が不便	対象者に関するデータは「診察」と同様。交通関係データは、別途作成					
14		病院に急患で入ったり、点滴を受けたときなど19時を過ぎると交通手段(タクシー)がない	対象者に関するデータは「診察」と同様。交通関係データは、別途作成					
15		車いすでリハビリに行きたいが交通手段がない	対象者に関するデータは「診察」と同様。交通関係データは、別途作成					
16		病院の夜間緊急時の出入りに配慮が必要	町全体	作成しない				
17	戸河内病院の現状維持が必要	町全体	作成しない					
福 祉								
18	移 動	免許証がないと移動が不便、夜間の会議や葬式等への出席が困難	対象者に関するデータは「診察」と同様。					
19		要介護の方の移動手段の整備が不十分	対象者に関するデータは「診察」と同様。					
20	少子高齢化	未婚者が多い	未婚者	集落別データは作成しない				
21		後期高齢者の一人暮らしが多い	一人暮らし世帯	一人暮らし世帯数	8	集落毎の年代別一人暮らし世帯数	×	
22		子供が周辺にいなくなり寂しく元気が出ない	町全体	子供の数	9	集落毎の就学前児童・小学生・中学生・高校生数	×	
23	生活環境	空き家が多く寂しい	町全体	空き家の数	10	集落毎の空き家数(活用可能な属性別に整理)	○	
24		田舎暮らし希望者を暖かく迎える地域づくりが必要であり、排他的雰囲気の問題	町全体	作成しない				
25		加計と安野間で、JAや郵便局の集配範囲が異なり、1軒となりでも配達されない	町全体	JA・郵便の集配範囲	11	集落毎の属する集配範囲	○	
26		行政に相談しても、一向に話が進まないことがある	町全体	作成しない				
27		高齢者向け集合住宅(冬季滞在型)整備が必要	町全体	作成しない				
28		地域の役員等を受ける人が少ない	町全体	作成しない				
29		温泉の有効活用が必要	町全体	温泉分布と利活用施設分布	12	町内の温泉とその利活用施設	○	
30		近所の連帯感の薄れがあり、隣組のようなしくみを復活させては	町全体	作成しない				
31		高齢者世帯(独居含む)の問題(食事、犯罪、移動、買い物、通院、話し相手、緊急時)	後期高齢者	後期高齢者数	4	集落毎の後期高齢者数	×	
32		介護施設が近くにない(ショートステイ、デイサービス)	要介護者	要介護者	13	集落毎の要介護者の人数	×	
33	一人暮らしの方への気配り(安否確認など)が必要	一人暮らし世帯	一人暮らし世帯数	8	集落毎の年代別一人暮らし世帯数	×		

番号	項目	内容	対象	整備データ	番号	データ詳細	公開
34	生活環境	高齢化した障害者のケアが必要	障がい者	障がい者	14	集落毎の障がい者手帳の人数	×
35		耳が遠く電話が使えない	後期高齢者	後期高齢者数	4	集落毎の後期高齢者数	×
36		近所での安否確認が必要	一人暮らし世帯	一人暮らし世帯数	8	集落毎の年代別一人暮らし世帯数	×
37		認知症の方への対応が必要	町全体	作成しない			
38		要介護者の日常的な支援が必要	要介護者	要介護者	13	集落毎の要介護者の人数	×
教育・子育て							
39	学 校	児童数・学級数の減少が進んでいるため、学校の適正配置が急いで必要	町全体	子供の数	9	集落毎の就学前児童・小学生・中学生・高校生数	×
40		除雪されていない道の子供だけの通学が心配	町全体	子供の数	9	集落毎の就学前児童・小学生・中学生・高校生数	×
			町全体	通学路	15	各集落の小学校・中学校の通学路	○
41		通学途中での熊の出没が心配	町全体	通学路	15	各集落の小学校・中学校の通学路	○
			町全体	熊の出没箇所	16	熊の出没箇所データ	○
42		加計保育所の駐車スペースが少なく困っている	加計保育所	作成しない			
43		幼稚園・保育園の一元化が必要	町全体	子供の数	9	集落毎の就学前児童・小学生・中学生・高校生数	×
			町全体	幼稚園・保育所データ	17	町内の幼稚園・保育所データ	○
44		地域に保育所や小学校を残して欲しい	上記と同様				
45		学校給食で食育に配慮して、暖かいものは暖かく食べられるような工夫が必要	町全体	給食調理場所	18	学校別の給食調理場所	○
46	教育環境	進学を考える際に、塾などの教育機関がない	町全体	子供の数	9	集落毎の就学前児童・小学生・中学生・高校生数	×
47	通 学	地区によってスクールバス利用ができず、保護者の負担が大きい(津浪)	町全体	スクールが必要な子供の数	19	集落毎のスクールバスが必要な子供の数	×
48		通学に利用しやすい路線バスのダイヤがない	町全体	通学にバスが必要な子供の数	20	集落毎の通学にバスが必要な子供の数	×
49		部活の朝練や終了後のバスがない	町全体	通学(部活)にバスが必要な子	21	集落毎の通学(部活)にバスが必要な子供の数	×
50		バス通学のバス代補助が必要-(中学・高校)／(6km未満)	町全体	通学にバスが必要な子供の数	20	集落毎の通学にバスが必要な子供の数(6km未満)	×
51		国道191号は交通量が多く歩道もないため自転車通学が危険	町全体	通学路	15	各集落の小学校・中学校の通学路	○
52		冬季17時までには学校を出る必要があるが居場所がない	町全体	通学にバスが必要な子供の数	20	集落毎の通学にバスが必要な子供の数	○
53		バスに乗り遅れたときに公衆電話もない	町全体	通学にバスが必要な子供の数	20	集落毎の通学にバスが必要な子供の数	○
54	学外活動	習い事での移動手段がない	町全体	子供の数	9	集落毎の就学前児童・小学生・中学生・高校生数	×
			学外活動	塾・スポ小・各種教室の場所	21	塾・スポ小・その他教室などの場所や実施日・時間	○
55	子育て	子供を安心して遊ばせることができる場所がない(公園)	町全体	子供の数	9	集落毎の就学前児童・小学生・中学生・高校生数	×
56		子育てするお母さんに利用しやすいタウン誌が欲しい	町全体	子供の数	9	集落毎の就学前児童・小学生・中学生・高校生数	×
日 常 生 活							
57	高速道路	加計ICの利用時間が24時間使えないと、救急、通勤、旅行等に不便	町全体	作成しない			
58	空き家	空き家対策(維持管理、解体、斡旋、情報提供、サークル等での有効活用)が必要	町全体	空き家の数	10	集落毎の空き家数(活用可能な属性別に整理)	○
59	あなたく	広電バスとの乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	あなたく利用者	乗り継ぎ必要性データ	K-18	集落毎の広島方面、町中心部方面への乗り継ぎ必要性と時間差別待合時間	○
			免許非保有者	免許証非保有者	1	集落毎の免許証非保有者数	×
			後期高齢者	後期高齢者数	4	集落毎の後期高齢者数	×
60	あなたく	歩行が不自由な高齢者が利用しやすい通院専用車両が必要	対象者に関するデータは上記と同様。交通関係データは、新規サービスが実施されれば作成				
61	あなたく	ダイヤ設定や運行便数が通院、買い物で利用しにくい	町全体	作成しない			
62	あなたく	あなたく運行区域でないため利用できない	対象者に関するデータは上記と同様。				
			町全体	あなたく運行区域	K-19	集落毎のあなたく運行範囲(利用可能)	○
63	あなたく	あなたくは運休日があり不便	町全体	曜日別のあなたく運行区域	K-20	集落毎の曜日別あなたく運行範囲(利用可能)	○
64	あなたく	あなたく車両のステップが高く乗降が困難	町全体	あなたく車両	K-21	あなたく路線別の車両バリアフリーデータ	○
65	あなたく	自宅近くまでの運行をして欲しい	町全体	あなたく運行区域	K-19	集落毎のあなたく運行範囲(利用可能)	○
66	あなたく	あなたくは病院を主目的地にしており、買い物利用ができない	町全体	あなたく目的地	K-22	あなたく路線別の買物場所・病院ありデータ	○

番号	項目	内容	対象	整備データ	番号	データ詳細	公開	
67	あなたく	予約がなくても乗車可能にして欲しい(病院に運行しているときなど)	町全体	作成しない				
68	あなたく、代替バス、タクシーともに運休日がある		町全体	曜日別の代替バス運行区域	K-23	集落毎の曜日別代替バス運行ルート(利用可能)	○	
			町全体	曜日別のあなたく運行区域	K-24	集落毎の曜日別あなたく運行範囲(利用可能)	○	
			町全体	曜日別のタクシー運行区域	K-25	集落毎の曜日別タクシー運行範囲(利用可能)	○	
69	交 通	平日でもタクシーが昼間しか利用できない	町全体	時間帯別のタクシー運行区域	K-26	時間帯毎のタクシー運行範囲(利用可能)	○	
70		加計BSへの連絡バスの本数が少ない	町全体	バス・あなたくのダイヤ	K-15	集落毎の目的地別バス・タクシーの運行本数(曜日別・時間帯別)	○	
71		川森文化交流センターへの移動手段の充実が必要(行事への参加、送迎サービス)	町全体	川森文化会館へのアクセスデータ	K-15	川森文化会館への曜日・時間帯別のアクセス交通の有無	○	
72		バスを国道ではなく自宅近くの町道を運行して欲しい	町全体	バス運行区域	K-27	集落毎のバス運行ルート(利用可能)	○	
73		バス車両のステップが高く乗降が困難	町全体	バス車両	K-28	バス路線別の車両バリアフリーデータ	○	
74		バスのダイヤを使い勝手よくする必要有り(始発便早く、最終便遅く、便数増)	町全体	バス・あなたくのダイヤ	K-15	集落毎の目的地別バス・タクシーの運行本数(曜日別・時間帯別)	○	
75		バス停の屋根などの待合い環境向上(加計病院バス停、その他)	町全体	バス停環境	K-29	バス停待合い環境データ(椅子、屋根、屋内等)	○	
76		自動車の乗合の際、事故があったときの対応	町全体	作成しない				
77		移送支援	移送支援事業の対象をあなたく利用ができない軽度の障害を持った方も利用できるように対象拡大	町全体	移送支援事業対象者データ	35	集落毎の移送支援事業の対象者数	×
78		農地管理	高齢化によって田畑の耕作ができなくなり土地が荒れる	町全体	農地別耕作者	36	農地毎の耕作者(荒れ地、作物、氏名、年齢)データ	△
79	用水路の水漏れ等施設の老朽化		町全体	農地管理用データ(別途作成が望ましい)				
80	犬 猫	飼い犬の放し飼いで困っている	町全体	作成しない				
81		犬の糞の処理がしていない	町全体	作成しない				
82		野良猫が多い	町全体	作成しない				
83	外 灯	外灯が少ない(加計BS、川森文化交流センター国道側、加計バイパス)	町全体	外灯必要箇所	37	外灯必要箇所と有無データ	○	
84	買 物	JAの統廃合で食料品店がなくなり困る	町全体	食料品店	38	町内の食料品店データ	○	
85		移動手段がないと買い物が不便(電話による配達、さんさんネットの活用、移動販売車、生協)	町全体	移動販売に関するデータ	39	移動販売の種類、対象地区データ	○	
86		生協のマークシートが使えない	町全体	作成しない				
87		買い物バスが必要	交通データで代替する。					
88		買い物でのボランティア利用者は、非常に気を遣っている	町全体	作成しない				
89	行 事	町の行事の開催を旧自治体単位で行うようにすべき	町全体	作成しない				
90	金 融	JAの統廃合で金融機関がなくなり困る	町全体	金融機関データ	40	金融機関、ATMのデータ	○	
91		ATMを増やす必要がある	町全体	金融機関データ	40	金融機関、ATMのデータ	○	
92	ごみ収集	ごみの分別が複雑すぎる	町全体	作成しない				
93	娯 楽	皆が集える娯楽の場がない(映画館、ミニコンサート、観劇、ミニサロン、グランドゴルフ場等)	町全体	娯楽場所データ	41	町内の娯楽場所データ	○	
94	災 害	災害発生時の避難場所整備(遠い、周知徹底、連絡方法、避難場所自体の安全性)	町全体	避難場所データ	42	災害時の避難場所データ(場所、範囲、避難経路、連絡体制、安全性)	○	
95		災害に備えて河川・砂防・急傾斜等の整備・維持管理が必要	町全体	ハザードマップ(別途事業が望ましい)				
96	上下水道	上水道の確保が困難	町全体	上水道供給データ	43	上水道供給データ	○	
97		下水道の接続費用が高額で困難(集会所などの料金も高額で困る)	町全体	作成しない				
98	除 雪	生活道の除雪が不十分(遅い、除雪なし、歩道は実施しない)	町全体	除雪順序データ	44	町内の除雪順序のデータ	○	
99		高齢化で除雪が困難	町全体	除雪困難世帯データ	45	集落毎の除雪が困難な世帯や生活道の数・箇所	○	
100		除雪した雪の捨て場がない	町全体	作成しない				
101	地域活動	高齢化により用水路清掃、草刈りなどの共同作業が困難になった(人数、体力、経済的)	町全体	共同作業困難さ	46	集落毎の各種共同作業が困難かどうか	○	
102		高齢化により地域の活動(葬儀・月番・祭りなど)が困難になった	町全体	地域活動困難さ	47	集落毎の各種地域活動が困難かどうか	○	
103		地域の伝統や文化の継承が必要	町全体	地域の継承すべき伝統・文化	48	伝統・文化のデータ	○	
104		回覧文書等を読んでもらえない・理解できない	町全体	作成しない				
105		地域拠点(神社、寺、防火用水、集会所)の維持管理が困難	町全体	共同作業困難さ	46	集落毎の各種共同作業が困難かどうか	○	
106		近所付き合いが少なくなっている	町全体	近所付き合いデータ	49	集落毎の近所付き合いがある世帯率	○	
107		青空市の運営が困難	町全体	地域活動困難さ	47	集落毎の各種地域活動が困難かどうか	○	

番号	項目	内 容	対象	整備データ	番号	データ詳細	公開
108	鳥獣被害	猪・猿による農作物被害	町全体	農作物の獣害データ	50	農作物の獣害データベース	○
109		熊出没により山に入れず荒れる	町全体	熊の出没箇所	16	熊の出没箇所データ	○
110	情報通信	新聞が郵送で休日に読めず料金が割高	町全体	新聞配達区域	51	新聞配達区域データ	○
111		避難場所でラジオも携帯も不通	町全体	携帯電話不感地区	5	町内のキャリア別携帯電話不感地区	○
112		インターネット環境が未整備	町全体	インターネット接続環境	52	町内のインターネット接続環境	○
113		携帯電話の不通地区が多い	町全体	携帯電話不感地区	5	町内のキャリア別携帯電話不感地区	○
114		公衆電話の設置(郵便局等)	町全体	公衆電話分布	6	町内の公衆電話分布	○
115		無線放送の回数増(朝夕に)	町全体	作成しない			
116		無線放送の内容に明るい話題を加える	町全体	作成しない			
117	休日に郵便物の持ち込みができない	町全体	作成しない				
118	道路整備	道路の危険箇所の整備促進(拡幅、急カーブ等、歩道、ガードレール、舗装、トンネル)	道路危険箇所データ(他事業での整備が望ましい)				
119		外灯整備の必要性	町全体	外灯必要箇所	37	外灯必要箇所と有無データ	○
120		加計BS周辺の環境整備	町全体	バス停環境	34	バス停待合い環境データ(椅子、屋根、屋内等)	○
121		町道の草刈りが困難(行政で実施を)	町全体	共同作業困難さ	46	集落毎の各種共同作業が困難かどうか	○
就業・その他							
122	観 光	温井ダムや三段峡を活用した観光施策が必要	町全体	作成しない			
123		特産品の共同開発が必要	町全体	作成しない			
124		都市との交流施策が必要	町全体	都市との交流施策データ	53	交流施策の実施箇所と内容データ	○
125	行 政	自宅にある傘・杖を町内各所に配備	町全体	作成しない			
126		行政各課・各関係団体が個々にながら活動しているが、一つになって活動すべき	町全体	地域活性化施策	54	各課、関係団体の地域活性化施策データ	○
127		行政からの連絡を文書・無線に加えてIT活用をすべき	町全体	作成しない			
128		共働きなので行政手続きを時間内に訪庁して行うのが難しい	町全体	行政手続きデータ	55	行政手続き可能場所データ(曜日、時間)	○
129		自宅近くで役場の手続きをしたい	町全体	行政手続きデータ	55	行政手続き可能場所データ(曜日、時間)	○
130		各種施設のユニバーサルデザイン化(バリアフリー化)	町の主要施設	バリアフリーデータ	56	町の主要施設のバリアフリーデータ	○
131		カタカナ表記が多く理解しにくい	町全体	作成しない			
132	就業・その他	就業の場を確保(企業誘致)	町全体	作成しない			
133		町外の就業場所への通勤費への対策(補助、税務面)	町全体	作成しない			
134		高齢者の就業場所を確保	町全体	作成しない			

② 「解決策」 データベース

安芸太田町「解決策」データベース

番号	項目	内容	対象	整備データ	番号	データ詳細	表示方法1	表示方法2
医 療								
1	診 察	巡回検診が定期的に必要	移動困難者	医療機関毎の検診範囲	K-1	医療機関毎の検診範囲	各集落が範囲内か否か	地図上での検診範囲表示
2		遠方の医院からは、往診してもらえない	移動困難者	医療機関毎の往診範囲	K-2	医療機関毎の往診範囲	各集落が範囲内か否か	地図上での往診範囲表示
3		加計病院の待ち時間が長い	町全体	作成しない				
4		加計病院で午後の受診もできるようにしてほしい	町全体	作成しない				
5		専門科がない(眼科、皮膚科、小児科、産婦人科)	町全体	医療専門科の分布	K-3	広島市など隣接自治体での分布	地図上での分布	
6		加計病院での耳鼻科に予約がなく、待ち時間が長い	町全体	作成しない				
7		休日や夜間における急病時対応の病院がない	町全体	休日診療所	K-4	休日診療所の分布(現在なし)	地図上での分布	
8		戸河内病院で外科の診察日が少なく困る (あなたくは月水金だけであり怪我の治療が金曜のみとなる)	町全体	交通関係データは、別途作成				
9	通 院	加計病院の待ち時間が長い通院で、自動車にボランティアで同上させてあげればよい	町全体	福祉有償移送サービス	K-5	福祉有償移送サービス実施意向を有する主体	主体名と運行地域データ	
10		あなたくが利用できない地域のため、通院が不便	町全体	交通関係データは、別途作成				
11		あなたく(またはバス)が病院に直行しない(行きたい目的地まで運行していない)	町全体	交通関係データは、別途作成				
12		あなたくは病院の帰りでも予約がないと利用できない(予約したくても携帯電話はなく、公衆電話もない)	町全体	交通関係データは、別途作成				
13		バスの便数が少なく、通院が不便	町全体	交通関係データは、別途作成				
14		病院に急患で入ったり、点滴を受けたときなど19時を過ぎると交通手段(タクシー)がない	町全体	交通関係データは、別途作成				
15		車いすでリハビリに行きたいが交通手段がない	町全体	交通関係データは、別途作成				
16		病院の夜間緊急時の出入りに配慮が必要	町全体	作成しない				
17		戸河内病院の現状維持が必要	町全体	作成しない				
福 祉								
18	移 動	免許証がないと移動が不便、夜間の会議や葬式等への出席が困難	町全体	交通関係データは、別途作成				
19		要介護の方の移動手段の整備が不十分	町全体	交通関係データは、別途作成				
20	少子高齢化	未婚者が多い	町全体	作成しない				
21		後期高齢者の一人暮らしが多い	町全体	作成しない				
22		子供が周辺にいなくなり寂しく元気が出ない	町全体	子供と地域の交流事業等のマップ	K-6	子供と地域の交流事業等の開催状況	地図上での分布	
23	生活環境	空き家が多く寂しい	町全体	空き家の数	10	集落毎の空き家数(活用可能な属性別に整理)	地図上での分布	
24		田舎暮らし希望者を暖かく迎える地域づくりが必要であり、排他的雰囲気の問題	町全体	作成しない				
25		加計と安野間で、JAや郵便局の集配範囲が異なり、1軒となりでも配達されない	町全体	JA・郵便の集配範囲	11	集落毎の属する集配範囲	地図上での範囲	
26		行政に相談しても、一向に話が進まないことがある	町全体	作成しない				
27		高齢者向け集合住宅(冬季滞在型)整備が必要	町全体	作成しない				
28		地域の役員等を受ける人が少ない	町全体	作成しない				
29		温泉の有効活用が必要	町全体	温泉分布と利活用施設分布	12	町内の温泉とその利活用施設	地図上での範囲	
30		近所の連帯感の薄れがあり、隣組のようなしくみを復活させては	町全体	近所付き合いの有無	K-7	近所付き合いの有無	集落毎の近所付き合い有無(自治会による調査)	
31		高齢者世帯(独居含む)の問題(食事、犯罪、移動、買い物、通院、話し相手、緊急時)	町全体	高齢者世帯への対策	K-8	各種サービスの状況(配食、声かけ、買物支援、話し相手など)	地図上でのサービス提供範囲	集落毎のサービス利用の可否
32		介護施設が近くにない(ショートステイ、デイサービス)	町全体	介護施設(サービス)	K-9	介護施設・サービスの分布	介護施設・サービスの地図上分布	集落毎のサービス利用の可否
33		一人暮らしの方への気配り(安否確認など)が必要	町全体	安否確認サービス	K-10	安否確認サービスの分布	安否確認サービスの地図上分布	集落毎のサービス利用の可否

番号	項目	内容	対象	整備データ	番号	データ詳細	表示方法1	表示方法2
34	生活環境	高齢化した障害者のケアが必要	町全体	障害者へのケアサービス	K-11	障害者へのケアサービスの分布	障害者へのケアサービスの地図上分布	集落毎のサービス利用の可否
35		耳が遠く電話が使えない	町全体	高齢者世帯への対策	K-8	各種サービスの状況(配食、声かけ、買物支援、話相手など)	地図上でのサービス提供範囲	集落毎のサービス利用の可否
36		近所での安否確認が必要	町全体	安否確認サービス	K-10	安否確認サービスの分布	安否確認サービスの地図上分布	集落毎のサービス利用の可否
38		要介護者の日常的な支援が必要	町全体	介護施設(サービス)	K-9	介護施設・サービスの分布	介護施設・サービスの地図上分布	集落毎のサービス利用の可否
教育・子育て								
39	学 校	児童数・学級数の減少が進んでいるため、学校の適正配置が急いで必要	町全体	学校の配置	K-12	小・中学校の配置・校区	小・中学校の配置・校区の地図上分布	
40		除雪されていない道を子供だけの通学が心配	町全体	通学路	15	各集落の小学校・中学校の通学路	地図上の分布	
41		通学途中での熊の出没が心配	町全体	熊の出没箇所	16	熊の出没箇所データ	地図上の分布	
42		加計保育所の駐車スペースが少なく困っている	町全体	作成しない				
43		幼稚園・保育園の一元化が必要	町全体	幼稚園・保育所データ	17	町内の幼稚園・保育所データ	地図上の分布	
44		地域に保育所や小学校を残して欲しい	町全体	学校の配置	K-12	小・中学校の配置・校区	小・中学校の配置・校区の地図上分布	
45		学校給食で食育に配慮して、暖かいものは暖かく食べられるような工夫が必要	町全体	給食調理場所	18	学校別の給食調理場所	地図上の分布	
46	教育環境	進学を考える際に、塾などの教育機関がない	町全体	塾などの教育機関分布	K-13	塾などの教育機関分布	地図上の分布	
47	通 学	地区によってスクールバス利用ができず、保護者の負担が大きい(津浪)	町全体	通学手段図	K-14	町内全地区の通学手段データ	集落毎の徒歩、スクール、路線バス利用、経路など	集落毎の通学の困難の有無
48		通学に利用しやすい路線バスのダイヤがない	町全体	目的別の公共交通ダイヤチェック	K-15	町内の各目的別の時間帯別公共交通ダイヤ	集落毎の目的別公共交通確保の可否	集落毎の目的別公共交通利用の困難の有無
49		部活の朝練や終了後のバスがない	町全体	目的別の公共交通ダイヤチェック	K-15	町内の各目的別の時間帯別公共交通ダイヤ	集落毎の目的別公共交通確保の可否	集落毎の目的別公共交通利用の困難の有無
50		バス通学のバス代補助が必要-(中学・高校)／(6km未満)	町全体	通学手段図	K-14	町内全地区の通学手段データ	集落毎の徒歩、スクール、路線バス利用、経路など	集落毎の通学の困難の有無
51		国道191号は交通量が多く歩道もないため自転車通学が危険	町全体	道路の危険箇所(他事業での実施が望ましい)				
52		冬季17時までには学校を出る必要があるが居場所がない	町全体	児童・生徒のバス待ち環境	K-16	児童・生徒のバス待ち環境の良好性	学校毎の良好さの程度(○×)	
53		バスに乗り遅れたときに公衆電話もない	町全体	公衆電話分布	6	町内の公衆電話分布	地図上の分布	
54	学外活動	習い事での移動手段がない	町全体	目的別の公共交通ダイヤチェック	K-15	町内の各目的別の時間帯別公共交通ダイヤ	集落毎の目的別公共交通確保の可否	
55	子育て	子供を安心して遊ばせることができる場所がない(公園)	町全体	子供の遊び場	K-17	子供の遊び場	地図上の分布	集落毎の有無
56		子育てするお母さんに利用しやすいタウン誌が欲しい	町全体	作成しない				
日 常 生 活								
57	高速道路	加計ICの利用時間が24時間使えないと、救急、通勤、旅行等に不便	町全体	作成しない				
58	空き家	空き家対策(維持管理、解体、斡旋、情報提供、サークル等での有効活用)が必要	町全体	空き家の数	10	集落毎の空き家数(活用可能な属性別に整理)	地図上の分布	
59	あなたく	広電バスとの乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	町全体	バス乗り継ぎデータ	K-18	乗り継ぎ停留所での広島・町内方面の乗り継ぎ時間	結節点での時間帯別乗継ぎ時間	集落毎に使う結節点での乗り継ぎ困難さの有無(例えば1時間以上の待ち時間など)
60		歩行が不自由な高齢者が利用しやすい通院専用車両が必要	町全体	新規サービス導入時に作成				
61		ダイヤ設定や運行便数が通院、買い物で利用しにくい	町全体	目的別の公共交通ダイヤチェック	K-15	町内の各目的別の時間帯別公共交通ダイヤ	集落毎の目的別公共交通確保の可否	集落毎の目的別公共交通利用の困難の有無
62		あなたく運行区域でないため利用できない	町全体	あなたく運行区域	K-19	あなたく運行区域データ	集落毎のあなたく利用または路線バス利用の可否	集落毎のあなたく利用の可否
63		あなたくは運休日があり不便	町全体	曜日別あなたく運行区域	K-20	曜日別あなたく運行区域データ	集落毎のあなたく利用または路線バス利用の可否	集落毎のあなたく利用の可否
64		あなたく車両のステップが高く乗降が困難	町全体	あなたく運行区域車両	K-21	あなたく運行区域データ路線別の車両バリアフリー	あなたく路線別の車両バリアフリー	集落毎のあなたくバリアフリー

番号	項目	内容	対象	整備データ	番号	データ詳細	表示方法1	表示方法2	
65	あなたく	自宅近くまでの運行をして欲しい	町全体	あなたく運行区域	K-19	あなたく運行区域データ	集落毎のあなたく利用または路線バス利用の可否	集落毎のあなたく利用の可否	
66		あなたくは病院を主目的地にしており、買い物利用ができない	町全体	あなたく目的地	K-22	あなたく路線別の買物場所・病院データ	路線毎のあなたくによる買物・病院アクセスの可否	集落毎のあなたくによる買物・病院アクセスの可否	
67		予約がなくても乗車可能にして欲しい(病院に運行しているときなど)	町全体	作成しない					
68	あなたく、代替バス、タクシーともに運休日がある		町全体	曜日別の代替バス運行区	K-23	集落毎の曜日別代替バス運行ルート(利用可能)	集落毎のあなたく利用または路線バス利用の可否	集落毎の路線バス利用の可否	
			町全体	曜日別のあなたく運行区域	K-24	集落毎の曜日別あなたく運行範囲(利用可能)	集落毎のあなたく利用または路線バス利用の可否	集落毎のあなたく利用の可否	
			町全体	曜日別のタクシー運行区域	K-25	集落毎の曜日別タクシー運行範囲(利用可能)	集落毎のタクシー利用の可否		
69	平日でもタクシーが昼間しか利用できない	町全体	時間帯別のタクシー運行区	K-26	集落毎の時間帯別タクシー運行範囲	集落毎のタクシー利用の可否			
70	交 通	加計BSへの連絡バスの本数が少ない	町全体	目的別の公共交通ダイヤチェック	K-15	町内の各目的別の時間帯別公共交通ダイヤ	集落毎の目的別公共交通確保の可否	集落毎の目的別公共交通利用の困難の有無	
71		川森文化交流センターへの移動手段の充実が必要(行事への参加、送迎サービス)	町全体	目的別の公共交通ダイヤチェック	K-15	町内の各目的別の時間帯別公共交通ダイヤ	集落毎の目的別公共交通確保の可否	集落毎の目的別公共交通利用の困難の有無	
72		バスを国道ではなく自宅近くの町道を運行して欲しい	町全体	路線バス運行区域	K-27	路線バス運行区域データ	集落毎のあなたく利用または路線バス利用の可否	集落毎の路線バス利用の可否	
73		バス車両のステップが高く乗降が困難	町全体	バス運行区域車両	K-28	バス路線別の車両バリアフリー	バス路線別の車両バリアフリー	集落毎のバスバリアフリー	
74		バスのダイヤを使い勝手よくする必要有り(始発便早く、最終便遅く、便数増)	町全体	目的別の公共交通ダイヤチェック	K-15	町内の各目的別の時間帯別公共交通ダイヤ	集落毎の目的別公共交通確保の可否	集落毎の目的別公共交通利用の困難の有無	
75		バス停の屋根などの待合い環境向上(加計病院バス停、その他)	町全体	バス停環境	K-29	バス停待合い環境データ(椅子、屋根、屋内等)	バス停毎の環境程度	集落毎の利用バス停の環境程度	
76		自動車の乗合の際、事故があったときの対応	町全体	作成しない					
77		移送支援	移送支援事業の対象をあなたく利用ができない軽度の障害を持った方も利用できるように対象拡大	町全体	身障者の移送支援利用可否	K-30	身障者の移送支援利用可否	身障者の程度別移送支援の利用可否	
				町全体	要介護者の移送支援利用可否	K-31	要介護者の移送支援利用可否	要介護者の程度別移送支援の利用可否	
78		農地管理	高齢化によって田畑の耕作がせきなくなり土地が荒れる	町全体	作成しない				
79	用水路の水漏れ等施設の老朽化		町全体	農地管理用データ(別途作成が望ましい)					
80	犬 猫	飼い犬の放し飼いで困っている	町全体	作成しない					
81		犬の糞の処理がしていない	町全体	作成しない					
82		野良猫が多い	町全体	作成しない					
83	外 灯	外灯が少ない(加計BS、川森文化交流センター国道側、加計バイパス)	町全体	作成しない					
84	買い物	JAの統廃合で食品品店がなくなり困る	町全体	作成しない					
85		移動手段がないと買い物が不便(電話による配達、さんさんネットの活用、移動販売車、生協)	町全体	作成しない					
86		生協のマークシートが使えない	町全体	作成しない					
87		買い物バスが必要	町全体	上記交通データで代替					
88		買い物でのボランティア利用者は、非常に気を遣っている	町全体	作成しない					
89	行 事	町の行事の開催を旧自治体単位で行うようにすべき	町全体	作成しない					
90	金 融	JAの統廃合で金融機関がなくなり困る	町全体	作成しない					
91		ATMを増やす必要がある	町全体	作成しない					
92	ごみ収集	ごみの分別が複雑すぎる	町全体	作成しない					
93	娯 楽	皆が集える娯楽の場がない(映画館、ミニコンサート、観劇、ミニサロン、グランドゴルフ場等)	町全体	作成しない					
94	災 害	災害発生時の避難場所整備(遠い、周知徹底、連絡方法、避難場所自体の安全性)	町全体	作成しない					
95		災害に備えて河川・砂防・急傾斜等の整備・維持管理が必要	町全体	ハザードマップ(別途事業が望ましい)					
96	上下水道	上水道の確保が困難	町全体	作成しない					
97		下水道の接続費用が高額で困難(集会所などの料金も高額で困る)	町全体	作成しない					

番号	項目	内容	対象	整備データ	番号	データ詳細	表示方法1	表示方法2
98	除雪	生活道の除雪が不十分(遅い、除雪なし、歩道は実施しない)	町全体	作成しない				
99		高齢化で除雪が困難	町全体	ボランティア等での除雪事業の箇所	K-32	ボランティア等での除雪事業の箇所	地図上の分布	集落毎の有無
100		除雪した雪の捨て場がない	町全体	作成しない				
101	地域活動	高齢化により用水路清掃、草刈りなどの共同作業が困難になった(人数、体力、経済的)	町全体	作成しない				
102		高齢化により地域の活動(葬儀・月番・祭りなど)が困難になった	町全体	作成しない				
103		地域の伝統や文化の継承が必要	町全体	作成しない				
104		回覧文書等を読んでももらえない・理解できない	町全体	作成しない				
105		地域拠点(神社、寺、防火用水、集会所)の維持管理が困難	町全体	作成しない				
106		近所付き合いが少なくなっている	町全体	作成しない				
107		青空市の運営が困難	町全体	作成しない				
108	鳥獣被害	猪・猿による農作物被害	町全体	作成しない				
109		熊出没により山に入れず荒れる	町全体	作成しない				
110	情報通信	新聞が郵送で休日に読めず料金が割高	町全体	作成しない				
111		避難場所でラジオも携帯も不通	町全体	作成しない				
112		インターネット環境が未整備	町全体	作成しない				
113		携帯電話の不通地区が多い	町全体	作成しない				
114		公衆電話の設置(郵便局等)	町全体	作成しない				
115		無線放送の回数増(朝夕に)	町全体	作成しない				
116		無線放送の内容に明るい話題を加える	町全体	作成しない				
117	休日に郵便物の持ち込みができない	町全体	作成しない					
118	道路整備	道路の危険箇所の整備促進(拡幅、急カーブ等、歩道、ガードレール、舗装、トンネル)	町全体	道路危険箇所データ(他事業での整備が望ましい)				
119		外灯整備の必要性	町全体	作成しない				
120		加計BS周辺の環境整備	町全体	バス停環境	K-29	バス停待合い環境データ(椅子、屋根、屋内等)	バス停毎の環境程度	集落毎の利用バス停の環境程度
121		町道の草刈りが困難(行政で実施を)	町全体	作成しない				
就業・その他								
122	観光	温井ダムや三段峡を活用した観光施策が必要	町全体	観光施策データ	K-33	観光施策図	観光資源と施策を地図上に表示	
123		特産品の共同開発が必要	町全体	特産品データ	K-34	特産品分布図	町の特産品を地図上に表示	
124		都市との交流施策が必要	町全体	都市との交流施策データ	53	交流施策の実施箇所と内容データ	交流施策の実施箇所と内容を地図上に表示	
125	行政	自宅にある傘・杖を町内各所に配備	町全体	作成しない				
126		行政各課・各関係団体が個々にがんばって活動しているが、一つになって活動すべき	町全体	地域活性化施策	54	各課、関係団体の地域活性化施策データ	地図上に表示	
127		行政からの連絡を文書・無線に加えてIT活用をすべき	町全体	作成しない				
128		共働きなので行政手続きを時間内に訪庁して行うのが難しい	町全体	行政手続きデータ	55	行政手続き可能場所データ(曜日、時間)	行政手続き可能場所データ(曜日、時間)	
129		自宅近くで役場の手続きをしたい	町全体	行政手続きデータ	55	行政手続き可能場所データ(曜日、時間)	行政手続き可能場所データ(曜日、時間)	
130		各種施設のユニバーサルデザイン化(バリアフリー化)	町の主要施設	バリアフリーデータ	56	町の主要施設のバリアフリーデータ	町の主要施設のバリアフリーデータ	
131		カタカナ表記が多く理解しにくい	町全体	作成しない				
132	就業・その他	就業の場を確保(企業誘致)	町全体	作成しない				
133		町外の就業場所への通勤費への対策(補助、税務面)	町全体	作成しない				
134		高齢者の就業場所を確保	町全体	作成しない				

③活動可能性基本データベース

「できないこと」・「解決策」から抽出した基本データ

施策の対象主体の基礎データ

整理番号	内容	整備データ	番号	データ詳細	公開
D-1	移動困難	免許証非保有者	1	集落毎の免許証非保有者数	×
D-2		障がい者	14	集落毎の障がい者手帳の人数	×
D-3		身障者(下肢)	2	集落毎の移動に係る障がい者手帳の人数	×
D-4		移送支援事業対象者データ	35	集落毎の移送支援事業の対象者数	×
D-5		要介護者	13	集落毎の要介護者の人数	×
D-6		要介護者(歩行)	3	集落毎の移動に係る要介護者(歩行)の人数	×
D-7		後期高齢者数	4	集落毎の後期高齢者数	×
D-8	生活支援	一人暮らし世帯数	8	集落毎の年代別一人暮らし世帯数	×
D-9		高齢者世帯		集落毎の高齢者のみの世帯数	×
D-10		除雪困難世帯データ	45	集落毎の除雪が困難な世帯の数	○
D-11	子供	子供の数	9	集落毎の就学前児童・小学生・中学生・高校生数	×
D-12		スクールバスが必要な子供の数	19	集落毎のスクールバスが必要な子供の数	×
D-13		通学にバスが必要な子供の数	20	集落毎の通学にバスが必要な子供の数	×
D-14		通学(部活)にバスが必要な子供の数	21	集落毎の通学(部活)にバスが必要な子供の数	×

サービスや施設側(対策と課題が同一)のデータ

整理番号	内容	整備データ	番号	データ詳細	公開
S-1	医療	総合病院		総合病院の分布	○
S-2		医療専門科の分布	K-3	広島市など隣接自治体での分布	○
S-3		医療機関毎の検診範囲	K-1	医療機関毎の検診範囲	○
S-4		医療機関毎の往診範囲	K-2	医療機関毎の往診範囲	○
S-5		休日診療所	K-4	休日診療所の分布(現在なし)	○
S-6	商業	食料品店	38	町内の食料品店データ	○
S-7		日用品店		町内の日用品店データ	○
S-8		移動販売に関するデータ	39	移動販売の種類、対象地区データ	○
S-9	情報通信	携帯電話不感地区	5	町内のキャリア別携帯電話不感地区	○
S-10		公衆電話分布	6	町内の公衆電話分布	○
S-11		公衆電話分布	7	拠点施設毎の公衆電話の有無	○
S-12		インターネット接続環境	52	町内のインターネット接続環境	○
S-13	金融・郵便	JA・郵便局の分布		町内のJA・郵便局の分布	○
S-14		JA・郵便の集配範囲	11	集落毎の属する集配範囲	○
S-15		金融機関データ	40	金融機関、ATMのデータ	○
S-16	教育子育て	幼稚園・保育所データ	17	町内の幼稚園・保育所データ	○
S-17		小学校・中学校データ	K-12	町内の小学校・中学校データ	○
S-18		塾・スポ小・各種教室の場所	21	塾・スポ小・その他教室などの場所や実施日・時間	○
S-19		児童・生徒のバス待ち環境	K-16	児童・生徒のバス待ち環境の良好性	○
S-20		子供の遊び場	K-17	子供の遊び場	○
S-21		給食調理場所	18	学校別の給食調理場所	○
S-22		通学路	15	各集落の小学校・中学校の通学路	○
S-23	行政	行政機関データ		役場・支所等行政機関データ	○
S-24		行政手続きデータ	55	行政手続き可能場所データ(曜日、時間)	○
S-25	娯楽・観光	娯楽場所データ	41	町内の娯楽場所データ	○
S-26		温泉分布と利活用施設分布	12	町内の温泉とその利活用施設	○
S-27	生活環境	外灯必要箇所	37	外灯必要箇所と有無データ	○
S-28		上水道供給データ	43	上水道供給データ	○
S-29		避難場所データ	42	災害時の避難場所データ(場所、範囲、避難経路、連絡体制、安全性)	○
S-30		除雪順序データ	44	町内の除雪順序のデータ	○
S-31		除雪困難道路データ	45	集落毎の除雪が困難な生活道の数・箇所	○
S-32		新聞配達区域	51	新聞配達区域データ	○
S-33		施設環境	バリアフリーデータ	56	町の主要施設のバリアフリーデータ
S-34	獣害	熊の出没箇所	16	熊の出没箇所データ	○
S-35		農作物の獣害データ	50	農作物の獣害データベース	○
S-36	集落の生活文化	共同作業困難さ	46	集落毎の各種共同作業が困難かどうか	○
S-37		地域活動困難さ	47	集落毎の各種地域活動が困難かどうか	○
S-38		地域の継承すべき伝統・文化	48	伝統・文化のデータ	○
S-39		近所付き合いデータ	49	集落毎の近所付き合いがある世帯率	○
S-40		空き家の数	10	集落毎の空き家数(活用可能な属性別に整理)	○
S-41		農地別耕作者	36	農地毎の耕作者(荒れ地、作物、氏名、年齢)データ	△

活動可能性を解決するサービスのデータ

整理番号	内容	整備データ	番号	データ詳細	公開
I-1	移動手段	あなたく運行区域	K-19	あなたく運行区域データ	○
I-2		曜日別あなたく運行区域	K-20	曜日別あなたく運行区域データ	○
I-3		あなたく運行区域車両	K-21	あなたく運行区域データ路線別の車両バリアフリー	○
I-4		あなたく目的地	K-22	あなたく路線別の買物場所・病院・金融・行政・学校等データ	○
I-5		路線バス運行区域	K-27	路線バス運行区域データ	○
I-6		バス運行区域車両	K-28	バス路線別の車両バリアフリー	○
I-7		曜日別の代替バス運行区域	K-23	集落毎の曜日別代替バス運行ルート(利用可能)	○
I-8		曜日別のタクシー運行区域	K-25	集落毎の曜日別タクシー運行範囲(利用可能)	○
I-9		時間帯別のタクシー運行区域	K-26	集落毎の時間帯別タクシー運行範囲	○
I-10		バス停環境	K-29	バス停待合い環境データ(椅子、屋根、屋内等)	○
I-11		バス乗り継ぎデータ	K-18	乗り継ぎ停留所での広島・町内方面の乗り継ぎ時間	○
I-12		目的別の公共交通ダイヤチェック	K-15	町内の各目的別の時間帯別公共交通ダイヤ	○
I-13		身障者の移送支援利用可否	K-30	身障者の程度別移送支援の利用可否	○
I-14		要介護者の移送支援利用可否	K-31	要介護者の程度別移送支援の利用可否	○
I-15		福祉有償移送サービス	K-5	福祉有償移送サービス実施意向を有する主体	○
I-16		スクールバス運行区域		路線バス運行区域データ(区域、ダイヤ)	○
I-17		通学手段図	K-14	町内全地区の通学手段データ	○
I-18	除雪	ボランティア等での除雪事業の箇所	K-32	ボランティア等での除雪事業の箇所	○
I-19	生活支援	高齢者世帯への対策	K-8	各種サービスの状況(配食、声かけ、買物支援、話相手など)	○
I-20		介護施設(サービス)	K-9	介護施設・サービスの分布	○
I-21		安否確認サービス	K-10	安否確認サービスの分布	○
I-22		障害者へのケアサービス	K-11	障害者へのケアサービスの分布	○
I-23	交流活性化	子供と地域の交流事業等のマップ	K-6	子供と地域の交流事業等の開催状況	○
I-24		都市との交流施策データ	53	交流施策の実施箇所と内容データ	○
I-25		地域活性化施策	54	各課、関係団体の地域活性化施策データ	○
I-26	観光等	観光施策データ	K-33	観光資源と施策を地図上に表示	○
I-27		特産品データ	K-34	特産品分布図	○

④ 組み合わせデータベース

活動可能性のデータシステム（基本データの組み合わせ）

項目	分析対象	活動内容	活動詳細1	活動詳細2	活動詳細3	対象となる属性	解決策	解決策の条件	活動可能性
医療	集落	診療・検診 (通院または往診)	専門科	曜日 時間		移動困難(D1~7)	移動手段(I-1~15) 医療(S-3~4)	全てを満たす どれか一つを満たす	○または×
商業	集落	買物 (施設または自宅)	品目	曜日 時間		移動困難(D1~7)	移動手段(I-1~15) 商業(S-6~8)	全てを満たす どれか一つを満たす	○または×
金融・郵便	集落	金融・郵便(移動)	目的地	曜日 時間		移動困難(D1~7)	移動手段(I-1~15) 金融・郵便(S-13, 15)	全てを満たす どれか一つを満たす	○または×
行政・イベント	集落	行政機関等への移動	目的地	曜日 時間		移動困難(D1~7)	移動手段(I-1~15) 行政(S-23, 24)	全てを満たす どれか一つを満たす	○または×
娯楽	集落	娯楽施設等への移動	目的地	曜日 時間		移動困難(D1~7)	移動手段(I-1~15) 行政(S-25)	全てを満たす どれか一つを満たす	○または×
教育	集落	通学	通学先	曜日 時間		子供(D-11~14)	移動手段(I-5, 7) I-11, 12, I-16, 17) 教育子育て(S-17)	全てを満たす どれか一つを満たす	○または×
	集落	学外活動	活動内容 (塾、スポ小等)	曜日 時間		子供(D-11~14)	移動手段(I-5, 7) I-11, 12, I-16, 17) 教育子育て(S-18)	全てを満たす どれか一つを満たす	○または×

第5章 分析システムを利用した事例について

5-1 システムの仕組み

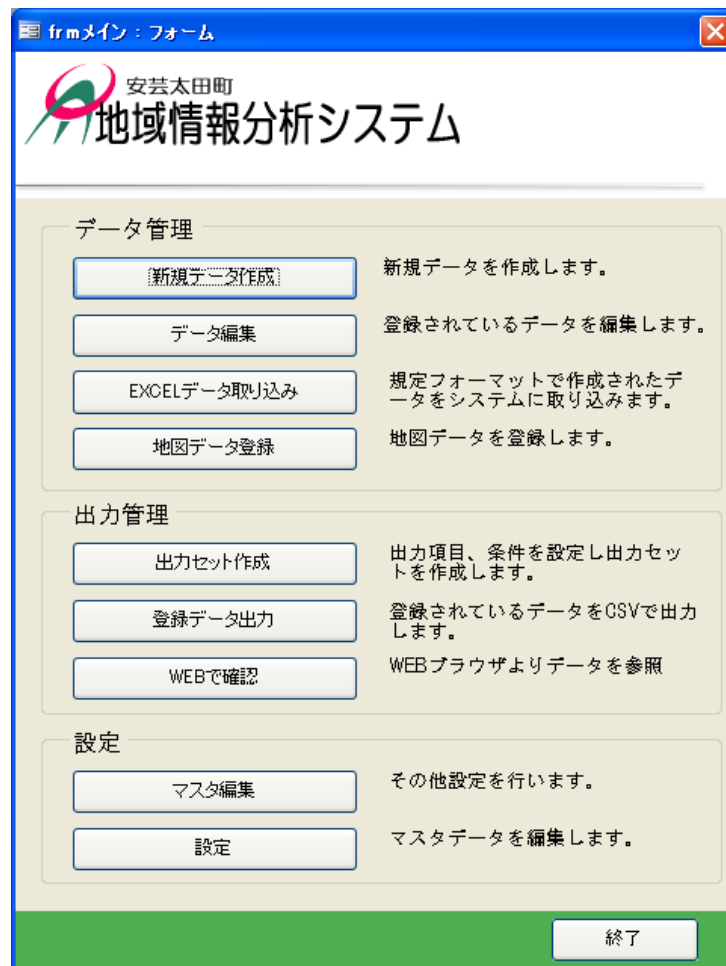
分析システムは、登録されている基本データを地図上に出力することができる。

また、登録されている基本データに条件を加え、その結果を出力することも可能となっている。

出力したデータは公開情報として表形式データまたは画像として WEB 公開することが可能である。

公開するデータについてはデータの性質により制限を加えることができ、プライバシーに配慮した公開をおこなうことが可能となっている。

図 5-1 起動後のメインメニュー



5-2 基本データの表示

システムに登録されている基本データは地図画像またはデータとして出力することが可能である。

出力できるデータは集落、拠点等のデータがある。

集落については人口世帯数などの基本情報、周辺の環境状況、各拠点との関係データを属性情報として所有する。

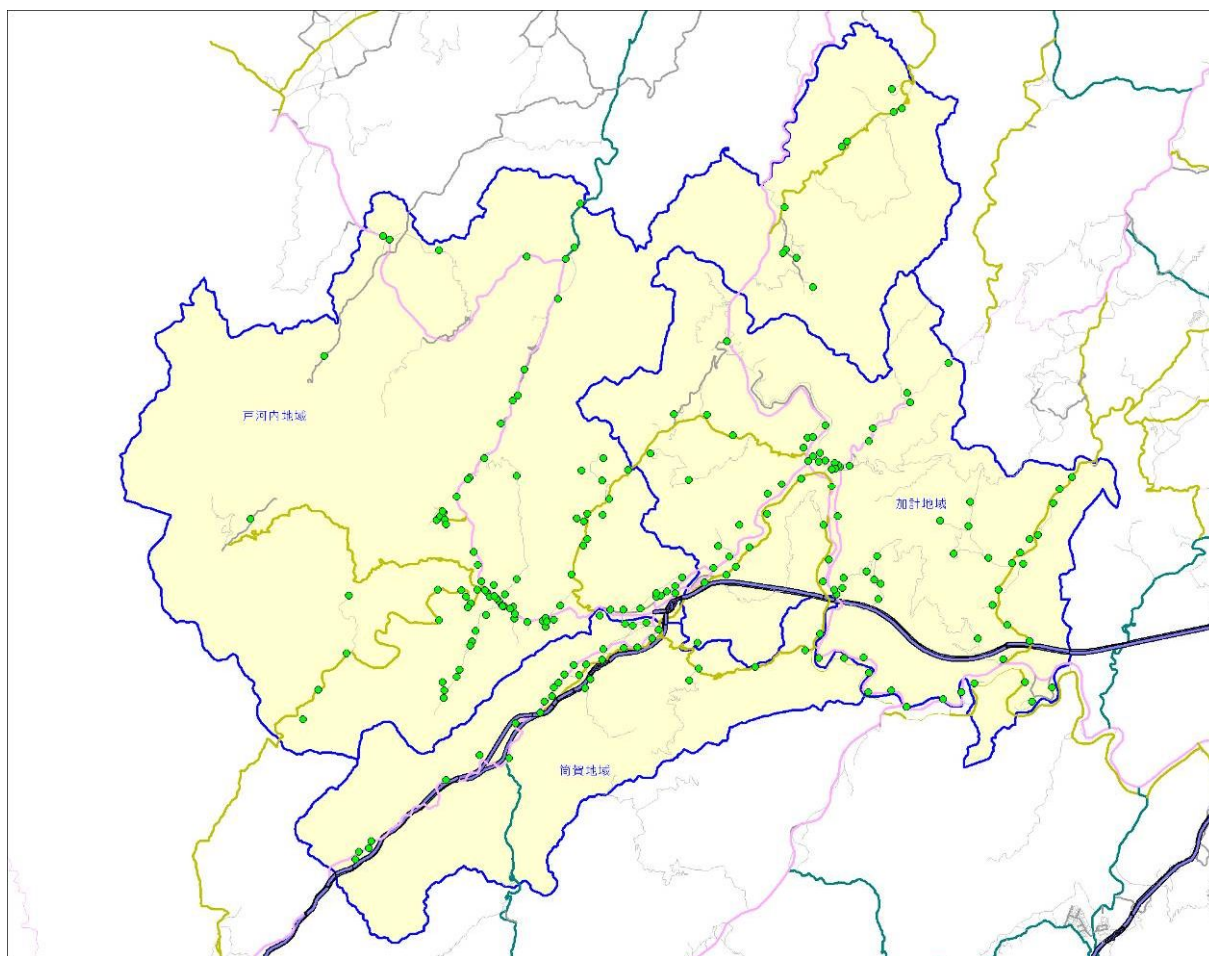
5-2-1 集落データ

基本データにある集落データを地図上に出力した例。

集落データは、地域、自治会、行政区、班の単位で構成される。

データにより適切な単位での集計を行う。また公開する際には、プライバシーを考慮した単位を利用する。

図 5-2 集落の分布

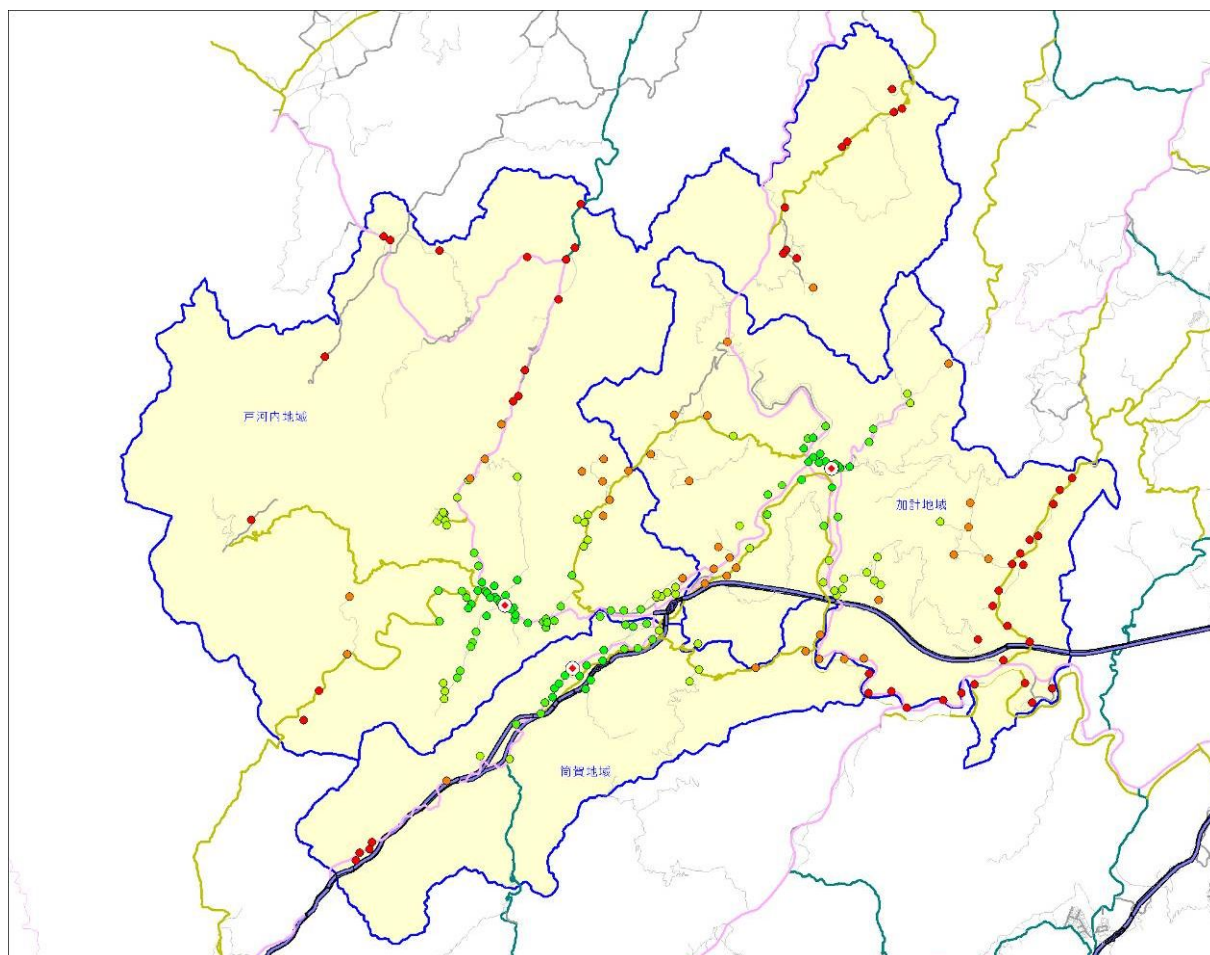


5-2-2 中心部までの距離

基本データにある集落データを地図上に出力した例。

集落の属性データである中心部までの距離を利用して主題図を作成している。

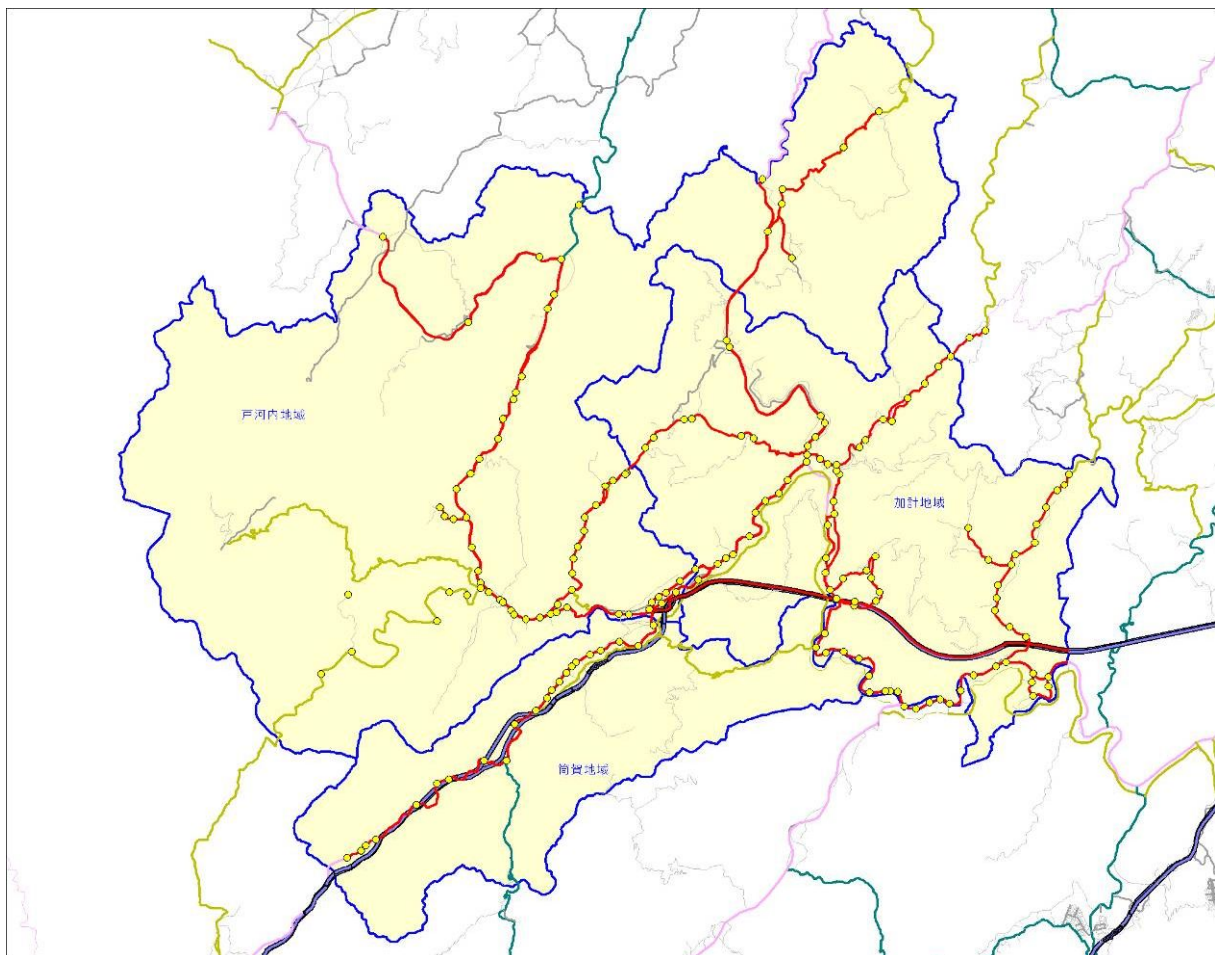
図 5-3 集落（班）から中心部までの距離



5-2-3 バス停、バス路線データ

基本データにあるバス停、バス路線を地図に出力した例。

図 5-4 バス停とバス路線

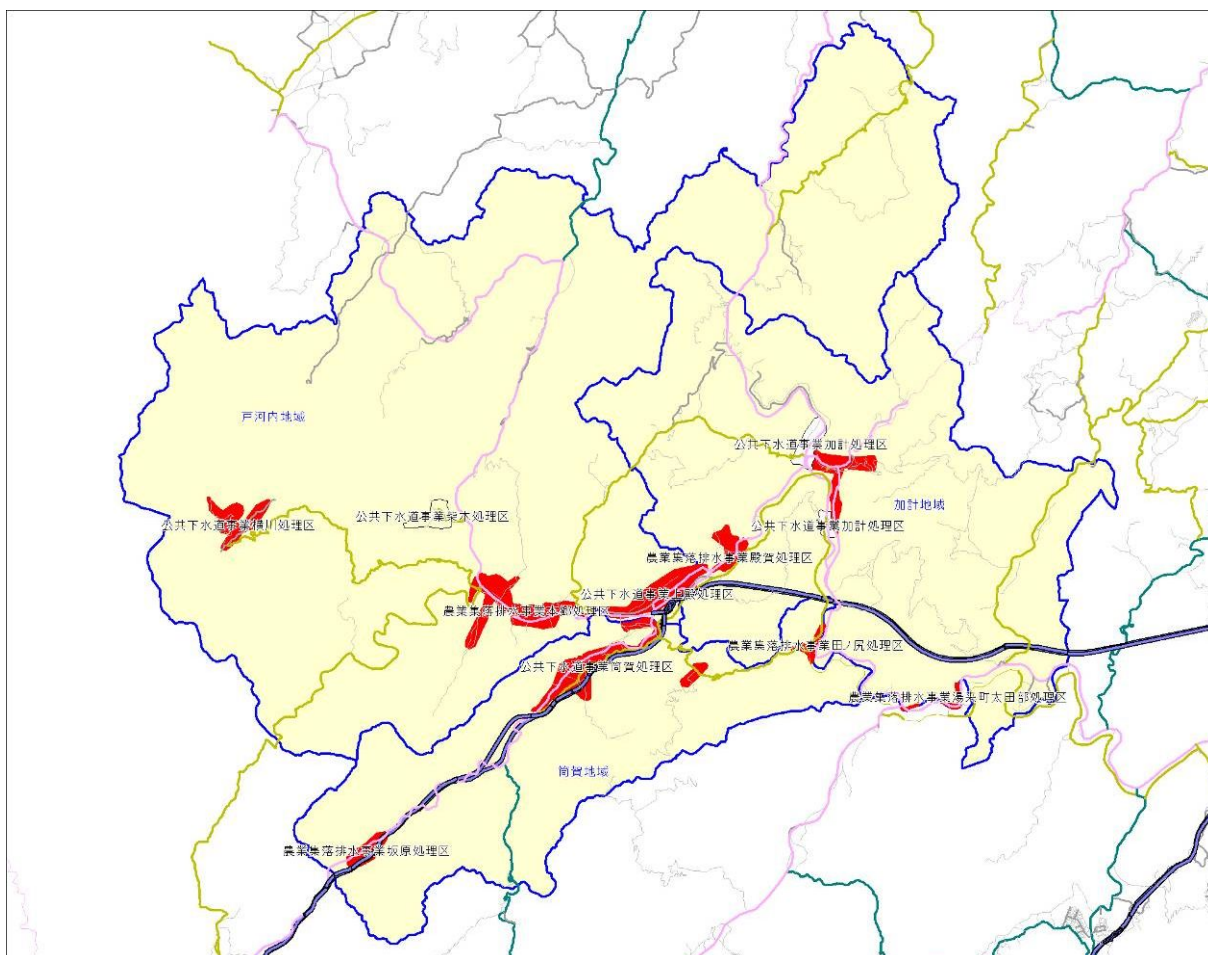


5-2-4 下水整備状況

基本データにある下水整備状況を地図上に出力した例。

情報は、点、線、面図形にて表現し地理的条件での検索にも対応する。

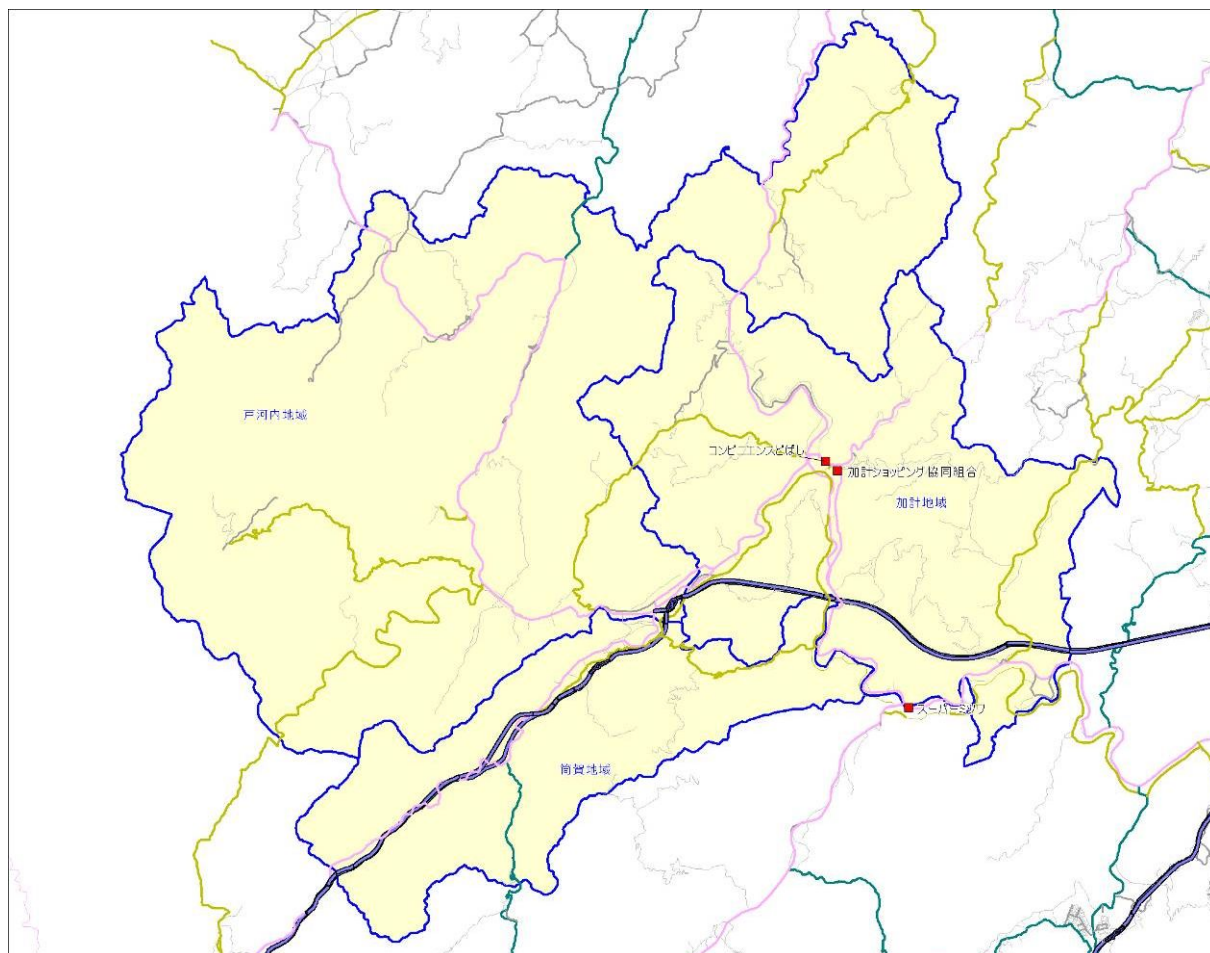
図 5-5 下水整備箇所



5-2-5 拠点施設（商業施設）

基本データにある商業施設を地図上に出力した例。

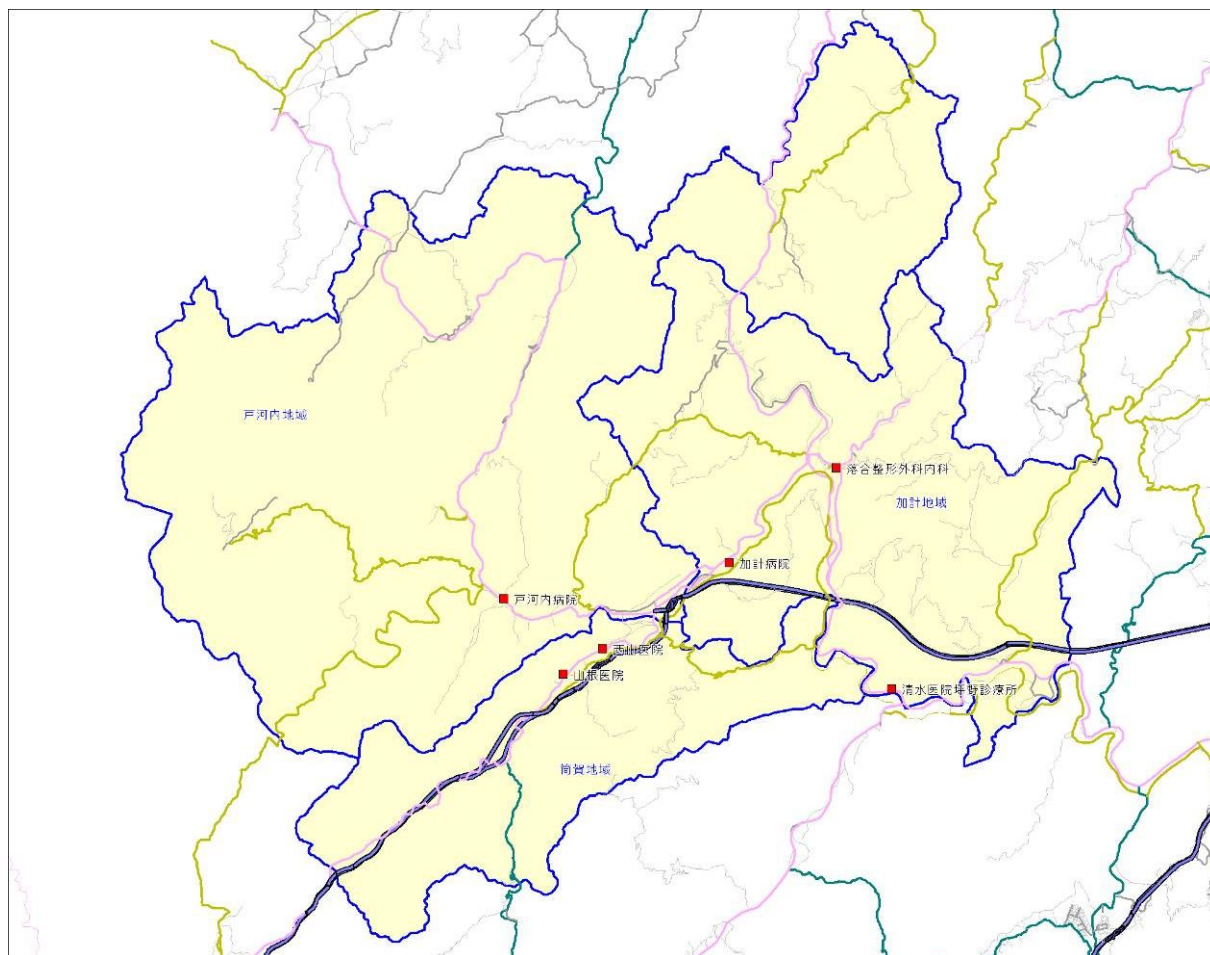
図 5-6 商業施設の分布



5-2-6 拠点施設（医療機関）

基本データにある医療施設を地図上に出力した例。

図 5-7 医療機関の分布

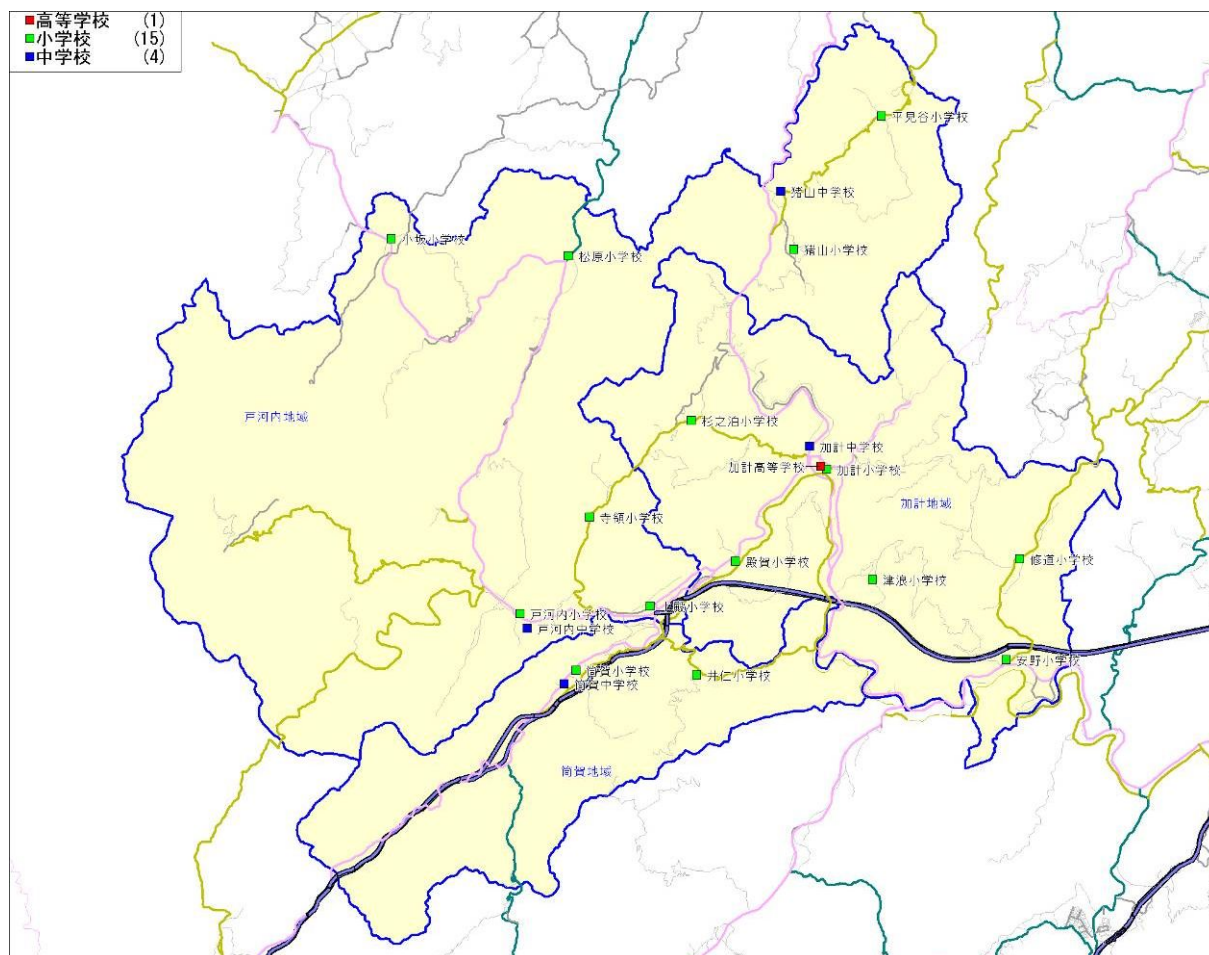


5-2-7 拠点施設（教育施設）

基本データにある教育施設を地図上に出力した例。

施設の属性情報（小学校、中学校、高等学校）により主題図を作成する。

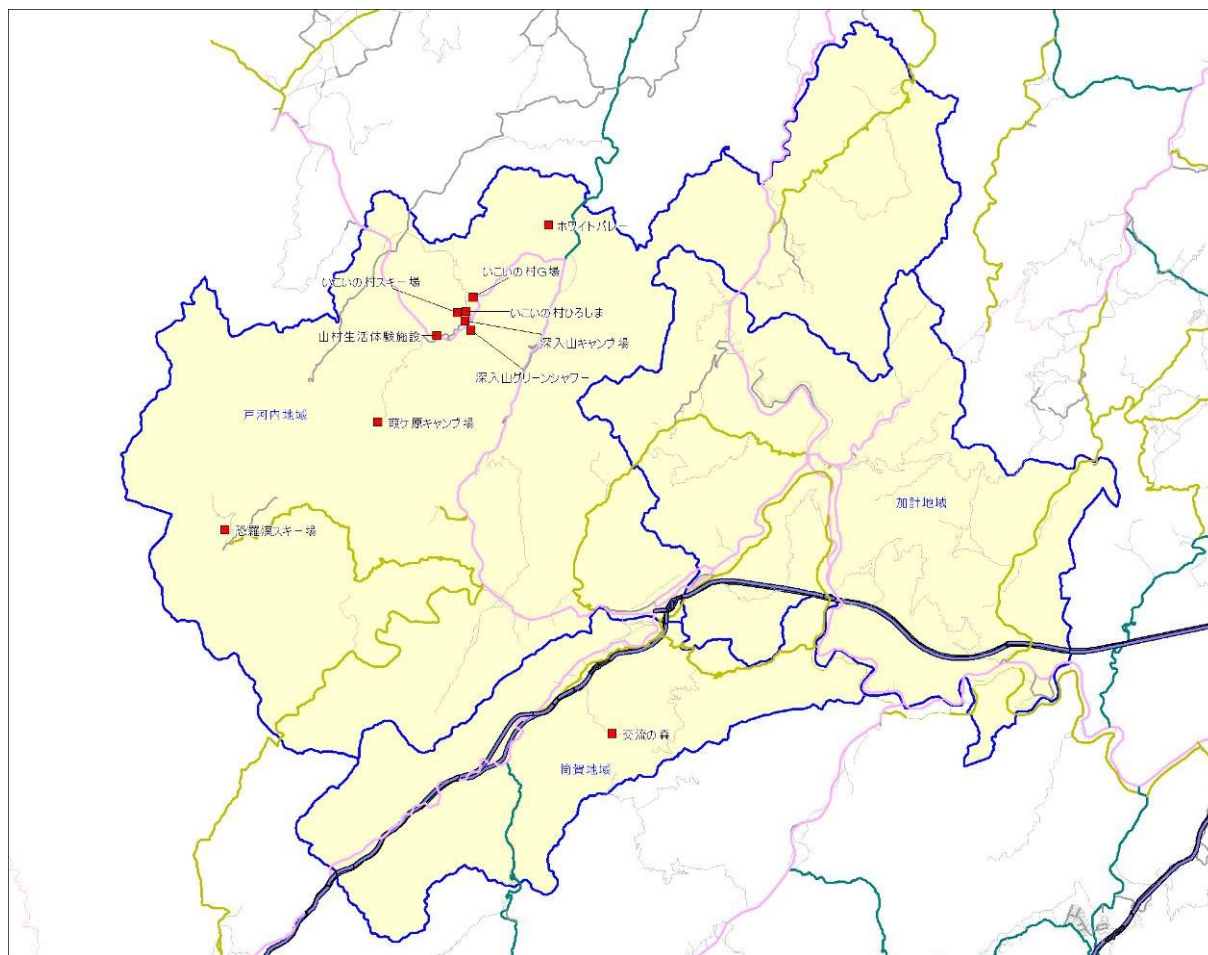
図 5-8 教育施設の分布



5-2-8 拠点施設（レジャー施設）

基本データにあるレジャー施設を地図上に出力した例。

図 5-9 レジャー施設の分布



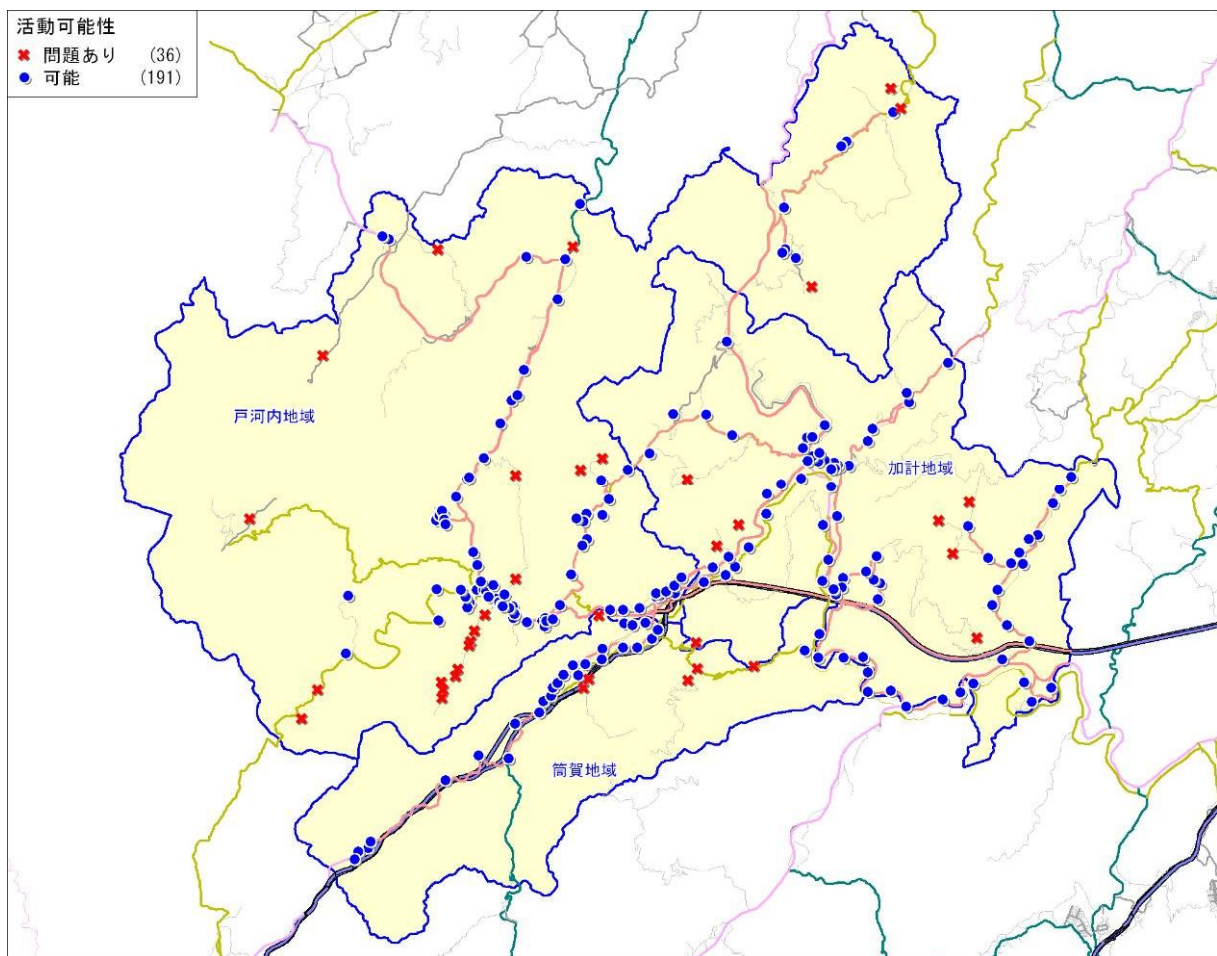
5-3 活動可能性データの表示

分析システムでは基本データを出力することの他、データに複数条件を加えてその結果、該当する箇所を抽出し表現することが可能となっている。

例えば、ある活動内容を対象に、現在の集落におけるバスの利用しやすさを判断する。

まず現状のバス路線で考えた場合、各集落におけるバス停までの距離が一定距離以上（400m）を越える箇所を問題ある箇所として抽出する。

図 5-10 バス停まで 400m 以上はなれた集落を抽出



問題のある箇所への対応策として、あなたく運行範囲を追加して考える。
この運行範囲内の箇所は解決される集落と判断する。

図 5-11 あなたく運行エリア

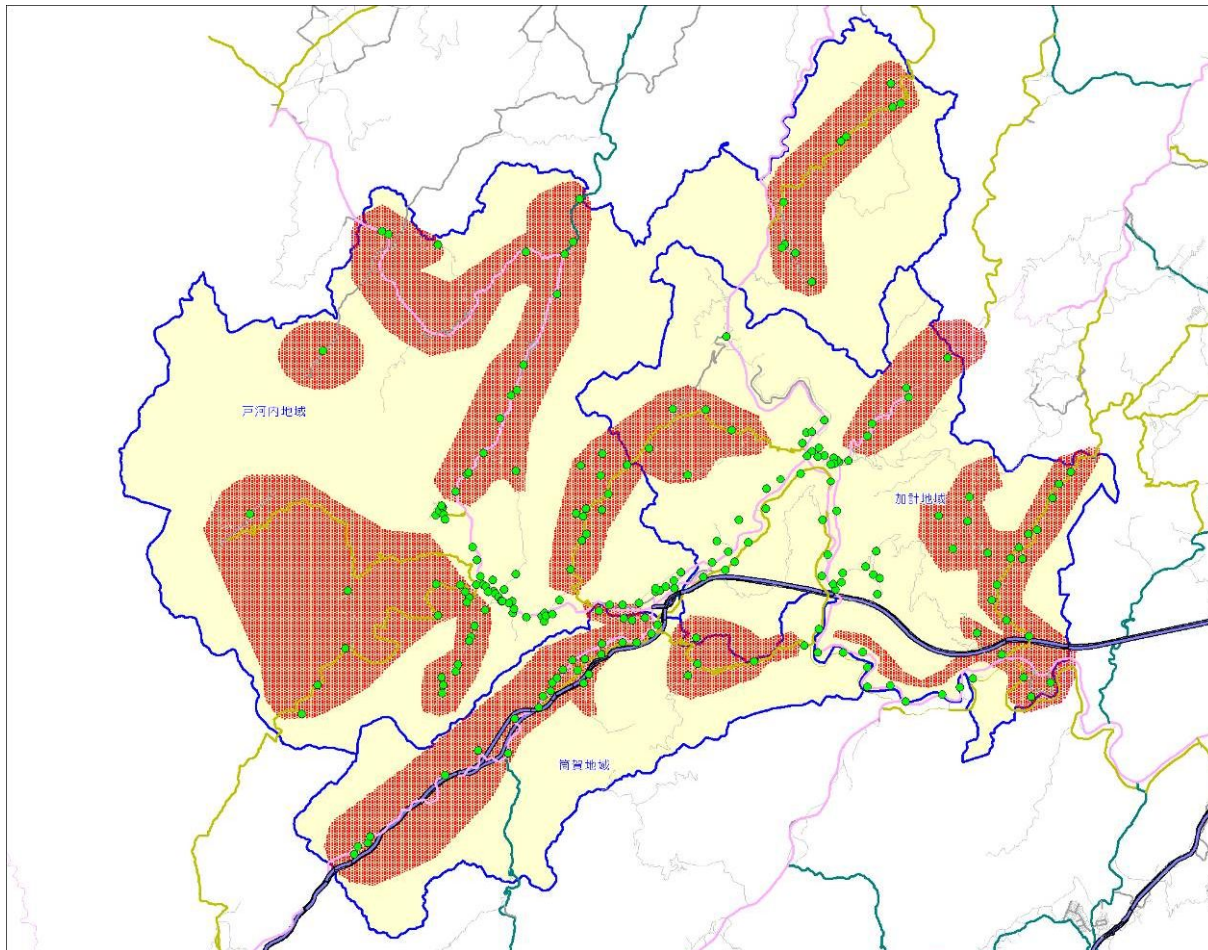
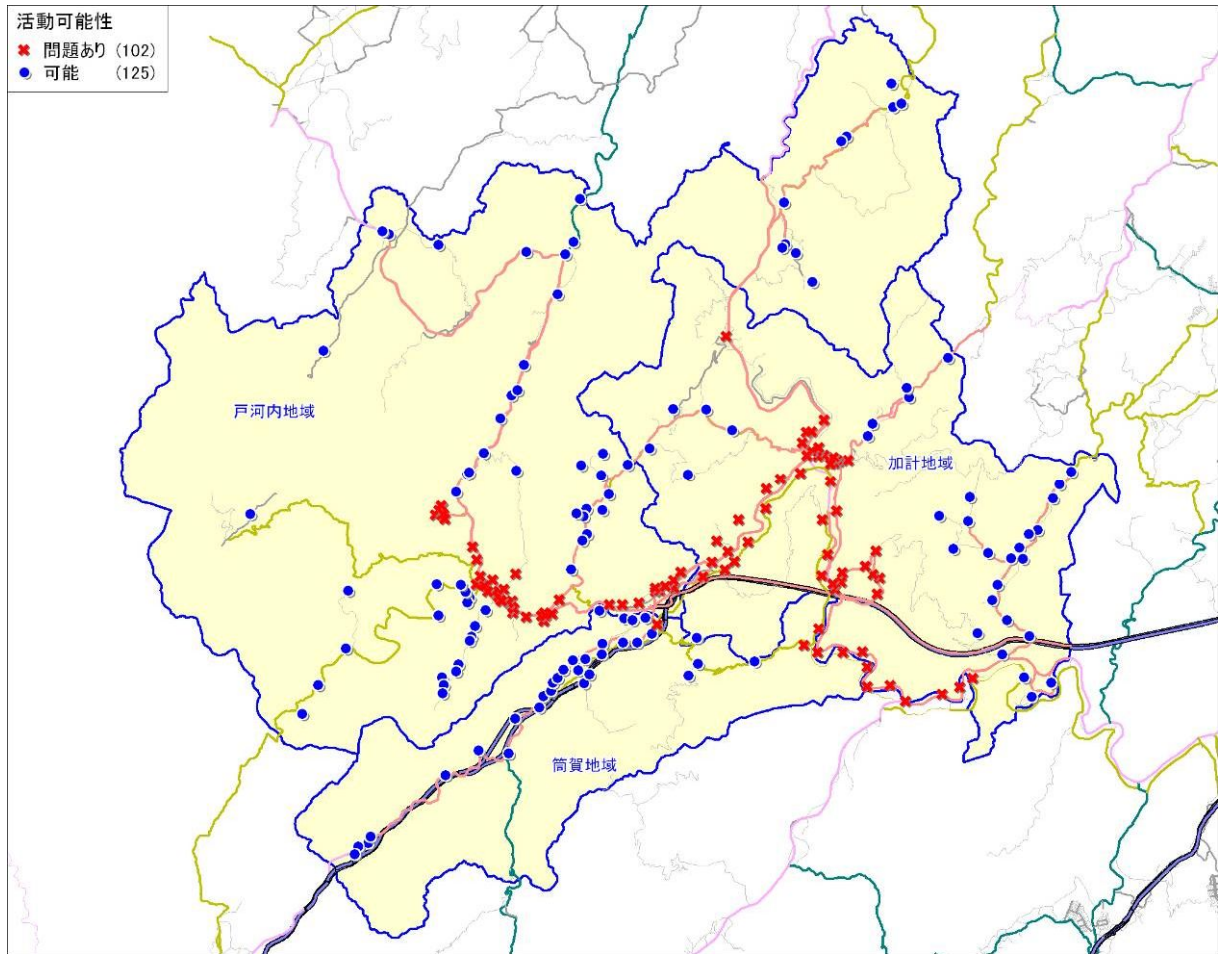


図 5-12 あなたく運行エリアを考慮した分析結果



路線バス、あなたく運行範囲の2つの条件を組み合わせた結果が以下の図のようになる。中心部近辺の数箇所の集落がいずれの条件にも合致しない結果となった。

図 5-13 路線バスとあなたく運行範囲を組み合わせた分析結果

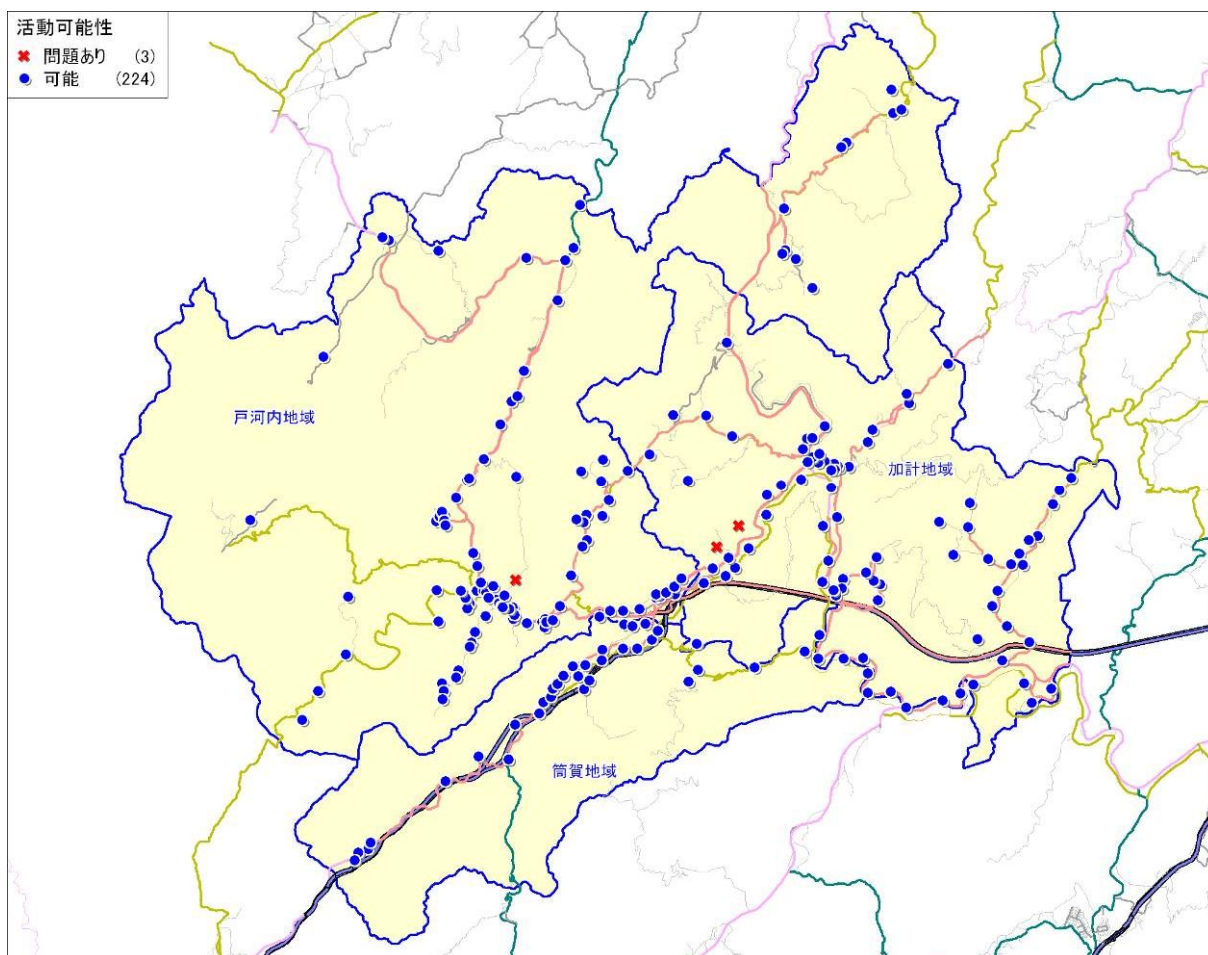


図 5-14 分析結果を一覧表で出力（問題箇所のみ抽出）

班 ID	名称	中心部までの距離 km	バス停までの距離 km	全条件	条件 路線バス	条件 あなたく
76	江河内	3.65	0.429	×	×	×
77	埜	2.861	0.447	×	×	×
151	粒谷	0.749	0.714	×	×	×

図 5-15 分析結果を一覧表で出力（対象全データ）

班 ID	名称	中心部までの距離 _km	バス停までの距離 _km	全条件	条件_路線バ ス	条件_あなた く
1	横山	3.794	0.717	○	×	○
2	野影	3.211	0.827	○	×	○
3	香郷	3.955	0.094	○	○	○
4	千本	3.978	0.785	○	×	○
5	名護木	4.81	0.087	○	○	○
6	昌原	6.374	0.051	○	○	○
7	上原	6.075	0.076	○	○	○
8	模ヶ原	5.951	0.201	○	○	○
9	周川	5.762	0.232	○	○	○
10	上田野原	5.579	0.22	○	○	○
11	下田野原	5.485	0.109	○	○	○
12	五反田	5.691	0.267	○	○	○
13	出口	5.415	0.072	○	○	○
14	本郷	5.485	0.108	○	○	○
15	坂根	5.618	0.199	○	○	○
16	芦杉	6.26	0.131	○	○	○
17	早木	6.983	0.099	○	○	○
18	澄合	6.825	0.169	○	○	○
19	黒峠	5.971	0.871	○	×	○
20	程原	6.861	0.2	○	○	×
21	宇佐	6.875	0.037	○	○	×
22	下久日市	6.816	0.037	○	○	×
23	来見	8.255	0.041	○	○	○
24	船場	8.175	0.151	○	○	○
25	津都見	7.659	0.24	○	○	○
26	上久日市	6.648	0.025	○	○	×
27	下坪野	6.125	0.041	○	○	×
28	上坪野	6.028	0.078	○	○	×
29	光石	5.105	0.106	○	○	×
30	附地	5.055	0.238	○	○	×
31	イロハ	3.72	0.081	○	○	×
32	二ホへ	3.349	0.232	○	○	×
33	トチリ	3.191	0.041	○	○	×
34	ヌルヲ	2.653	0.032	○	○	×

分析システムでは以上のような操作を以下の設定画面にて行うことが可能である。
 活動条件を設定し、解決策を設定することにより条件を満たす箇所もしくは問題ある箇所
 を地図上に表現することが可能となる。

図 5-14 分析システムでの条件設定

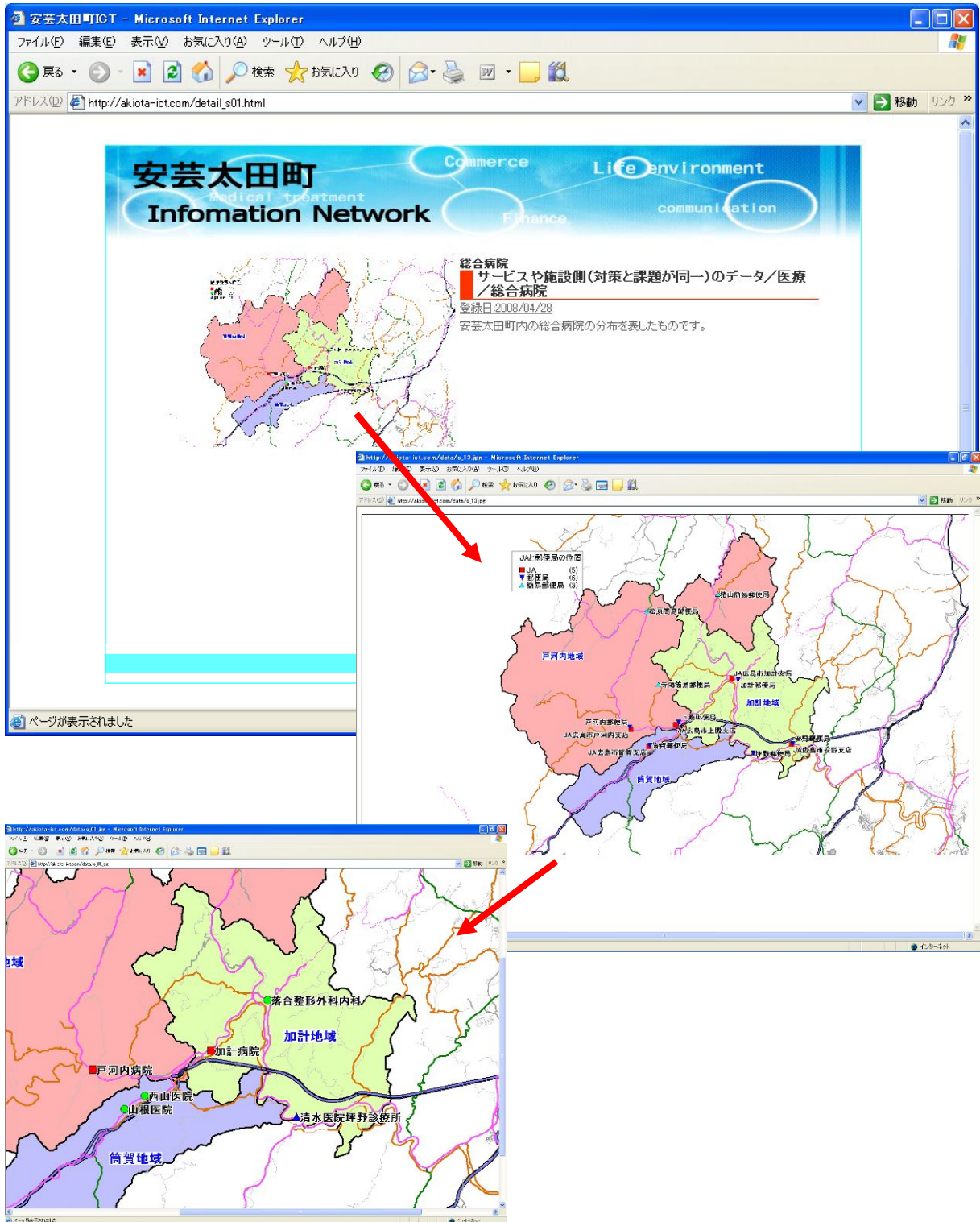
分析システムにて作成された地図は WEB サイト上で公開される。
公開するデータについてはプライバシー等を考慮する。

図 5-15 分析結果の WEB 公開画面 (メニュー選択)



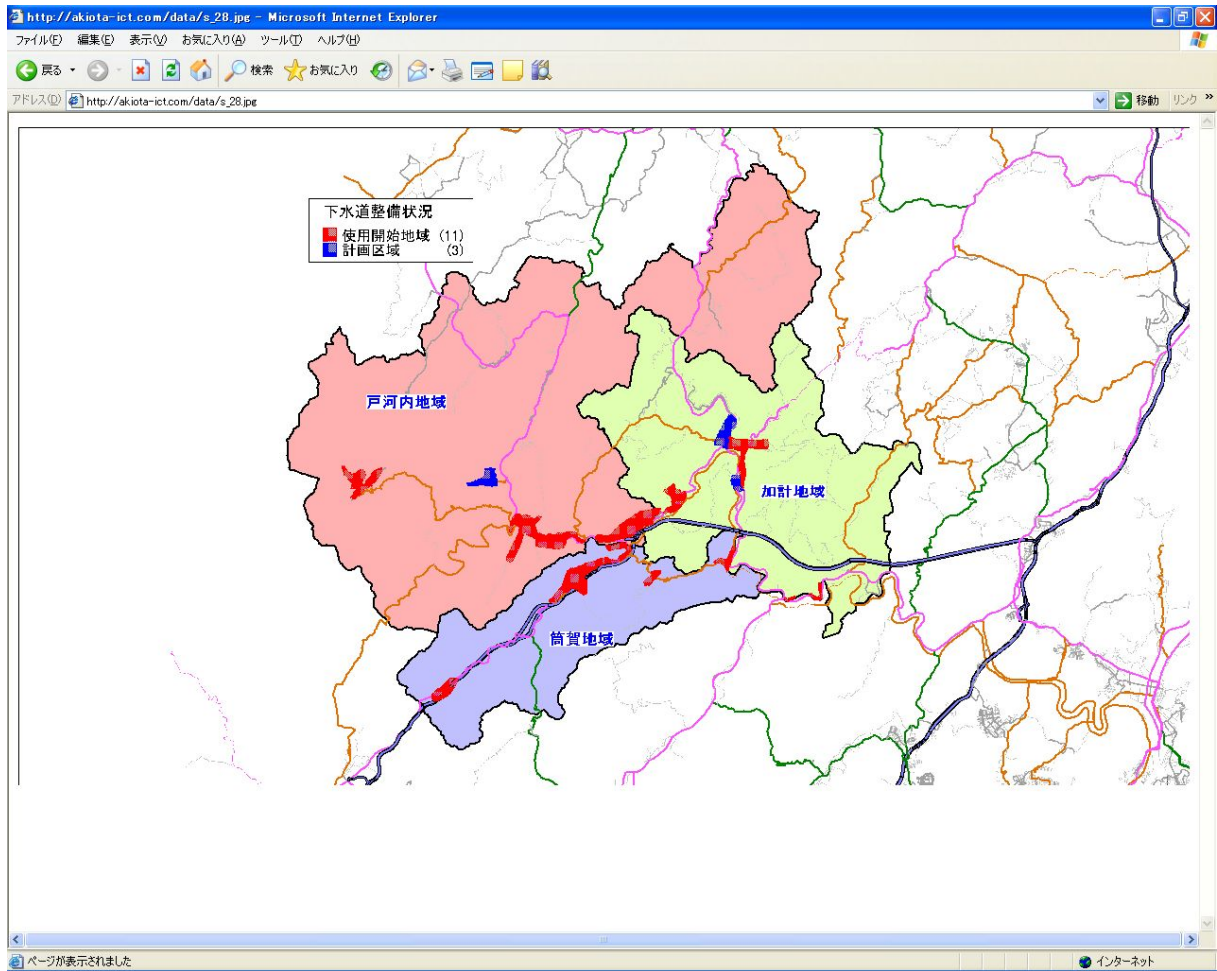
参照したいメニューをクリックすることで、該当する地図画像とデータを表示させることができる。

図 5-16 拠点施設の WEB 公開イメージ



地図画像をクリックすることで高解像度画像を参照することができ、ダウンロードして利用することも可能。

図 5-15 エリア的情報の WEB 公開イメージ



「安芸太田町での暮らしに関する」調査

資料 1

平成 20 年 1 月 28 日

調査主体：安芸太田町行政ユニバーサルサービス協議会

【事務局 安芸太田町役場 総務課】

この調査は、安芸太田町での暮らしに関して皆様のお考えを収集し、今後の安芸太田町の暮らしやすさをより良くするための基礎資料とすることを目的としています。

この調査票に記入された内容は、統計データとしてのみ使用されるもので、この目的以外に使用されることはありません。

ご多忙中のところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただきまして、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご面倒ですが、回答して頂いた調査用紙は、同封の返信用封筒で送付されるか、直接安芸太田町役場総務課、加計・筒賀の各支所に提出していただいても結構です。

★本調査資料は、別添「事業全体概要」の中での基礎データとして使用いたします。

★回収期限 平成20年2月4日(月)を期限とさせていただきます。

－お問い合わせ先－

この調査についてわかりにくい点などございましたら、下記までお問い合わせください。

安芸太田町役場 総務課(小島)

交通政策室(武山)

0826-28-2111(総務)・28-1972(交通政策室)

問 1 調査回答していただく、あなた自身のことについてお書きください。

居住する地区	行政区（ 土居 ）、集落名（ 土居 ）
所 属	（例、女性会、老人クラブ、無し等）

問 2 あなたのお住まいの地域で、生活していく上で

「不便に感じていること」

について、どんなことでもいいですから、思いつくものを具体的にお書きください。

ご自身で思いつかない場合は、「地域の方、近所の方がこのようなことを言っておられた」ということでも結構です。

記入例

(1) あなたく運行区域とちがうし、一人暮らし、自分で運転もできんし、ちょっと買い物にいこうと思うても、行く手段が無い。お刺身など新鮮なものは買えない。
(2) 携帯電話が使えない。公衆電話の設置箇所も少なくなった。
(3) 新聞購読をお願いしても、郵送での配布で午後に届く。
(4) 近くに病院がない。
(5) 自分が食べるだけの野菜を作る畑は耕すが、休耕地が増えていくばかり、ほっとけば草が生えほうだいで、草刈はなかなか大変じゃ
(6) 若い者が地域にいない。

安芸太田町の暮らしに関する調査 集計シート

【医療】

NO	項目	内容
1	医師不足	戸河内病院に常勤医師が1人しかいないのが不安。
2	医療費	医療費が値上げされて年金生活には大きな問題。
3	交通	バスの便数が少なく通院が不便。
4	巡回検診	巡回検診がなくなったので、定期的に巡回指導がほしい。
5	診察	遠方へ通院すれば往診してもらえないので不便。
6	診察	加計病院の診察の順番を取るのが大変。予約制を導入してほしい。
7	診察	加計病院の待ち時間が長い。
8	診察	加計病院は個人病院のように午後も受診できるようにしてほしい。
9	診察	眼科、皮膚科など専門的な病院がない。
10	診察	急病時の休日・夜間対応の病院がない。
11	診察	小児科、産婦人科がない。
12	診察	診療所を設け、加計病院から医師の派遣をしたらどうか。
13	診察	総合病院など予約や紹介がないと受け付けてもらえない。
14	診察	近くに病院がない。
15	診察	戸河内病院が機能しないので困っている。
16	診察	戸河内病院で外科の診察日が少ないので困る。この地区ではあなたくの運行日が月水金なので、怪我をしたとき金曜日だけでは不便。
17	診察	戸河内病院へ通院しているが、週1回でもリハビリを受けたい。
18	診察	戸河内病院が診療所になったので、いままでの様なお医者さんが多く居られないので困ることが
19	診察	戸河内病院におきた先生に帰ってもらいたい。
20	診察	病院に信頼が持てず、遠方へ通院せざるを得なく不便。
21	診察	病院の待ち時間が長い。
22	通院	私は月曜日に加計病院へ通院しています。そこで自家用車でいきますから、月曜日加計病院へ行かれる人があれば2~3名を連れて行くことが出来る運賃は不要です。私が行き帰るので私だけでなくほかの人が一週間のうち行かれる曜日がわかれば、その人が何人か病院に行かれる人を連れて行くことにすればボランティアができるのではないかと思います。
23	通院	集会場所が出来れば皆さんの話しを集約して何週日に私が行くから連れて行ってあげるよと話し合いがスムーズに進むのではないかと思います。
24	通院	あなたくが利用できない地域なので乗りたくても乗れない。
25	通院	あなたくでは加計病院への直行がない。
26	通院	あなたく等の利便性の向上。
27	通院	あなたくの町立病院までの延長と日曜日の運行。
28	通院	あなたくは病院の帰りの予約なしでは乗せてもらえない。予約しようとしても年寄りでも携帯電話も持たず公衆電話も見当たらず予約が出来ない。
29	通院	あなたくを飯室バスセンターまで運行してもらいたい。(病院等で可部方面の医療機関に行くことが難しい)
30	通院	行きつけの歯科に行くにしてもバスの便がないので歯科にも行けない
31	通院	今は自家用車に乗って通院しているが将来車に乗れなくなったときに公共交通が悪いので不安。
32	通院	運転ができないので、夜間体調不良になったときなど緊急時に不安。
33	通院	帰り便空いているのに予約がないと利用できない。
34	通院	加計病院へ行かれる人の運搬方法
35	通院	加計病院に行くのに朝早いバスで行って帰るのは夕方になる。
36	通院	加計病院への通院が困難。
37	通院	眼科、皮膚科など専門的な病院がない。
38	通院	急病(ゼンソク)になっても、夜はタクシーもなく、消防署に連絡するほどでもない場合、我慢するしかない。
39	通院	車を運転できないので通院に不便を感じる。
40	通院	近くに病院がない。
41	通院	坪野に清水医院坪野診療所、湯来町久日市に林病院がある。
42	通院	冬季は中戸河内病院の2階にすめるようにして欲しい。
43	通院	戸河内病院を拠点とした考えで発足したあなたく事業だが、主眼が加計病院に移行した現状ではあなたくも加計まで伸ばす必要があると思われる。
44	通院	戸河内病院があるので助かっている。
45	通院	年をとると体のあちこち具合が悪くなり大変である。通院も大変である。
46	通院	バスで通院するのに乗換えが多く不便。
47	通院	バスの回数が少ないので、待ち時間が長く天気の良い日は具合が悪くなる。
48	通院	バスの便数が少なく通院が不便。
49	通院	バスの便数が少なく通院が不便。
50	通院	病院が遠く利用しにくい。開業医の往診も途絶えがち。
51	通院	病院に行きたくても出られないときがある。
52	通院	

NO	項目	内容
53	通院	病院に急患で入ったり、点滴を受けた後19時以降だと交通手段(タクシー)がないのでどうにかしてほしい。近所の人に何度もは頼み辛い。
54	通院	病気の後遺症で車椅子で、リハビリに行きたいが交通手段がない。
55	通院	私達年寄りが病気で通院、バスで行かれる時は良いですが、無理な時があります。車の運転も出来ず、タクシー利用で加計病院まで年金生活の私達には、大変な負担です。。
56	通院	通院に困る。
57	入院	長期に入院すると、途中で転院しなくてはいけないのが困る。
58	入院	戸河内病院から加計病院、そして大学病院で二十日間入院治療を受けたが、大学病院では治療が出来ず千葉の重粒子科学センターに紹介で、三十日間入院治療し今は自宅療養で、時々戸河内病院で診察を受けています。近くに戸河内病院があつてよかつたと思っています。
59	入院	病院より入院患者様態急変の電話が夜11時すぎあり、町内より欠けつける。非常口わからず大変困りました。病院より連絡があつたら守衛さんにも一言伝え、扉の鍵を開けて待っていて欲しい
60	入院	以前は戸河内病院で一時的でも入院ができていたが、今はできないので不安。
61	予防接種	予防接種を受けるときも、鼻水が出たくらいで受けさせてもらえないので、なかなか注射が受けられない。小児科の先生にやってもらいたい。
62	その他	インフルエンザのワクチンがなくなったことを理由にかけ病院に行くよう指示されたが、病院間でやり取りはできないものか。
63	その他	加計病院の充実があれば十分だ。
64	その他	近所で救急車を呼んでも来なかつたことがあつたと聞き、不安に思う。
65	その他	交通、医療関係にはその考え方や現実に失望する。
66	その他	自宅で安らかに死にたいが、一人暮らしでは無理なのか。
67	その他	戸河内病院が診療所と老人施設になることに賛成。
68	その他	戸河内病院を掛かりつけにしていたが、これからの地域医療の拠点としてどうなるかが不安。
69	その他	戸河内病院を現状維持してもらいたい。
70	その他	戸河内病院を現状維持してもらいたい。
71	その他	老人・目の不自由な人向けの大きな字で「電話 火災〇〇〇〇、救急 〇〇〇〇へ」とポスターを作成してほしい。
72	その他	救急車が来るまでが遅い
73	その他	急病時の休日・夜間対応の病院がない。
74	その他	現在直面している戸河内病院の行示は全て前途が不安となるものばかり。
75	その他	重粒子治療は、高額医療で保険が効かないので御金が沢山要る。痛い癌との闘い、生きる為には、死か、生かの闘いだ。行政上、全額自己負担を助成できないものか。
76	その他	戸河内病院の待合所は冬が寒い。病院で風邪を引きそうだ。
77	その他	戸河内病院は病院として機能していない。地域住民は安心した生活ができない。
78	その他	病院代・薬代が高い
79	その他	病院の存続を。

安芸太田町の暮らしに関する調査
集計シート

【福祉】

NO	項目	内容
1	移動	JRが廃止されたので、自家用車のない世帯は不便。
2	移動	JRも広電バスの廃止されると、運転のできない高齢者はどこにも行けず困る
3	移動	あなたくを日曜日も運行してほしい
4	移動	田舎は車がないと生活ができない。
5	移動	今は自動車です町内活動はできるが、将来どうなるか不安。
6	移動	上原はあなたく通行区域でないため年寄りには困っております。
7	移動	車に乗れない人は地域で生活できないので、もう少し移動が気軽にできればいい。
8	移動	高齢者は車の運転ができないので、会合に出席できない。町の方で車を手配してもらえると良い。
9	移動	バスに乗りにくい体で、どうしてもタクシーを使うようになる。暮らしで度々利用は出来ない。柴木にもあなたくがほしい。
10	移動	免許を持っていないので出かける度に不便を感じている。川森文化交流センターの夜の会議も傍聴したくても行けない。夜間の外出・お葬式等親しい人に迷惑をかけている。
11	移動	役場本庁が遠くなり、利用するのに大変不便を来しています。行政側としては、一極集中方式が効率よく都合が良いと思われませんが、主権在民の立場は常に忘れないようにお願いします。
12	移動	要介護状態の方の移動手段の整備が不十分。社協の移送支援は審査等あるのでそれだけでなく、他の方法を検討してほしい。
13	移動	免許証(車)を持っていないと自分の行きたい所へ行けない。
14	介護保険	介護認定、介護保険制度を詳しく知らない。
15	介護保険	年金が少ないのに介護保険料が高すぎる。
16	少子・高齢化	未婚者が多い。嫁が来ない。
17	少子・高齢化	70歳以上の1人暮らしが多い。
18	少子・高齢化	いまのままだと安芸太田町の人口は今の半分以下になり、枝葉の集落はなくなり、役場の職員も3分の1でできると思う。
19	少子・高齢化	過疎化、高齢化が不安。
20	少子・高齢化	結婚適齢期の若い人が4人いるが、早く結婚して次世代を続けてほしい。仲人など町として手立てはないか？
21	少子・高齢化	高齢者が住み良くなるためには、少人数の若者の税金、介護保険料等負担が増加し、若者が住みにくくなるばかりなので、町民負担が多くならないしくみを考えてほしい。
22	少子・高齢化	子供がいないので老後が心配。老人ホームでお世話にならないといけなと思う。
23	少子・高齢化	小学生、保育児童が1人もいなくなり、子供の姿を見ないし、寂しく元気が出ない。
24	少子・高齢化	少子化対策、若者の結婚対策。
25	少子・高齢化	商売人にとって人口減＝収入減であるしこのままでは町として機能しなくなるのでは？働く場所がないのだから、戸河内I.C付近に工場等を誘致するなど対策を打ち出してほしい。
26	少子・高齢化	1人暮らしが多くなり、子供、若い人が少ない。
27	少子・高齢化	老人クラブ会員が床に就いている人が多い。
28	生活環境	10年先の吉ヶ瀬はどうなっているだろう。現在の70代～80代が亡くなった時、何戸のお家が残るだろう、住む人の顔ぶれは？想像すると、夜寝付かれなくなる時がある。
29	生活環境	空き家が多くさびしい。
30	生活環境	田舎暮らしを希望する方を温かく迎え入れる地域づくりが出来ればと思います。地域の排他的雰囲気は何とかなければ不可能。
31	生活環境	今手房から女性会もなくなるとか、淋しいですね。町村合併があつて中々線路に乗れずと惑うばかりです。年をとつても勉強しなければと思いつつ体のほうがついていけないのが今の現状です。年寄りは年寄り並に助け合つて行くことも必要ですが、お互いいちがいになって行くような気さえします。夫婦仲よくやっていかななくてはなりません。反省仕切りです。恥ずかしい事です。周りの方たちにご迷惑をかけない様生活していきたいものだと思います。どうぞよろしくお願いします。
32	生活環境	大カーブで旧加計と安野の境界線があり、JA,局の集配も上、下と分かれており一軒隣でも配達されず、加計と安野を往復している。
33	生活環境	太田川に鮎、鱒放流をし、帰ってくる魚を見たい。黒鯉でもいい。
34	生活環境	回覧板など中々判断に困るものである。時代の流れというか、わからない言葉。ついていけない時もある。
35	生活環境	加計に行けば、街中は老人の歯のように見るも無残
36	生活環境	行政の方に色々生活上の事を相談するが一向に話が進まない件有り。
37	生活環境	近所との話し合いが現代では遠くなりつつある。
38	生活環境	高齢者(一人暮らし)向け集合住宅(冬期滞在型)の建設。事故が起きた時より早く対処が可能
39	生活環境	高齢者のパソコン教室を開いて欲しい。

NO	項目	内容
40	生活環境	自分が年をとったときに面倒見てくれるひとがない。
41	生活環境	主人と二人暮らしだがお互い耳が遠くなり、お話しすることも思うようにならない。
42	生活環境	将来子供が介護してくれるか不安。
43	生活環境	信愛荘のような集合住宅で住みたい。
44	生活環境	人口が減少し高齢化率が高くなると地域でお世話役(役員等)する人を決めるのに苦慮する。又地域活動も衰退する。
45	生活環境	住み慣れた土地で安心して今までの生活が出来ればよいが、そろそろ限界。
46	生活環境	センター跡公園に腰掛が二三箇所あるといいとおもいます。
47	生活環境	町村合併で思う事。今まで筒賀という小さい村で過ごしたせいか、大海に放り出されたような気がするということを廻りから良く聞きます。筒賀の人はもう少し意地を出さなくては駄目よ。何度か耳にした言葉です。実際はそのようなこともある様に思います。年相応に学ばなくてはならないと思います。大海の波にもまれて勉強しなくてはならないと思います。年相応に学ばなくてはならないと思
48	生活環境	定住型住宅の建設
49	生活環境	当地には良い温泉が出ています、是を生かして頂きたいと思います。三段峡に来られた老人の方の休憩場所もありません。温泉が利用できれば、お客さんも多くなるのではないのでしょうか。
50	生活環境	年取ると物忘れが多くなる。困ったことである。
51	生活環境	隣近所の連帯感の薄れがきになります。家を空けられる(やや長期)時でも知らずに、気がついてどうだろうかと、気になることがあります。
52	生活環境	隣組の復活「遠くの身内より近くの他人」と言われますが、最近「隣は何する人ぞ」になりかけている。もっとも声をかけあい、どんなことでも助け合い、相談していきたいと思う。役場の職員の方も出来る限り地域の行事に参加して欲しい。
53	生活環境	温井ダム出来てもそのダムも利用ない。ボートを出し、遊覧船を出すとか考えはないのですか。神楽があり、第二の面大蛇を形どり、火を吹く船でも考えて下さい。橋の上をうなを張り、四季おりおりの行事、ロープでおりて来るような。
54	生活環境	話し合うことが大切(イベントに決まった人の顔が見れる)
55	生活環境	一人暮らしで話し相手もおらず寂しい。
56	生活環境	病院はあっても小児科がなく急病に対応できないので、住みにくい。
57	生活環境	福祉施設の充実、集合住宅、介護施設が近くにない。
58	生活環境	毎月とは言わないけれど一人暮らしの方へもう少し気を配る、家に来なくてもいいがせめて電話くらいしてほしい。
59	生活環境	まだゴミの出し方とか解っていない人がおられ、同じ様な入れ方で残る事があります。また、ナイロンとかも焼く人がおられます。
60	生活環境	町全体が暗く活気がないように思う
61	生活環境	昔から言うと随分変わったものである。何故だろう。
62	生活環境	昔懐かしい井戸端会議、殆んどなくなったどうしてであろう。淋しい世の中である。
63	生活環境	老後が心配(養老院入居等)。子供たちは広島にはいるが、仕事や孫の学校のことを考えると帰ってこいとはいえない。
64	生活環境	若い人が少なく、子供がいない。
65	生活環境	若者が地域に残るとほとんどの悩みも解決する様な気がする。
66	生活環境	我が家も七十歳という年齢で足腰は弱くなり衰れさを感じる日々に、跡継ぎも仕事の都合で帰る事も出来ず、今後について不安を感じている。
67	その他	1人暮らしの老人が安心して暮らせる施設を多く作ってほしい。
68	その他	20年度から健診事業が廃止されると聞いたが継続してほしい。
69	その他	高齢による体調不良の人が多数で、町内の行事や催し事に参加することがほとんどないようであ
70	その他	住民が安心した自立生活できるよう、保健医療福祉の機関が住民の生活課題を共有し、地域のネットワークの構築を図ってほしい。
71	その他	障害者が高齢化しており、残されたときの不安。
72	その他	タクシーを呼んでも乗るまでが大変。
73	その他	一人暮らしの人は冬季には不安な生活を強いられている。冬季だけの住宅を借りて生活の安定を図ってはどうか。
74	その他	冬期間信愛荘に入所している人と電話連絡がとれない。常駐されていないのか?
75	その他	耳が遠く電話があるが使えない。
76	その他	都市との交流広場。グランドゴルフ場の建設。周辺に青空市場等整備する。
77	通所	(イ)住民が何日でも気楽に集える場所を作れないかと頭の中で色々構想を考えましたが、下記の理由で大変難しいと思いました。①場所:それに伴う電気水借上料、お茶代、暖房料 ②誰か一人か二人の世話役の(一人は専任)選出 ③交流センターの使用(公民館としてもらいたい)
78	通所	上記の事が解決すれば自治会女性会、子供会、長寿会で相談して運営寸法等を考える
79	通所	ショートステイ、デイサービスに対応できる施設の設置
80	通所	戸河内病院を老字福祉高齢者診療所にすることに期待している。
81	通所	一人暮らしや高齢者が多いので外出などされても気になる。近くで集まりお話などして半日でも過ごせるところがあれば嬉しく楽しいのではないかと思います。
82	通所	広島市に近いという条件を生かして自分の家から通う働き場所、また、子供の教育場所、福祉士悦の充実など

NO	項目	内容
83	通所	船来集会所が旧施設なので使用について不便を来している。地元譲渡を申し入れしているが、早急に改良事項を実施され、利用が便利になるように願いたい。
84	デーサービス	週2回のデイサービスが楽しみです。デイサービスに行けないほど体調が悪化したらどうすれば良いかわからず不安。
85	デーサービス	デイサービスを利用すると介護保険が上がると近所の人が言われるので、利用することに罪悪感を感じる。
86	独居	奥さんが入院され、食事の準備に困っておられる。
87	独居	高齢者世帯、一人暮らしがほとんどで若者が地域にいない。
88	独居	子供が定年で帰ってくるまで一人暮らしでどうなるか不安。
89	独居	寂しい一人暮らしの老人が犯罪を犯してしまう。暖かい言葉をかける人がいない。
90	独居	一人暮らしが多く、地域との関わりも少なくなってきた。
91	独居	一人暮らしで重いものの移動が困難。
92	独居	一人暮らしで体も弱り、この先の不安が大きい。
93	独居	一人暮らしで通院も買い物も不便であるし、広い院内や店内を歩くことも困難です。そういう時に補助してくれる人がほしい。
94	独居	一人暮らしで話し相手もおらず寂しい。
95	独居	一人暮らしの方は、病気で入院後退院されてもまた一人暮らしで病状が悪化し、また入院を繰り返すような状態。
96	独居	一人暮らしの人が多くなり、地域で援助はしているがなかなか大変。
97	独居	一人暮らしの人は冬季には不安な生活を強いられている。冬季だけの住宅を借りて生活の安定を図ってはどうか。
98	独居	一人暮らし老人との交流の推進が必要。
99	独居	老人1人暮らしなので、怪我や病気など何かあったとき不安。近隣には頼みにくいので、要援護者に対する日常的な支援をお願いしたい。
100	独居	若い者もない一人暮らしなので、地域の行事に出られないとき、大変気まずい思いをする。
101	独居	1人暮らしが多く、常に心配。
102	独居	1人暮らしも多いので、声かけなど地域のふれあいが広まるといい。
103	独居	1人暮らしで、近所もなく、話し相手がいない。昔のような近所付き合いがしたい。
104	独居	老人1人暮らしも増え、痴呆気味で金銭面(集金)も困難になってきた。
105	独居	若い人が少なく、独居老人世帯の割合が大で出役が困難。
106	養護施設	高齢化が進んでいるので、特老養護施設などの必要性を感じる。
107	養護施設	戸河内病院を特老養護施設にしたらどうか。
108	若者定住	若者がすみやすい環境整備が必要。
109	若者定住	若者が定住できる対応を早急にお願したい。
110	若者定住	若者の住宅支援や通勤支援を考えるべきだ。医師住宅や教職員住宅だけでは不公平だ。

安芸太田町の暮らしに関する調査
集計シート

【教育・子育て】

NO	項目	内容
1	過疎	子供が少なくなったので加計高校は続くのか不安。
2	学校	小学校の担任の発言が教師とは思えない。他にも親として疑問に思う出来事が多い。
3	学校	少子化に伴い児童数、学級数が減っているの、一日も早い学校の適正配置を望みます。新校舎は建てず、今ある学校を利用すればいい。
4	学校	学校の統合を早くすべき。
5	学校	子供がうち1件にしかいない。子供が減ると保育所や小学校が統合されるので心配。
6	学校	除雪されてない道をお子だけで通学させるのが心配。また熊の出没も心配。
7	学校	加計保育所の駐車場が狭く、子育て支援センターに来られるお母さんたちも困っている。
8	学校	学校にしる保育所にしろ同年齢の多くの子供と教育を受けないと子供にとってマイナスではないかと心配。
9	学校	子供数の減少で幼稚園、小学校が閉校となり、少人数の子供たちが人数の多い学校で学べるのがプラスになることを願うが、心配も多い。
10	学校	今春から小学校も幼稚園もなくなり寂しい。
11	学校	スクールバスが運行できれば、学校は統合したほうが良いと思う。
12	学校	保・幼・小・中学校の統廃合は進めたほうがいい。
13	学校	地域から学校や保育所がなくなると元気がなくなる。残すことを第一に考えてほしい。
14	学校	若い人達の生活基盤となる働く場所がなく、通勤するには時間的に無理ということもあり、仕方なく町外へ出て行かなくてはならず、その上学校が廃校になるなど、悪条件が重なり、高齢者とかも一人暮らし又空家となる家が増えつつある。まさに過疎少子化高齢化の典型的な集落が私たちの住んでいるところです。
15	学校	子供の数も少なくても保育所・小学校をぜったいに残してほしい。やはりその地域にあった方がいいと思う。
16	学校	学校、保育所の適正配置について、趣旨は理解できますが著しく不公平を感じます。
17	学校	小学校の存続。教育の重要性、小学児童で遠距離の通学負担
18	学校	寺領小学校が戸小へ統合となり、地域の活気が低下するのは必死です。小学校がなくなると、高い確率で廃集落になるといわれていました。そうならないためにどうすればいいか？寺領の者もちろん考えていきますが、行政としても今一度考えてほしい。
19	学校	保育所問題についても、殿保の子はとごうち保育園へ、小学校になったら加計小学校へという矛盾はどう整理したらいいのか？上殿小を利用してはどうか？
20	学校	中学校を町内で一つにするということ。それも3年後？松原小と寺領小の子は小学校時と中学校時に自分の母校が廃校ということを経験してしまうがどうか？
21	学校	学校給食について加計中のとなりに給食場があるにもかかわらず温かいはずのおかずが冷たいようで、子供は「今日はおでんだったのにすっごい冷たかった」と残念がっていた。食育、食育と言われている世論とはかけ離れているように思う。給食にはとてもありがたさを感じている。子供の食についてお金をけずるようなことはないようお願いしたい。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく昼食時間に合わせて工夫して戴きたい。
22	学校	保育所、保育料が高くて高くて困っています。
23	学校	学校・教育問題は発展のネックです。教職員の熱い思いや行政の形。許せない思いです。
24	学校	学校がなくなるから子供の姿、声が聞こえないのでとても寂しい
25	教育	子供が宿題、塾、クラブ活動に追われ、戸外で遊ばなくなったし、地域行事にもあまり参加しない。これでいいのか。
26	教育	塾がない。
27	教育	子供が大学に進学する場合、町内に教育機関がないので町外にでるしかない。
28	教育	教育費の家計に占める割合が非常に高くなった。
29	教育	広島市に近いという条件を生かして自分の家から通う働き場所、また、子供の教育場所、福祉士悦の充実など
30	教育	子供たちが減少→地域に小学校や保育所があっても、人員不足から統合・廃校の対象となる。子供たちが小さなうちは近いところに通わせてやりたい、との思いや願いは叶えられない？
31	教育	戸河内保育園のように保育園で作ってもらえる給食にしてほしい。おやつも手作りを目指して欲しい。小中学校と同じメニュー内容には、幼児は無理ではないか
32	その他	子供を安心して遊ばせられるところがない。
33	住宅	少子化対策として住居の確保が必要。
34	生活環境	子供が育てやすい環境がないと若い人たちは皆出て行くと思う。
35	通学	津浪地区の中学生は路線バス、巡回バスでは学校に間に合わないで保護者が送迎していて負担が大きい。それが一因で一家で転出された事例もある。税金で運行しているガラガラのスクールバスに津浪の子供が乗れないのは不合理ではないでしょうか？
36	通学	新しい保育所ができるのに、通学バスが出ると聞いているが、具体的な話はいつしてもらえるのか。説明なしで子供を乗せられない。
37	通学	中学生が通学するのに利用しやすいバスの時間がない。上殿からは始発でも始業に間に合わない
38	通学	安野方面からの通学バスを津浪経由にしてほしい。
39	通学	学校に通う子供たちもバスに間に合わないときなど父兄や先生が送っている。

NO	項目	内容
40	通学	筒賀中学校では、部活終了後のバスがないため、教職員が家まで送っている。なんとかならない
41	通学	筒賀保育所のスクールバスを維持してほしい。
42	通学	中学生のバス通学の場合、バス代を全額支給してほしい。
43	通学	高速道路を利用して通学している高校生は交通費がかかるので、援助してほしい。
44	通学	孫の学校への送迎をしているが、高齢なのでこの先が心配。
45	通学	現在吉ヶ瀬からの生徒数は、中学生2人、小学生1人には、通学定期がしきゅうされているようだが、現在は一人の祖父が出勤する車に便乗し、帰りは母親が2人を迎えに行くようだ。これまで耳にした話では、修道地区からのスクールバスには、空席はあっても便乗できないと聞くが、なぜな
46	通学	自転車通学…国道191号は交通量も多く歩道もない箇所がほとんどで危険。西調子の上原の県道、街灯もなく冬場も悪天候の時は危険又ガードレールもなく草刈りも年に一回(夏場のみ)のようなので車道も狭く誤って太田川へ転落の危険がある。
47	通学	自転車通学…国道191号は交通量も多く歩道もない箇所がほとんどで危険。西調子の上原の県道、街灯もなく冬場も悪天候の時は危険又ガードレールもなく草刈りも年に一回(夏場のみ)のようなので車道も狭く誤って太田川へ転落の危険がある。
48	通学	バス通学 … 6km未満という事で、バス通学の補助はなし。片道250円往復500円はとても経済的に負担に感じる。また学校のクラブの朝練や下校時間とはかみあっておらず大変不便。別の地区の子供は玄関前までスクールバスやあなたくでの迎えがあるのに公平性に欠ける。学校では冬場17時までに学校の敷地から出ないとクラブ停止と言われて居場所がないと嘆いている。バスに乗り遅れた時等近くには公衆電話もなくどうしていいかと不安になる。
49	習い事	子供に習い事をさせたいが、交通手段がバスしかなく、学校終了時刻に合うバスがないので困って
50	習い事	いろいろ習わせたいが遠いので無理。
51	乳児医療費	乳児医療費がかかり不便。
52	保育所	殿賀保育所のへき地を除けば入る子供もいるのでは？
53	保育所	保育所の送り迎えが車なので、交通費やスクールバスを出してほしい。
54	その他	子供を安心して遊ばせられるところがない。
55	その他	
56	その他	子育てしない親が多く、行政や周りの人に依存する。講演会などしても、本当に聞いてほしい人は出席しない。
57	その他	子育てするお母さんたちに利用しやすいタウン紙があればいい。
58	その他	少子化なのに高齢者のことばかり考えていても若い人は地元を離れていくばかりで、今後の地域発展が心配

安芸太田町の暮らしに関する調査
集計シート

【日常生活】

NO	項目	内容
1	ETC	ETCが夜中に開いていないと急病などの時不便。
2	ETC	加計ETCができて便利になった。半額時間をもっと増えるといい。
3	ETC	加計ICの利用時間が6時～23時までなので、朝早い通勤や旅行、残業のとき使えなくて困る。
4	ETC	加計インターのETCが24時間使えるように。
5	ETC	津浪ETCが可部方面しか利用できないのが残念。上下線利用できるようにしてほしい。
6	ETC	津浪のETC専用高速を23時以降も利用できるようにしてほしい。
7	JA	農協がなくなると困る。
8	JR	JRが廃止され寂しくなった。
9	空き家	1人暮らしの方が他界された後、家を解体するのに費用がかかる。古家を売却したくても安いし買い手もない。空き家利用も大改修が必要で、入居者も限られる。
10	空き家	空き家が多くなり、田畑も荒れ、草も多く、猿や猪が出て困る。空き家対策事業をもっと積極的にやってほしい。
11	空き家	空き家の維持管理。
12	空き家	空き家の情報提供の方法を新聞に物件を掲載する等検討してほしい。
13	空き家	加計に空き家が多いので、サークル活動等に利用できないか？
14	あなた	80歳以上の身障者があなたに乘車する場合、運転手に迷惑がかかる。町立病院への通院車を日時を特定して地域ごとに運行してほしい。
15	あなた	あなた運行で戸河内から寺領方面へ行く便の4時頃がないので不便を感じます。6時台にするには遅いため。
16	あなた	あなた運行について、澄合で、広電バスの上り下りに接続する時間帯をつくってもらいたい。
17	あなた	あなたで戸河内病院に行くと、予約ができないので診察を受ける時間が足りず困る。
18	あなた	あなたの運休の日があり不便。
19	あなた	あなたの運行区域、運行時間が利用しにくい。
20	あなた	あなたの運行地域にしてほしい。
21	あなた	あなたのおかげで通院や買い物ができるので、今後も続けてほしい。
22	あなた	あなたのステップが高いので乗り降りがしにくい。
23	あなた	あなたの町道乗り入れができないか？国道のバス停まで遠く、高齢者には大変。
24	あなた	あなたの便数が少ない。
25	あなた	あなたの利用がスムーズにできない。高齢者にとって不便。
26	あなた	あなたのルートの再検討をしてほしい。
27	あなた	あなたは運行路線内で自由に乗降できないので不便。
28	あなた	あなたは非常に便利。しかし安価な為なくなってしまわないか心配。冬季降雪時には運休してほしい。
29	あなた	あなたは病院までなので、加計まで買い物に利用することができない。週に何回かの買い物バスツアーなど見直してほしい。
30	あなた	あなたは予約しないと乗れないので不便。
31	あなた	運転ができない人のためにあなた運行の利用、利便の向上を。
32	あなた	町立病院でバスがいて乗せてください！と言ったが予約の人だけだった。
33	あなた	入院施設のある町立病院まで、あなたの運行区間の延長を希望。
34	あなた	病院に行くにもあなたが使えるようにしてほしい。
35	荒地	耕作放棄で災害が起きる。
36	荒地	高齢になり、田畑の耕作ができなくなって土地が荒れる。
37	荒地	野菜を作るより買った方が安い、畑を荒らすと草が生えるので困る。
38	移送支援	移送支援事業をデマンドバスに乗降できないなどの軽度の障害をお持ちの方も利用できるように、対象を拡大されてはいかがでしょうか。
39	移送支援	専門科の受診や検査など、戸河内病院と加計病院間の患者輸送等にも利用してほしい。
40	犬猫	近所の人のお飼犬をひもなしで放したりみんな困っている。
41	犬猫	散歩中の犬の大便が散らばっているので困っている。
42	犬猫	野良猫が多く迷惑している。
43	犬猫	野良猫が多く迷惑している。
44	外灯	外灯が少ない。
45	外灯	加計BSの周辺が夜間暗いので、照明を考えてほしい。
46	外灯	川森文化交流センターへの国道側が暗い。
47	外灯	辻の河原～見入りが崎までの加計バイパスに外灯がないので危ない。
48	買い物	JAの統廃合により、唯一食料品を買い求める店がなくなると困る。金融機関にしても郵便局しかなくなってしまう。
49	買い物	JA広島簡賀支所が3月で閉店すると聞き、1人暮らしの人は不安を抱えている。
50	買い物	あなたは加計病院までなので買物に不便である。
51	買い物	上殿に住んでいたときはサンリブ等可部の広告が入っていて便利だったが、土居は入っていないので不便。
52	買い物	ウォンツのような大きな薬局があってほしい。
53	買い物	運転できないので、買い物などが不便。
54	買い物	運転できなくなったときに買い物等はどうすればよいか不安。
55	買い物	お店が少なくて、お年寄りの買い物が不便。

NO	項目	内容
56	買い物	車のある人は、加計フレスター、可部方面スーパーが主のようで、車の無い人、不足したものが有るなどの場合、坪野にある商店で買物が出来る。行けない時には電話連絡で配達してもらえるようだ。また生協を利用する人もある。
57	買い物	車を使わないと買い物ができない。
58	買い物	高齢者に買い物は負担になる。なにかサポートをしてほしい。
59	買い物	ここで10年後の安芸太田町をみてみよう。加計商店街の唯芸北荘のようになるのではないかと。太田部青年団の活用の処分をといて多く利用していたこの運局。今の町職員には知っているものはいないであろう。
60	買い物	さんさんネット等の情報はもらうが利用してみる勇気がない。
61	買い物	さんさんネットのの利用方法をもっと知らせて利用してもらえば。
62	買い物	自家用車でなければ地元では買物ができない。商品の数、鮮度を考えるとどうしても可部・緑井方面まで出かけた。週一回買物バスとかあると喜ばれると思います。
63	買い物	寝具、洋服など高価なものを町内で買わず、広島市内や千代田で買うので町外へ金を落とし悪循環となっている。
64	買い物	近くに店がないので買い物が不便。
65	買い物	駐車場 → 旧駅前警察前の駐車場が有料になったため、気軽に車が置けなくなった。(買物、来客など)
66	買い物	町内のガソリンスタンドでは価格表示をしていないので困る。
67	買い物	次に商工業の発展のために何をやるかということだ。町民は出来るだけ近くで買物をしたいと望んでいる。スーパーが価格と品物を揃えられないのか。専門店化してもよいのでは。買物に行く希望が届かない。読点では売れないので取ってない。では買いにいくものがいなくなる。商工会簡賀地区の食料品店の存続。車に乗れなくなったときに、移動販売車の範囲拡大、生協利用、あなたくの運行の拡大などの対応を検討して欲しい。
68	買い物	冬季だけでも高齢者世帯の買い物を援助するようなサービスがあるといい。
69	買い物	当地区は一人暮らしの老人(特に女性)が多い。農協支所の停止により日常的な食料、日用品の調達に大変苦労している。農協をお願いして再開の要請はできないものか。
70	買い物	戸河内、加計まで片道10キロあるので大変。
71	買い物	戸河内インターの近くの広場に年中無休のスーパーがあれば良い。農協があるが、休みが多すぎる。仕方なく生協を利用しているが、冷凍食品が多くて困る。
72	買い物	年を取りバスに乗るのも大変で、買物に行くにも薬を貰いに行くにも。夜に具合が悪くなった時、土曜日、日曜日には加計フレスタ又は加計方面に買い物にでる。
73	買い物	日、祝日に多くの店が閉まっていて困る。スポーツ店、本屋などいろいろな店が増えてほしい。
74	買い物	農協が遠くなり、農薬、肥料等不足したとき不便。以前は持ってきてもらったが今は頼みにくい。
75	買い物	バスの回数が少ないので、待ち時間が長く天気の良い日は具合が悪くなる。
76	買い物	病院、買物などのために小型の車でも回数多くして欲しい。
77	買い物	フレスタは独占企業なので、価格が高い。町内で新鮮でお買い得なお店があればうれしい。
78	買い物	ボランティアで買い物などをしているが、頼む人はすごく気を使っている
79	過疎	空き家が目立ち、町の荒廃が目立つ。
80	過疎	お年寄りが多く、集落で話する若者がいない。
81	過疎	過疎化により、3部落が統合し事業を行うようになる。
82	過疎	過疎地域の生活には限界を感じている。
83	過疎	学校が休校となり、再開されないのでは若い人が住めない。
84	過疎	休耕田や空き家が多く部落が衰退していく。
85	過疎	近所に家がなくなり日々の生活が不安。
86	過疎	結婚適齢期の人がいってもなかなか結婚しないので人口が減る。
87	過疎	集落行事の開催が困難になってくる。
88	過疎	人口が減少して将来が不安。
89	過疎	地域に子供がいない。
90	過疎	地域に人がいない。戸数の減少、一人暮らしの増加。
91	過疎	那須地区は70歳以上が15名、70歳以下が2名で、10年もしたらナスは3.4人になってしまう。
92	過疎	何をしても人手が少ないので負担が大きい。
93	過疎	人をあまり見かけない。
94	過疎	役場職員の方々、特に若い新婚さんが町内に住んでほしい。助成をするなりして住んでもらいた
95	過疎	若い者がいないのは働く場所がないからだ。
96	過疎	若者が少なく、4、50代が最も若い層。このままでは集落機能が崩壊する。
97	環境	江河内川(殿賀小学校裏～加計病院前)の改修。子供たちの学習の場や、病院患者の憩いの場、環境の良い河川にしてほしい。
98	環境	大田川の清流の変化で昔いた魚が激減している。道路にまく塩化カルシウムをやめられない
99	環境	西調子地内、大田川河川内の竹やぶをなんとかしてほしい。
100	行事	川森文化センター等での町の行事に地域住民が参加しやすいように、旧町村単位で行うよう出前サービスはできないのか?
101	共同作業	高齢化のため用水路の清掃が困難になった。
102	共同作業	人口の減少と高齢化により地域の共同作業が困難。

NO	項目	内容
105	共同作業	神社や道路の草刈などの共同作業時は草刈機を使う人が少ないのでいつも同じ人にお世話になるので申し訳ない。
106	共同作業	地域総出の環境整備の体力的負担、金銭的負担が大きく耐えられない。
107	共同作業	用水路の掃除が高齢者には負担。
108	金融機関	ATMを増やしてほしい。(もみじ銀行、JAなど)
109	金融機関	JA殿賀支店が廃止され、困る。加計病院内に税務職員が出向いて対応はできないか？
110	金融機関	金融機関が遠い。
111	金融機関	農協店舗も廃止され、年金受取を郵便局にしたが、郵便局が廃止にならないことを願う。
112	金融機関	農協もなくなる(旧戸河内本郷筒賀)
113	草刈り	JR法面の草刈りが高齢になると無理。
114	草刈り	家の周りの荒地の草刈りが高齢者には大変。
115	草刈り	運動場や集会所などの維持管理(草刈、掃除)の負担が大きい。
116	草刈り	川のよしはすごく茂っているが、水害で流れるのを待つのか？
117	草刈り	旧JRの土地の草刈りをちゃんとしてほしい。毛虫がつつあってきて、子供もいるので困る。
118	草刈り	行事、草刈り、清掃等の維持が難しい。
119	草刈り	殿賀バイパスの法面の草刈りが老人には難しいので管理を考えていただきたい。
120	草刈り	法面の草刈りが高齢者には大変負担。
121	耕作放棄	耕作放棄地が多く、管理が困難。
122	交通	JRが廃線になったので、バスで可部に出ると時間通りに着なくて困る。
123	交通	JR可部線が廃止になったので、広島市の方面に出るのに大変便利が悪い。
124	交通	朝、加計に行く便が少ない。
125	交通	あなたく、代替バスについて。日曜日・祝日・年末年始にはあなたく代替バスは運休。それにタクシーも運休と、上記の日は交通機関は皆無です。その上平日もタクシーは8時から18時までしか動いてくださいません。広電の広島→三段峡線は動くのに澄合まで出ることが出来ず困ります。どうしても出なければならぬ場合は、飯室のはとタクシーを利用するしか方法はありません。又、病院、買物なども加計方面より時間的にもあまり変わらず便利で(はとタクシーの利用も含めて)飯室、可部方面へ行くことが多いのが実状です。
126	交通	いこいの村広島、グリーンバス筒賀などの入場券を買っているが、入湯したいと思っても交通の便が悪くどうにもならず、端っこから端っこの交通の不便さに考えさせられます。
127	交通	以前はへき地医療のための巡回バスを利用していましたが、便が減少し、あなたくも利用できない地域のため通院や買い物不便。
128	交通	医療バス・スクールバス・一般利用者がともに乗れるバスの運行の仕方はないでしょうか。区別するのではなく、町として考えてほしい。行政の中でも私が感じるのは各々の部署で企画され各々がやっていて横のつながりが希少で、参加する人間は同じような人ばかりのように感じます。無駄のないように経費と時間を使ってほしいと思います。
129	交通	生まれ育った所に愛着があったので寺領に居住して町外へ通勤する生活をしました。遠い所は竹原から大竹まであり、交通費がかさみ、表面的には所得がある様にみえますが、給料は少なくとも地元で働けるところがあると良いと思います。通勤コストは年間100万円くらいかかります。働く場所を作ること。できないのなら税務面での対策を考えていただきたい。
130	交通	運転できないので不便。
131	交通	運転できなくなったときにどうすればよいか不安。
132	交通	加計・広島方面共に公共機関の便数が少ない。
133	交通	加計のショッピングセンターから出るバスで、戸河内方面に送っての帰り、回送で帰るバスに加計方面に用事で出かける人に利用できないか。
134	交通	加計高速バス停から広島市内へ行く場合、連絡バスが少ない。
135	交通	加計市中から加計BSへの連絡便が少ない。
136	交通	加計バスを利用すれば短時間で市内に出られるようになりましたが、免許のない人が利用したくても当地域方面からアクセスがない。災害時(119号不通)や通院(眼科、産科、小児科、皮膚科等)のために高速バスが利用したい。できることなら加計スマートインターの下りも利用したい。
137	交通	加計病院バス停は、囲いがなく、待つのに寒しいし、雨や雪がかかり大変困る。
138	交通	加計病院への直行便がほしい。可部や市内中心部への便が少ない。
139	交通	加計病院を利用する高齢者や障害者の人に、自動車の乗り換えは大変困る。
140	交通	過疎バス、デマンドの見直しを早急にして、取り組みの無駄遣いをしないでほしい。
141	交通	合併してからというもの、何かの研修に行こうとしても、加計・筒賀では車に乗れない者はあきらめざるを得ない。
142	交通	川森文化交流センターでの岳集会とか色々な行事、イベントが車に載れないのでバスを利用する様です。少々遠いので便利悪く思います勝手かも知れませんが仕事の忙しい人にとって参加が難しいと思います。
143	交通	川森文化交流センターに行きたいのに何があっても中々交通の便が悪くて行くことが出来ない。
144	交通	休日や祝日も交通の便を確保したい。
145	交通	高速道へのバスの便が少なくて不便。
146	交通	交通、医療関係にはその考え方や現実に失望する。
147	交通	交通の便が悪く不便。

NO	項目	内容
148	交通	公的デマンドバスを、私的デマンドタクシーにウェイトを大きくして、もう少し利用者が受益者負担をしてでも利用しやすく効率の高い用途に応じた車種で対応できないか。
149	交通	高齢者にとって一番切実なのは交通手段と思う。「あなたく」はあるが、もっとバリアフリー化してほしい。可能な限り自宅の近くで手をあげれば乗れて目的地まで運んでくれるようになればと思
150	交通	高齢者の交通手段に限られ、バス停も少なくなって不便。
151	交通	高齢者の免許取り上げをふせぐため講習会等できないか？
152	交通	国道が離れているので、バスを利用する人は大変そう。
153	交通	国道まで歩くのは困難なので、町道に通ってほしい。通院も買い物も困難。タクシーの乗れば、フレスタまで片道2500円もかかるので年金生活者にはつらい。
154	交通	午後遅い時間にはタクシーも乗れない。
155	交通	市内に行こうと主ってもバスの便が少ない(高速)
156	交通	市内への移動バスの連絡(日曜日)。
157	交通	シニア教室に行きたいと思いますが、加計病院での勉強ですのでバスの便が悪く残念です。
158	交通	自分で運転できないので、今の電鉄バス運行を何時までも続けて頂きたい。
159	交通	生活全般に不便を感じているのが実状です。特に交通の便。学生(高校生)がいますが、通学ひとつとつとつても、親の送り迎えが必要で。田舎にすることでデメリットがありすぎてもっと便利なところへ引っ越した方がいいのではないかと今まで考えもしなかったことを考えるようになりました。もっと便利な交通体系(今のバス路線+戸河内IC~寺領へ直通でこれのような融通の利く路線・タクシー(学生割引や高齢者割引)を考えて欲しい
160	交通	代替バス運行区域の早期見直し
161	交通	代替バス運行 → 小中学校廃校による通学バス運行が到来すると思います。その際に児童・生徒が住民と同乗して運行できるようにして欲しい。
162	交通	タクシーで買い物、通院しているのでお金がかかる。
163	交通	田ノ原～丁川間の道路には歩道がなく、途中資材置き場等があり大型ダンプの出入りが多いので大変恐ろしい。
164	交通	田ノ原～丁川間はウォーキングをしている人も何人かいるのでぜひ歩道をつけてほしい。
165	交通	近く実現が見込まれている筒賀パーキングでの交通定期バスの利用に関し、バス停まであなたくで行けるようにしてほしい。
166	交通	町から配られる時刻表が上殿を通るのか、高下を回られるのかわかりにくいのでわかりやすく入れてほしい。浜田から来る石見交通のバスと企画バスが川森文化交流センターにでも停まればいいと思う。ぜひバス停がほしい。
167	交通	町内を走るバスをもっと小型化して回数を増やして欲しい。
168	交通	通院買い物等の交通機関。
169	交通	都会に住むより高速代金がかかる。
170	交通	ヌルヲ経由のバスを冬期運休せず年中運行してほしい。
171	交通	バス停が遠く高齢者には負担が大きい。
172	交通	バス停で立って待つのがつらく、特に冬場は寒くてつらい。
173	交通	バスの回送(空車)はしないで乗せてほしい。
174	交通	バスのステップが高くて乗り降りが大変。
175	交通	広島行き的高速バスを増やしてほしい。(1時間に1本)
176	交通	広島からの高速バスの最終便を21時発くらいにしてほしい。
177	交通	夜間・早朝の交通手段がない。
178	交通	郵便局へ行きたくても便がない
179	交通	よく加計の川・森・文化交流センターで行事があるが、吉本の所から歩く様なので不便で行きたくてもいけない。
180	交通	夜 戸河内の役場近隣で色々な催し物がある時、夏祭りなどの時は車が出ますが、健康セミナー、趣味のあれこれは参加したくてもついあきらめてしまいます。住んでいる所が悪いと言われればそれまでですが、実費など、それ相応の負担は当然承知しています。
181	交通	私たちの毎月第二木曜日交流センターで趣味の教室をしています。広島から先生を招いて頑張っていますが教材が重く、本町方面からも交流センターまで歩くのが大変な状況です。運転できない人、年配の方が多く、会を辞める方があり、とても残念です。平日週二日くらいでも交流センター廻りのあなたくのようなタクシーがあればよいと切に願っています。もっと交流センターを利用しやすいようには出来ないでしょうか？
182	高齢化	高齢化が目立つ。(若者がいない)
183	高齢化	高齢化で助け合いが何より大切に思う。
184	高齢化	子供に帰ってこいと言いにくいので、将来介護が必要になった場合不安である。
185	高齢化	消防団の人員がいないので不安だ。
186	高齢化	独居老人が多い
187	高齢化	老人ばかりで空き家、荒地が多い。
188	高齢化	若い世代は、年寄りを一人田舎に残して楽をしている。
189	高齢化	若い者が我儘になり出て行ってしまい、高齢化が進むがとめる方法が見つからない。
190	ゴミ収集	ゴミの分別が複雑。特にびんのビニール口が取れない。
191	ゴミ収集	ごみの分別が複雑すぎて、高齢者には困難。
192	ゴミ収集	ダンボール、粗大ゴミなどお年寄りには捨てるのが大変。

NO	項目	内容
193	ゴミ収集	品目の設定がかさばるもの、重いものが重なる。大量に出るときに休みになる。
194	娯楽	映画館など娯楽施設がないので、広島市内に出かけなければならない。
195	娯楽	ミニコンサート、観劇等の文化に触れる場がない。
196	娯楽	皆が集える娯楽の場がない。
197	災害	安心して避難できる雨風のしのげる施設が地域にない。
198	災害	緊急時の避難場所にもなっているのに、殿賀ふれあいプラザ裏側の急斜面法面保護対策のお願い
199	災害	降雪時、雪のために木が倒れ道をふさぎ困る。
200	災害	災害が多くなって各地に砂防などが出来ているが、その後の倒木などですでに満杯状態のところもあるとききます。作るのも大変な事業ですが、砂を取り除くなど維持することについてはどうなの
201	災害	災害に備えて、昌原(小僧津川)、上田野原川、下田野原川、五反田(火ノ口谷川)の河川整備を早急に実施していただきたい
202	災害	災害発生時の避難場所が遠く不安。
203	災害	山林の荒廃により、明日にでも倒木しそうな箇所がある。
204	災害	山林の手入れがなされていないので地すべりが起こる。
205	災害	自宅の横の水路が大雨大雪のたびに水かさが増え不安に感じている。
206	災害	者が高齢多く災害時に非難する場所がない。
207	災害	集落の裏に林道があるが、大雨が降ったとき全て集落の谷に水が流れ危険である。
208	災害	台風とか大雨とか梅雨末期頃になると、太田川の大水とか土石流とか。早めに非難しますが、はたして避難場所は適していますか？
209	災害	縦貫道の法面が崩れ道路や田畑に流れこんで大変なことがあった。
210	災害	冬季は大雪で木が折れて通れなくなり、引き返そうと思ってもまた木が折れてどちらにも行けなくなった。
211	災害	風水害で道が崩れて通れなくなる。
212	災害	林道水谷横山線の土砂災害の不安。
213	災害	空き家の管理が不十分で台風のと看などトタン板が飛散するなど近隣が迷惑している。
214	災害	危険地形が多い。
215	災害	急傾斜地防災対策工事が不十分で不安。
216	災害	災害時が不安。日頃から危険箇所の定期点検・調査、早めの災害対策を実施してほしい。
217	災害	災害時に自力で避難できるか？
218	災害	災害時の避難所の周知の徹底をお願いしたい。
219	災害	災害時の避難場所が安全でない。
220	災害	災害時や緊急時の避難、連絡方法がない。
221	災害	防火の心配。
222	山林	山林の管理がされていないので太陽の日差しをさえぎる。
223	山林	山林の管理道がないので山林が荒れる。
224	山林	山林の保水力がなく飲み水がなくなる。
225	事故	家の近くまで車が出てくるので危険。
226	住宅	町営住宅の家賃を安くして、若い人たちが住みやすくしてほしい。
227	上下水道	上水の確保が困難。地元上水道の維持管理ができなくなる。
228	上下水道	下水道事業の遅れ。高齢化と財政難という家庭的事情も踏まえ、改善への万策を検討してほしい
229	上下水道	下水道については、排水路がないため、町道、里道などの側溝または、排水路の整備を早急にしてもらいたい。
230	上下水道	下水道の未接続住宅が多い。
231	上下水道	現在集落の集会所上水道取水栓は、休止制度の廃止に伴い、メーターが動いていない場合でも上下水道料金 ¥5600円が徴収される。生活実態が無い、漏水等の異常が発見出来ない、水道施設維持管理に支障がある、取水中止の場合計量器は撤去する。使用再開の場合は10日くらい前に連絡のこと(土日祝日は対応出来ない)これでは葬儀で使用する、日常の掃除等の場合支障がある。現在水持参し掃除、トイレは家に帰り対処しているが、常時間では ¥5600円の支出は苦しい。休止制度の復活を要望する。
232	上下水道	公共下水道の加入を迫られているが、1人暮らしで子供も帰ってこないのではなかなか加入できない
233	上下水道	個人の合併処理費用については、集落排水との格差をなくしてほしい。
234	上下水道	上水道がない地域がある、早く上水道を設置してもらいたい。僻地では共同で給水施設を設置する事が出来ない。各戸で対応せざるを得ない。条例または規則など改正して補助率を挙げて欲しい
235	上下水道	上水道のない集落、個人の実態を調査して対策を。
236	上下水道	トイレの汲み取りをされず、いでに流された事があります。何時からそうだったのが下流で井戸水生活は安全だったのか不安です。部落長とか伝えましたが難しい話です。
237	上下水道	唯一つ良いことは下水道が整備されたことだ。これだと孫も呼べば帰ってくれる(田舎の便所は怖く思っていたために)筒賀、戸河内もこれだけは特に首長に先見のめいがあった。二人とも故人になられたが、政治というものはこれでなくてはならない。
238	消防・防災	浄化槽の維持費が高くなります。
239	除雪	空き家が多く、商店街であっても駐車場など除雪がしてないので、歩きにくいし、段差があり車で通りにくい。
240	除雪	家が部落道に面しているため除雪してもらえない。
241	除雪	家までの除雪が十分できていないので、緊急のときに心配。

NO	項目	内容
242	除雪	大雪時の除雪ができない。
243	除雪	大雪の後の商店街の道路は、雪がたくさんあって通りにくい。
244	除雪	幹線道路の除雪はしてもらえず、そこへ出るまでの生活道の除雪が大きな負担。
245	除雪	降雪時に町道も県道のように迅速に除雪して欲しい。
246	除雪	降雪時の除雪を歩道も同様にしてほしい。
247	除雪	三段峡入り口は奥まで県道です。県道一杯は除雪をしてください。最近ではバスの回る所を町で作ってもらったお陰で、今では奥までは除雪してもらえない。
248	除雪	商店街の道路の大雪時の除雪。
249	除雪	除雪が遅い。
250	除雪	除雪車は歩行者と車がすれ違えるよう道幅全部除雪してほしい。
251	除雪	除雪の後、町道などの出入りに雪の山ができ、国道に出るのが難しくなる。
252	除雪	除雪の後に家の前に雪の塊ができるので大変困る。
253	除雪	積雪した時に除雪車が出ますが、いつも夕方にかけてです。遅い時間になると100m先くらいで止めて帰られます。翌朝仕事に出るのに困難な時があります。大変とは思いますが県道だけは除雪をして欲しいです。高齢者の方は家から道路までの道開け大変でこまるとの事。
254	除雪	千本地区は雪が多いが除雪車が入るのはいつも午後で時には夕方になる。
255	除雪	町道、町道以下の道も除雪してほしい。
256	除雪	町道ではないが、下堀協念寺線、下堀栗貞線の除雪をお願いしたい。
257	除雪	冬季の除雪にばらつきがあって車の運転に支障がある。
258	除雪	中祖橋の歩道、滝山橋の歩道から、川森文化交流センターまでの歩道を除雪してほしい。
259	除雪	冬場の除雪 → 子供は会社勤務で土日しか休めないのので有料の除雪業者に依頼している
260	除雪	役場に言っても結局地元の人がやっている。
261	除雪	屋根から落ちた雪が玄関を遮り、配食サービスに使用をきたしていた。
262	水質	川を巡回するなど、環境保持の推進をしてほしい。
263	水質	汲み取りも検査もない、昔ながらの水洗便所があり、太田川の水質汚染が心配。
264	生活環境	グランドゴルフを介して、コミュニケーションを図ることにより老化防止に努めている
265	生活環境	集会所がない。
266	生活環境	町に活気がなくなった。
267	地域	一日中話をすることがない。寂しい。
268	地域	行事をするにも若い人が少なく地域の活性化が難しい。
269	地域	近所の空家などを利用して、遠くへは行けない高齢者が集まって遊んだり話したりする場があればストレス解消になると思う。
270	地域	近隣部落の助け合いが大切。
271	地域	高齢化に伴い、出役同行の務めができにくい。
272	地域	高齢者世帯が多くなり、地域内の各種役員、世話人当の人選が不可能。
273	地域	高齢独居者が多く、地域の活動(葬儀、月番など)に支障をきたしている。
274	地域	個人主義の傾向が強く、連帯感に乏しくまとまりがない。
275	地域	財政面で費用を出せない家が多い。
276	地域	寒い時期は一日中家にいることが多く、地域の皆さんとふれあいを深めたい。
277	地域	集落の諸行事の実施が難しくなってきた。
278	地域	集落費等を値上げされるので、年金生活ができない。
279	地域	常会や集落の行事に出席しない家が多い。
280	地域	世帯数が減ったので、祭りなどの行事、奉仕活動などが大変。
281	地域	葬儀時、人手不足で費用が多く必要となります。
282	地域	葬儀時の手伝いなその古くからの習慣は簡素化していく方がよい。
283	地域	葬儀等の役割分担、奉仕活動の分担(自治会としての分欠金徴収等の扱いなど)が困難。
284	地域	葬儀当番が早く回ってくるし、出ても力仕事はできない。
285	地域	地域代表の独善・独断強圧的な運営に対して役員が無力で住民の声が反映されない。
286	地域	地域での出役、同行のつとめが困難。
287	地域	地域内の寺の住職さんが亡くなれば空き寺になり、会合や葬儀の時困る。
288	地域	地域に60代で元気な人がいないため、地域の代表に働いている人がならされ、動きにくく困る。
289	地域	地域の行事(清掃活動、葬儀)等が困難。
290	地域	地域の行事は地区親和会、老人会、中山間地域制度の会の3通りで、田畑を持たない転入者等は集落協定に田畑がなくても加入できる方法はないか？
291	地域	地域のコミュニケーション、特に子供、若者との付き合いがなくなるのが不安。伝統・地域文化がなくなる。
292	地域	地域の清掃作業(道路、河川等)が困難。
293	地域	地域の封建的差別的な土地柄のため、子供を呼び戻したくない人が多い。
294	地域	町・地元各種役の推薦・任命を意欲的に独占しようとして中傷するので、個人の意欲・才能が生かせない。
295	地域	町内行事が中央に集中している。
296	地域	転勤者が多く近所付き合いが難しい。
297	地域	同行への協力が一家から二人出せない家もあり、同行の崩壊が予想される。

NO	項目	内容
298	地域	時々動ける人が近所の1人暮らしの人の安否確認をしているが、あまり動けない1人住まいなのに、安心電話の設置を拒む人がおり、困っている。
299	地域	何かあったとき近所へうまく応援を頼めるか？
300	地域	年々地域が少子高齢化となっていくので、10年後の地域を考えるとお先真っ暗。
301	地域	部落によっては葬儀が出来ず、他部落から応援に行っている。
302	地域	部落費が高い。
303	地域	文書等配布しても読んでいない、または理解できていない。
304	地域	宮、神社、防火用水、集会所、お堂等の管理維持が負担になりつつある。
305	地域	昔のように隣近所助け合いが当たり前であった時代になればと願っている。
306	地域	村八分になるので本音が言えず本当の思いが届かないので不便。
307	地域	役をやっていたが会議は本庁であり、車の運転が不安なので役もおりなければならなくなる。
308	地域	寄り合って話す機会が少ないので、近所づきあいがなかなかうまくいかない。
309	地域	隣人との関係が不良なところが多い。
310	地域	老人は家にいることが多い。近所との連絡を密にしなければならない。
311	地域	若い人がいないので50歳で消防団を辞めたい人が辞めることができない。
312	地域	若い人の地域参加。
313	地域	若い者が居ないので、役員を今8つこなしている。
314	地域	若い者が地域にいない。いても自分の思うようにする。
315	地域	若者がいない為、葬式が集落でできなくなる。
316	地域ICT	一人暮らしにTVは必要であるし、今回の取り組みをすればお金がかかるのではないかな。
317	鳥獣被害	イノシシの被害で畑の管理ができず荒廃する。
318	鳥獣被害	家庭菜園も猿に荒らされ、歳とともに縮小傾向にある。防草黒マルチ畑が多くなる。道端の祇園坊柿も毎年のように柿泥棒に盗られる始末である。
319	鳥獣被害	熊出没のため山菜取りや植林の見回りもできず、山林が荒れる。
320	鳥獣被害	猿の被害があり、農作物の耕作意欲が高まらない。
321	鳥獣被害	田畑の耕作はやりたいが、1人では獣害対策が出来ない。
322	鳥獣被害	電気柵だけでは猿被害を食い止めることができないので、自由捕獲を認めてほしい。
323	鳥獣被害	山に小動物のえさがいないので人里に下りてきて被害がある。
324	鳥獣被害	有害鳥獣がたくさん出てくるので農作物に大きな被害が出る。
325	鳥獣被害	有害鳥獣の防護用電気柵の保守・点検作業。
326	通学	中学生がバス通学でくたびれる。
327	通学	バスの便が少なく、子供が町の学校に通うのも不便。
328	通学	広電バスの乗客が多く、バス通学している小学生が座れない状態でかわいそう。
329	通信	急病の時は、近所が遠く連絡が不便
330	通信	携帯電話が使えない。
331	通信	新聞が郵送なので、昼間で読めない、休日に読めない、チラシがない。
332	通信	新聞も郵便料金が増額される上、休日には配達されない等不便が多く、コンビニへ買いに行っています。
333	通信	地域の避難場所でラジオ放送、携帯電話も不通、台風情報が聞けない。
334	通信	地デジになりますが、一戸も見えない家のないように。
335	通信	テレビ受診が共同アンテナであり、経費の負担が大きい。
336	通信	テレビの映りが悪い。
337	通信	電話の件は、今までのようで、良いのではないかなと思う
338	通信	ネットが整備されていない。
339	通信	ネットが整備されていない。
340	通信	地上はデジタル放送の受信に関し、アナログテレビに必要なチューナーを町で斡旋してほしい。
341	通信	通信情報整備が遅れている。
342	通信	テレビが良く映るような施策というか、それに伴う補助をしてほしい。
343	通信	灰色の公衆電話が使い方が年配には難しい。
344	通信	部落で放送される事が時々聞きにくい時がある。
345	通信	元のように郵便局にも公衆電話の設置がほしい。
346	定住促進	学校の統合、農協の統合などで金融機関はなくなり、住みにくくなった町に若者の定住促進はできない。
347	定住促進	定住住宅の建物の作りが古い割に家賃が高い。家賃を下げるか改築をしてほしい。
348	定住促進	病院が無床の診療所になるようでは、の定住促進はできない。
349	道路整備	191号のカーブは危険カーブで常に一人相撲で事故が起きている。歩道が住居区の反対側にあり、行楽シーズン・イベント開催時には車の交通量も多く、家からの横断も最大限の注意を必要と
350	道路整備	鮎が平では急傾斜地工事、終了後は道路舗装工事をするといって予算が無いといって一部だけで延びていますが、早急に実現して欲しい。山の土砂災害よりも河川氾濫が恐ろしいように思えるので鮎が平橋上流の残りの土手の工事を早急に実現して欲しい。
351	道路整備	田舎は道路といっても、紆余曲折が多く路肩の不備、せまい道幅、坂、信号機が少ない。
352	道路整備	犬のフンがどうして多いのでしょうか？道路の真ん中にあります。どうして知らん顔ができるのでしょうか？
353	道路整備	迂回道路の設置(町造一位原線から津都見側船場トンネル入口)

NO	項目	内容
354	道路整備	外灯の設置について、限界集落に入るまでの町道について町で外灯を設置していただきたい。
355	道路整備	各橋梁に外灯を。特に修道小学校の橋にもない。早急に。
356	道路整備	各橋梁の鉄骨部分の点検塗り替えを。
357	道路整備	各谷川、特に昌原、上田の原、下田の原、五反田火の口谷川、の改修を火急に。
358	道路整備	加計BSを利用しているが、夜帰宅するのに人通りもなく、又民家もなく怖い。上下線を結ぶ連絡橋を設置
359	道路整備	加計旭端から上流鮎が平橋までの間で特に上原部落は前は太田川、裏は山に接近した地域で道路が狭く車の離合が難しい地域である。災害時には殆んど孤立状態となる地域である。
360	道路整備	限界集落地域の町道の草刈は行政でやってもらいたい、地域には若者がいない。
361	道路整備	県道下田の原地域の拡大
362	道路整備	県道中筒賀下線、加計旭橋付近から殿賀堂見橋付近について道路が狭くなおかつ離合(退避)場所も少なく(見通しも非常に悪い!)危険です。
363	道路整備	県道の出入り口が悪い
364	道路整備	国道186号線殿賀下堀水刃地区内の急カーブの改良。
365	道路整備	国道191号は、度々落石があり、道幅も狭く、夜間は暗く、歩道もないので危険。
366	道路整備	国道433の貫通を早くしてもらいたい。若者の働き場所の確保のために。
367	道路整備	三郷いこいの家場に放置されている数台の廃車処理をお願いします。
368	道路整備	三段峡入り口、長寿村(旧さんだん館)の前にバスの屋根つき停留所が無いので、雨降り又冬の吹雪の時困っている。
369	道路整備	下堀の国道には歩道がないので大変おそろしく命がけで道路を歩くようである
370	道路整備	自転車通学をする中学生が通う道が歩道がないところがあるので危険。
371	道路整備	小規模工事について、工事期間の定めが無いため着工が遅延して困っている。工事期間を決めて業者に依頼してもらいたい。
372	道路整備	水路の改修してほしい。
373	道路整備	前記土地の中に、現在里道的性格の道(旧社宅間の通)が公民館前までつながり、地下には下水道母管が埋設されている。合併後管理道として、町道編入が必要と思うが処置済みかどうか？
374	道路整備	谷沿いの町道にガードレールがない。
375	道路整備	田の原から芸北建設局上みまで歩道がなく、砂利道なので交通が不便。
376	道路整備	地域内の主たる道が狭少。、高合、さらには袋小路の行き上り。早急に改良をお願いしたい。
377	道路整備	地域内部路にある外灯ですが、これからは電灯が切れた場合、地域で修繕する様になると聞いているんですが、町費で出来るだけ修繕していただくようお願いいたします。
378	道路整備	地続きの荒れた隣の畑から草の根果樹の根枝がはびこりこまっています。
379	道路整備	中電社宅跡地は地内でも一等地、一部旧地主に有償返還されたが、残地について年一回の草刈りであまりの雑草の繁茂に、環境崩壊で地域として花一杯運動に取り組むなかで、善処を要望協議の結果、年三回の草刈りをする事になったが、草の生育状況や種の実る前の刈り取りなど無関係で実施するので、環境の改善になっていない。雑草の中に暮らす住民の悲哀感じて欲しい。中電も不要遊休地なら、無償地元返還するように行政サイドから働きかけて欲しい。
380	道路整備	町道江河内線の一部が未整備なので、ガードレールの設置をお願いしたい。
381	道路整備	町道周川、榎ヶ原間の落石対策
382	道路整備	町道周川～榎ヶ原線の改良事業を早急に整備していただきたい。
383	道路整備	町道土居岩田線については離合箇所をもう少し増やすだけで良いと思います。
384	道路整備	町道に草が繁殖し通行・農耕等に支障があるため、年3、4回草刈りをする。地域委託して燃料費を補助して欲しい。
385	道路整備	町道船場来見線の離合場所の確保
386	道路整備	筒賀修道について、交互交通で大変不便です。
387	道路整備	定住、Uターン、Uターンを促すために筒賀～湯来、湯来～沼田へトンネルを。
388	道路整備	道路工事がなかなか終わらず、通行に不便。
389	道路整備	道路に穴が多く車がパンクしそうなので整備してほしい。
390	道路整備	道路の開通を早くしてもらうと子供も度々帰ってこられると思う。
391	道路整備	農業をするのに、我が家の農地はへんぴなところがあるので、昔の道を通れば道が狭い、通常の道路では大回り、そして岸は高い、なかなか年寄りには仕事が困難。町道も急で、冬には凍結して、老人は滑って転倒して怪我をする。
392	道路整備	一人暮らしや空家が多く、畑作業が放置されるため草が茂り、見通しの悪い町道となり事故が発生しやすく、環境も悪くなっている。
393	道路整備	船場地内の整備をし、活気に満ちた地域に再生さす。
394	道路整備	船場トンネルの改良
395	道路整備	部落のイメージ低下には発電所川上、開閉所山側に廃車が草の中に多数放置されている。土地の所有者は湯来町久日市の児玉モーターと思う。行政から撤去するように申し入れて欲しい。
396	道路整備	弁才天からの県道は狭くても良いのできれいに舗装したり道路の端をコンクリートでかためてほしい。人口も少なくなるのでお金のかかる改良工事は必要ないと思います。ぜいたくは言いません。
397	道路整備	弁財天より寺領入り口までの県道の拡張をしてほしい。
398	道路整備	道の幅員が狭く車の離合ができない。
399	道路整備	道幅が少ないので除雪した雪の捨て場所がない。
400	道路整備	山手線の山が荒れてた竹が道を塞ぎ、通行に支障が出ている。

NO	項目	内容
401	道路整備	山よりの町道など外灯がなくて明るさが欲しい。
402	道路整備	夕暮れ時、夜間、歩く人の服装が見えにくい。
403	道路整備	林道整備は大原林道が出来て便利になったが、側溝がつぶれ、山側の草木が大きくなり、側溝の価値がない。大雨や台風の際には道路が川になり、集落に流れ危険である。何とかこれを整備して、安心できる集落になればと思う。
404	道路整備	家から家への小路が平面でなく小石道で歩きにくい。
405	道路整備	河川管理道の整備・草刈りが多い。
406	道路整備	可部線あとの陸橋の腐敗による落盤事故が心配。
407	道路整備	近所に家がなくて不安。家まで道路がきていないので、緊急時が不安。
408	道路整備	空条は道路の幅が狭く、自動車が運転しづらい。角だけでもひろくしてほしい。
409	道路整備	中学生に事故が起こらないように、一日も早く土居のトンネルが開通してほしい。
410	道路整備	町道木坂～ウドセ線の拡張(離合場所があまりない)。
411	道路整備	鉄道を早く撤去してほしい。
412	道路整備	豊平に抜ける道を早く安全な道にしてほしい。
413	道路整備	光石道の川側にガードレールがないのでこわい。
414	農業	荒れた農地が目立ってきた。農家の人を元気づけるため米の値段を上げてほしい。
415	農業	渇水による農業用水等の不足
416	農業	休耕地が増えて草の始末に大変困り気になって仕様がな
417	農業	休耕地が増えてばかりですが、今のところ草刈は中々大変ですが頑張ってます。
418	農業	休耕地を利用して野菜を作れども、販売ルートがない、売れない、作らない。若者はいない、高齢者は力がない、農機具は高いことを考えると何もしないほうが…。
419	農業	休耕地が多くなり、もったいないと思う
420	農業	耕地は畑のみで、水田は坪野に7アールがある、畑地を家庭菜園として耕作している耕地は平地で約1/4程度で、他は花木、果樹、で大半は耕作放棄地である。隣地に迷惑のかからないように管理する人もいるが、意に介さない人もあり、常識の無さは対処がむずかしい。
421	農業	高齢化により農作業の負担が大きい。
422	農業	高齢化による田畑の荒廃。
423	農業	田んぼを機械銀行に一切を頼んでいるが、予防してもらえない。シルバーセンターにお願いしても、草取りしてもらえない。
424	農業	自分が食べるだけの野菜を作る畑は耕すが、休耕地が増える。
425	農業	水田用の用水路の水漏れが多く、途中からポンプを使用しないと稲が作れない。そのポンプのよく故障して困る。
426	農業	棚田の石垣保金の助成
427	農業	当地内で中産間地助成事業があるのに拘らず耕作放棄する。行政(農業要項)として指導する必要があると思う。
428	農業	農業政策は現状維持してほしい。
429	農業	農業用水の維持管理ができなくなる。
430	農業	農業を法人化するべきだと思う。
431	農業	畑の管理に苦慮している(不在地主耕地も含めて)
432	農業	圃場整備の償還金を支払いながら、田は減反で休耕しており、草刈りを年3、4回しなければならず女性には大変。お願いする人もいない。
433	農薬散布	他人の農作物、洗濯物にもかかる配慮がなさ過ぎる。
434	野焼き	ごみの野焼きは禁止されているが、まだやっている人がいる。
435	野焼き	ゴミのポイ捨て、野焼きはやめてほしい。
436	野焼き	自宅での焼却をされると、作物に灰が散乱して困る。
437	野焼き	野焼き禁止はわかるが、草は良いのではないかな？
438	バス	加計病院、寿光園を利用する人が多いので、バスの運行本数を2往復にしてほしい。
439	バス	川森文化交流センターでいろいろな行事や公演が催されているが、バスの便が少なく参加できないので、バスの便をふやしてほしい。
440	バス	車の運転ができないので、休日バスが運休だと困る。
441	バス	国道には民家が少なくないので、町道川北線を運行してほしい。
442	バス	坂原行きのバスがなくなりました。小型化にして二往復位にして欲しい。筒賀温泉にも行かれなくなり、筒賀温泉も利用客が少なくなったのでは。
443	バス	滝本～土居～上調子線の路線バスをお願いしたい。
444	バス	巴町さかきや商店から元上部店の間にバス停留所是非お願いします。
445	バス	温井～津浪高速道のバス便はほとんど利用する人もいないので便数を減らすべき。
446	バス	バスが日曜日には運休するので困る。タクシーも時間限定で不便。
447	バス	バス停が16年の災害で流失してありませんので、雨の時とかに困っています。長時間バスを待つこともあり、ちょっとした屋根があったらと思っています。
448	バス	バスと可部線との連絡がない。
449	バス	バスについて高齢者は歩行が困難なので、高下バイパス間の乗降をフリーにしてほしい。
450	バス	バスの停発車時等、揺れで体のバランスが崩れ倒れそうになる。
451	バス	広電バスに(元JR)船場駅前まで停車できるようにしてもらいたい。便数が少なくなっている現在、切実に思う。

NO	項目	内容
452	防火用水	田吹は山沿いに家が多く、川や谷の水も減っているので防火用水を設置してほしい。
453	無線放送	死亡者、葬儀予定の放送だけでなく、月別の出生状況人数のみでも放送してほしい。
454	無線放送	死亡の放送を以前のように音楽をつけてほしい。
455	無線放送	防災無線による葬儀の放送が1回しかないので聞き逃すことが多い。
457	無線放送	無線放送 → 夜の一回ではなく朝の六時にも放送して欲しい。以前のように放送前に音楽を流して欲しい
458	無線放送	無線放送を冬季は1時間早くしてほしい。
459	無線放送	有線の声が聞き取りにくいので、二回放送のところ、三回放送にしてほしい。
460	無線放送	有線放送での町からのお知らせや葬儀のお知らせを夜と朝してほしい。
461	催し	各種の催し物が戸河内地区で開催されることが多いので考慮してほしい。
462	催し	川森文化センターでは色々な講演会等があるが、夜は自分で運転するのは不安。予約制で小型バスなどを出してほしい。
463	催し	行事があるとき送迎がないと行けない。
464	催し	この地区ではいきいきサロンの集まりがないので話し合う場がほしい。
465	催し	町社協通信「きずな」できずなサロンや男性料理教室のお知らせがあるが交通の手段がなくて行けない。仮にあっても安野からは筒賀福祉センターは遠いので行けない。
466	催し	筒賀児童センターですばらしいプログラムがあっても行く手段がないので行かせられない。バスを出すなどできないか？
467	催し	夏の加計まつり、五サー市、かえる祭などの行事の店も来る人もどんどん減ってさみしい。
468	催し	催し物等対象範囲が広くて遠くて不便。
469	郵便局	休日に郵便物の差出ができない。
470	郵便局	土曜日休日に小包郵便物の持込ができない。
471	郵便局	郵便局の民営化により不便になった。
472	郵便局	郵便局への用事を以前を配達員さんに頼むことができていたが、それができなくなったので不便を感じる。
473	郵便局	郵便の配達が午後になる。
474	郵便局	郵便の間違が多い。
475	その他	20年位青空市場をやっていますが、皆老人になり、会員も減って当番が困るので、誰かにお任せして売っていただきたい。
476	その他	新しい火葬場が道の下にあるのは、故人を敬う意味からいかなものか。
477	その他	家まで車が入れないので不便。
478	その他	田舎のしきたりがわずらわしいので若者が定住しない。
479	その他	加計地域にグランドゴルフ専用のグランドがほしい。
480	その他	車の運転マナーが悪く、雪や雨が跳ね返り服が濡れて困ることがある。
481	その他	講演会は川森交流センターであり遠いので、夕方などは出かけられない。
482	その他	高齢化のため集会所の維持管理が困難になった。
483	その他	高齢者、一人暮らしの方は庭木の剪定に困っている。
484	その他	自家用車の乗り合いは、好意が仇になり事故をした時心配。
485	その他	自治会・子供会・女性会・老人クラブなど活動が別々なので、何か共通の活動があってもいいのではないか。
486	その他	自動車免許更新時の高齢者講習を受ける所要時間と費用の負担が大きい。
487	その他	葬儀のお知らせの放送時刻を早くしてほしい。
488	その他	タクシーの営業時間が早く終わるので遅くまで飲めない。
489	その他	縦貫道の法面の草や木が大きくなって景観が悪く不快である。
490	その他	地域の行事に参加する人がいなくなり、参加したくてもできない。
491	その他	町の行事等あっても、運転ができないので行けない。
492	その他	天神原にある旧教員住宅地内に草が生えていて周囲が不快である。
493	その他	物価は高いし、公的支出は多く、収入は上がらないので生活が苦しい。
494	その他	3R作戦(新聞・雑誌・広告・ダンボール)の回収
495	その他	田舎にはいるほど警察と消防署は必要だと思う。悪い人はどうしても田舎に入って年寄りをだましたり、家に入ってくる場合が多いので連絡するのに警察が遠いと大変だ。
496	その他	犬の糞も始末せず散歩する人がいるのには困る。
497	その他	稲を作るにも機械を使う人が高齢化で使用できなくなる。
498	その他	上原部落には集会所が無い。現在町に対し上申中ですが、川西地区の中央である見入ヶ崎、鮎が平よりいまま少し広い集会所がほしい。
499	その他	太田川の水を利用した五連水車の設置。鯉の回遊地と側溝に流すことにより側溝清掃
500	その他	河川敷遊歩道の設置
501	その他	ガソリンが高い
502	その他	缶拾い、猪対策その他部落の清掃等行事が多い過ぎる。
503	その他	ゴミだし → 種分けが複雑になって種分けに困っている
504	その他	ゴミ袋代が少し高い気もするし、収集日が減ったので、便利が悪くなった。
505	その他	昨年9月浦の鍵をかけ忘れて出た。自分が悪いのだけれど台所に置いてた腕時計が無くなっていた。便利が悪いので買いに出たけど、つくづく住みにくいところだと思った。
506	その他	自分の山の手入れが出来ない。

NO	項目	内容
507	その他	対岸へ歩道専用のつり橋を設置する。
508	その他	年をとりからだが不自由になると、畑などの仕事が思うように進まない。
509	その他	ドラム缶などで黒い煙の出るものを通勤通学の時間でも平気で燃やされる事業主には困る。臭気はひどい。
510	その他	生ゴミの回収日を増やしてほしい、特に年末年始はゴミが集中するので衛生上不潔である。
511	その他	日照不足→山に囲まれており、朝は日の出が遅い。日が暮れるのは早い。→農作物の生育や洗濯物の濁きにも影響がある。
512	その他	廃棄物の処理について現状でよいのか疑問に思う。
513	その他	困っていて、行く先心配してしまう事 → 夏季の除草も同じく。

安芸太田町の暮らしに関する調査
集計シート

【就業・その他】

NO	項目	内容
1	Uターン	就業の場を確保しUターンを促してほしい。
4	企業誘致	土地が多く空いているので、企業誘致して雇用促進してほしい。
9	雇用	若い人が働くところが町内にはない。
39	賃金	賃金が低く、安定した生活が出来る職場が少ない。
41	通勤	職場が少ないし、市内への通勤も厳しい。
44	通勤	通勤に高速道路を使って1時間もかかるので大変。補助がしてもらえないか。
45	通勤	町外で働いており、交通費がかさみ、通勤コストは年間101万円くらいかかります。税務面での対策を考えていただきたい。

NO	項目	内容
1	お寺	お寺のお金の負担要求が困る。
2	観光	温井ダムを中心とした観光についての協議会を国県町地元で作り、外来者を多く迎え入れるよう計画実行していく必要がある。
3	観光	加計地区に道の駅を設置し、トイレを増やして観光客の増大をおこなってほしい。
4	観光	三段峡を観光地として整備してほしい。県外の人を招いても食事をするところもないし、活気も
5	観光	スマートICができ将来大型車輛の出入りが期待できる。
6	観光	特産品の共同開発を。
7	観光	都市との交流に重点を。
8	観光	良い観光地がありながら、駐車料金が高い、お客の取り合いではだめだと思う。
9	行政	JR可部線廃止の為、三段峡探勝者が少なくなり入り口の人を始め、部落皆で将来を案じてい
10	行政	安芸太田町に戸籍がない住民が多い。
11	行政	安芸太田町の将来像が見えない。
12	行政	空家、空き店舗を見直してはどうでしょうか。
13	行政	温井～杉之泊線の間地点にある町有地の活用を地元と協議して善処してほしい。
14	行政	家に眠っている傘があったら町内各所に置いてみては。町立病院の玄関前にずいぶん置き忘れが置いてあります。
15	行政	家に眠っている杖があったら町内各所に置いてみては。
16	行政	いつまでも行事が終わらず続けて欲しい(とんど祭り)
17	行政	いろいろなアンケートをされても何も変わったとは思えない。もっと町民の声を反映してほしい。
18	行政	火葬場が遠い。
19	行政	合併して本庁が遠く、支所の機能は低下しているので、どこに住んでいても同じように対応してほしい。
20	行政	合併の効果が何も出ていない。
21	行政	合併四年目。もっと開かれた役場であって欲しい。
22	行政	議員の人数が多い。
23	行政	記入例にあるとおり不便を感じています。
24	行政	希望するような貸してもらえない家がない。
25	行政	休耕地の草刈→有料の草刈業者に依頼している
26	行政	行政各課、各関係団体が各々住民のために頑張っているか。同じ目的であるのに各々が活動していて連動されていない。このエネルギーをひとつにすればもっとすばらしい成果になると思う。
27	行政	行政からの連絡事項が伝達しにくい面がある。現在、無線放送と配布文書で対応されているが、ITを使用することを加え三本柱で対応されることは考えにくいでしょうか。
28	行政	行政施策が明確でない。
29	行政	行政情報が流れない。
30	行政	行政二区制は意味がない。
31	行政	行政に電話しても課が違うとタライ回しにされる。ていねいに教えてほしい。
32	行政	行政に要望しても、予算不足で出来ないと片付けられてしまう。
33	行政	暗い話ばかりで、多少の希望がないと住んでいられない。行政に期待する。
34	行政	敬老会補助金は従来通り75歳以上に戻してほしい。
35	行政	下水道の完備をして欲しい
36	行政	下水道の計画が分かっていたら浄化槽はつけなかった。
37	行政	現在、当集落40戸の人口状況は少子高齢化が進み、子供が一人も居ない寂れた状況です。(空家9戸、一人9戸、二人以上22戸)一人暮らしの人が亡くなると空き家になる悪循環を重ね、このままだとますます過疎化が進み正常な生活が出来なることを心配する声が多くあり
38	行政	建設工事、箱物の必要性等の説明が明確でない。
39	行政	高速道路の法面の草刈を年に3回程度は行う必要がある。
40	行政	高齢化が進み、耕作放棄の畑が増加傾向にあり、耕作畑への草の種子が飛び迷惑の状況になっている。
41	行政	高齢者は病気になったらどうなるのだろうかと毎日不安な気持ちで過ごしています。
42	行政	個人で役場に物事を頼んでも聞いてもらえず、区長が頼まないと言われてくれない。
43	行政	財政難だからといろいろなことがカットされたりなくなったりして住みにくくなる。
44	行政	財政難で要望が達成されない。
45	行政	財政の建て直しに取り組んでもらいたい。
46	行政	坂根スポーツ広場の土手に桜などの植林。
47	行政	事業・人事共にバランスを考えた行政をしてほしい。
48	行政	次世代担い手、後継者の育成
49	行政	し尿処理業務が一社で独占しているので競争がなく言われるがままである。二社以上にすべ
50	行政	柴木温泉をなんらかの形で一日も早く使用できるようにしてほしい。
51	行政	消防支所への「つなぎ込み」が難しい。現地を見て公共マスを敷地1M以内に作って欲しい。
52	行政	職員の態度が、馴れ合いがあるのかあまり良くない。

NO	項目	内容
53	行政	申告の時期が来ましたが、昨年近所の人に聞いた話です。税務課の職員の不勉強で、町民の方々がとても待ち時間が長くなり、怒っておられました。職員の方にも自覚を持って対応できるよう、準備をして現場に臨むべきだと思います。
54	行政	生活保護の条件や手続きを詳しく知らない。
55	行政	請願・陳情について何の連絡もないと、不安を感じます。中間報告(具体的予定など)を忘れないようにお願いします。
56	行政	制度の変更、計画等の施策において住民意見がアンケートのみで、具体的な内容についての意見聴衆がまたくなされていない。
57	行政	葬儀のとき、外来者の駐車場確保が困難なところがある。
58	行政	葬式のときは役場から1人来て弔辞を読んでもいいのではないかな？
59	行政	縦割り行政の弊害を感じることもある。直接担当していなくても、横への情報を流し把握して星と思います。会話が通じないことがある。
60	行政	地域担当制の出来る前の、ワークショップに参加して感じたこと、人口の著しい減少とか、農地の荒廃、後継者の問題、人が住めないほどの鳥獣被害等に対する危機感を、町の職員さんからは感じられなかった。このままでは、野焼きする人も、タバコを吸う人も、棚田の手入れをする人も居なくなりそうです、是非人口減少を防止する対策を。
61	行政	地域でも空家が有ります。屋根の落ちた様な家、誰も整理に帰らない家、木々が多く大きくなって暗くなると、なんとなくこわい。
62	行政	地域の行事に参加する人は参加する。しない人はいつまでもしないので地域の活気が減少するようで淋しい。
63	行政	地域の早急な改善は優先順位をつけて取り組まなければならない。
64	行政	地方政治をしないと町の発展はない。
65	行政	中国電力柴木発電所の下の広場を借りて、グラウンドゴルフ場を作ったらどうか。柴木温泉の建設と併せて、寂れた入り口の活性化に。
66	行政	町議会議員と地区担当職員の協議を年に3回は行う必要がある。
67	行政	町財産の管理委託料の格差が非常に大きい、統一した基準にしてほしい。
68	行政	町条例が陳腐化して生活実情に合わなくなっているところもあるので、町民の実情に即した条例整備を願いたい。
69	行政	町長さんのキャッチ文句。住んで良かった加計、思いやりのある加計町とはどんな事をいっていらっしゃるのでしょうか？
70	行政	町の財政が悪く、封筒で送ってきた時、封筒を裏返して作ってありました。気持ちは良くわかりますが、受け取った時、何か変な手紙かと思いきり余り気分はよくありません。
71	行政	町の財政難が心配。
72	行政	町発注の工事は町内の業者にやらせてもらいたい。
73	行政	定年になったら今の若い人達が帰ってくるという保証は無く、どうなることかと不安材料は多くありますが、住み慣れた所で暮らすためには、不足、不満ばかり言うのではなくこれらをどう克服していくか、もっと住みよい地域にするにはどうすればよいか。行政におねがいすることはお願いをし、みんなで知恵を出し合い、住民相互のつながりを深め助け合うことが課題だと思います。どうかよろしくお願いします。
74	行政	定年を迎えた人がUターンして空家になるのを防止する努力をする。
75	行政	鉄道の廃止により三段峡のお客もずいぶん少なくなった。柴木には良質な温泉が出ている。この温泉を生かした地域活性化を考えてはどうか。今盛んに行われているグラウンドゴルフと温泉で街の人との交流の場として。
76	行政	土砂災害防止法により、警戒区域特別警戒区域に指定され、建築確認の制度が適用され、増改築の難しさに困っております。
77	行政	隣家(空家)壊れかけていて雨水が自宅に流れ込んで困っている。行政に相談しているが解決に至っていない。早くどうにかして欲しい。
78	行政	共働きなので役場への提出書類を時間内に持っていくのが大変不便。
79	行政	どれをとっても将来の展望がみいだせない
80	行政	温井スプノアスの入場料が余りにも高い。
81	行政	農村広場のポンプの故障が半年も続いている。修理してほしい。
82	行政	農道・水路を最優先で予算化して欲しい。県の予算がつかなければ行政の責任で対応すべ
83	行政	廃止になった鉄道跡地の整理を早く。土手の草刈も大変だ。
84	行政	配布物の文字が小さく、カタカナ語、難解な語彙が多いので高齢者には読み辛い。
85	行政	ふれあいサロンの充実。資金難の為ごり貧になっている。
86	行政	閉園、閉校に伴う校舎の活用を要望する。
87	行政	ペットの不法投棄が多い。
88	行政	本庁と支所の業務分担がよくわからない。
89	行政	町行政の内容、事業の推進等等知る術が広報以外ない。もっと自治会別にでも伝達してもらえるような方法が欲しい。地域担当制はあるがほとんど機能していない。
90	行政	民生委員会、町会議員。各組織の熱心な討論と実践をすすめてほしい。古いものを大事にするところと、それを脱皮して取り組む勇気を。開けていく思考力がほしい。

NO	項目	内容
91	行政	目の前の地域の努力が最大の要因。
92	行政	役場が遠い。
93	行政	役場が戸河内にいってしまい、遠くなり不便。病院の近くなどに置いてほしい。
94	行政	役場が戸河内に行ってしまうと寂れた気がする。
95	行政	役場の職員で加計で戸籍抄本をもらう時と、戸河内で同じ書類をもらった時対応が全然ちがっていた。戸河内の方が気持ちよかったです。
96	行政	安野出張所は廃止したらいいと思う。
97	行政	連絡員の報酬はいらぬのではないか？
98	行政	若い人が帰ってこられるような町にして欲しい
99	行政	若い人が少なくなり、女性会が成り立たない地域が出来ている。又、運転免許証保持者が少なく、他竹での会合が夜にあると出席率が悪くなる。
100	行政	若者が地域にいますが、地域にいても集落名は違います。
101	行政	困っていて、行く先心配してしまう事 → 各、施設がどんどん撤退して行くこと
102	行政	困っていて、行く先心配してしまう事 → 各会の役員任期があつて、ない風習
103	行政	「地域ICT利活用モデル構築事業」になんのメリットがあるのか？今すべきことにもっと力を入れてほしい。
104	行政	インフルエンザの紙は85歳以上の人は郵送で送られてくるのに、子供のは役場まで取りに行かなければならないのか？取りに行くのは大変なので、3歳未満だけでも連絡すれば送ってもらえるとか、病院に置いてもらうなどしてほしい。
105	行政	運転ができなくなった時、役場(加計支所)まで行くのは大変なので、できるだけ安野でも手続き等できるようにしてほしい。
106	行政	学校等すべてが中央へと移行され、へき地はさびれる限り。
107	行政	合併の効果が何も出ていない。
108	行政	旧加計町の無駄な事業が目立つ。財政難の我が町にいま何が必要かを考え予算を組んでほしい。子供をこの町に残したくない親が多い。
109	行政	行政のサービス等広報でしっかり伝えてほしい。行政の連絡等が遅れ気味だ。
110	行政	行政のやっていることが不透明。アンケートを実施されるが反映されていない。
111	行政	自助、互助、公助の分担と連携、参画と協働意識の定着が地域に必要。
112	行政	町営簡易水道に関する問題(中筒賀地域給水区域内における新築家屋に対する給水工事費の常軌を逸する受益者負担のあり方について)について、住民は怒りをあらわにしている。
113	行政	町予算の配分に地域格差がある。
114	行政	戸河内インター周辺の開発について情報公開が不十分。
115	行政	役場等仕事を休まなければ利用できない。
116	行政	役場本庁の駐車場は広いわりに停めにくく、用のない人も停めている。
117	公共施設	公共施設や防災施設等について、年寄りや女性の思い(安全重視、簡易で低負担)が届かない
118	災害	台風・豪雨などにより山腹崩、土石流等の発生時に集落が孤立してしまう。
119	財産・施設管理	空き家を活用してほしい
120	財産・施設管理	休校になっている小学校をもっと活用してほしい
121	施設	合併の効果が何も出ていない。
122	施設	川北会館が必要。
123	施設	川森文化交流センターの利用者が少ない。
124	施設	公衆トイレが少ない。少し増やし、案内標識があるといい。
125	施設	交流の森の植栽の維持管理を最低限してほしい。景観が損なわれている。
126	施設	集会所がない。
127	施設	集会所の水が出ない。
128	施設	津浪(小)体育館、各集会所のトイレが和式なので、高齢者、足腰の痛い人が行事に参加したくてもトイレが気になり出席できない。
129	施設	土居会館は階段が狭く急なので高齢者は利用しにくい。
130	施設	温井スプリングスの老人・町内割引がなくなり、高くして利用できない。
131	施設	温井スプリングスの老人・町内割引がなくなり、高くして利用できない。
132	施設	ふれあいスポーツ広場は、老朽化が進み、利用者もあまりない。不特定多数の人が利用できる場にしてほしい。
133	施設	ふれあい農園「ありんこ」は空区画が増えるばかりで現在の契約者にも迷惑をかけており、行政の適切な対応が急がれる。指定管理制度にはなじまない。
134	相続	相続についての心配。
135	組織・職員	地域住民にもう少し権限を与えて欲しい。
136	組織・職員	地域担当者からの情報が欲しい。
137	地域	部落の行事、葬式等加齢のため出づらくなった。
138	図書館	移動図書館の利用をしたいが、昼間は勤めているので利用できない。
139	農業	若い人(後継者)がいないため、耕作している年代の人がいなくなった時の事が心配です。
140	不法投棄	小屋原の町営住宅住人による廃車の不法投棄を何とかしてほしい。
141	防災	災害時(通行止めの迂回・対応)の対策の検討。

NO	項目	内容
142	防災	放水路、防砂、防護壁の完備(箕筒地区)
143	その他	滝山川の体育館側の土手にあじさいかつつじを植栽すると良い。
144	Uターン	就業の場を確保しUターンを促してほしい。
145	企業誘致	土地が多く空いているので、企業誘致して雇用促進してほしい。
146	雇用	若い人が働くところが町内にはない。
147	賃金	賃金が低く、安定した生活が出来る職場が少ない。
148	通勤	職場が少ないし、市内への通勤も厳しい。
149	通勤	通勤に高速道路を使って1時間もかかるので大変。補助がしてもらえないか。
150	通勤	町外で働いており、交通費がかさみ、通勤コストは年間101万円くらいかかります。税務面での対策を考えていただきたい。

安芸太田町暮らしのカルテ集計表

番号	項目	内 容	緊急度
医 療			
1	11	巡回検診が定期的に必要な	1
2		遠方の医院からは、往診してもらえない	
3		加計病院の待ち時間が長い	
4		加計病院で午後の受診もできるようにして欲しい	5
5		専門科がない(眼科、皮膚科、小児科、産婦人科)	1
6		加計病院での耳鼻科に予約がなく、待ち時間が長い	3
7		休日や夜間における急病時対応の病院がない	
8		戸河内病院で外科の診察日が少なく困る(あなたくは月水金だけであり怪我の治療が金曜のみとなる)	1
9	12	加計病院の待ち時間が長い通院で、自動車にボランティアで同上させてあげればよい	1
10		あなたくが利用できない地域のため、通院が不便	3
11		あなたく(またはバス)が病院に直行しない(行きたい目的地まで運行していない)	2
12		あなたくは病院の帰りでも予約がないと利用できない(予約したくても携帯電話はなく、公衆電話もない)	
13		バスの便数が少なく、通院が不便	2
14		病院に急患で入ったり、点滴を受けたときなど19時を過ぎると交通手段(タクシー)がない	1
15		車いすでリハビリに行きたいが交通手段がない	
16		病院の夜間緊急時の出入りに配慮が必要	
17		戸河内病院の現状維持が必要	3
福 祉			
18	2	免許証がないと移動が不便、夜間の会議や葬式等への出席が困難	2
19		要介護の方の移動手段の整備が不十分	
20	5	未婚者が多い	5
21		後期高齢者の一人暮らしが多い	
22		子供が周辺にいなくなり寂しく元気が出ない	
23	15	空き家が多く寂しい	
24		田舎暮らし希望者を暖かく迎える地域づくりが必要であり、排他的雰囲気の問題	3
25		加計と安野間で、JAや郵便局の集配範囲が異なり、1軒となりでも配達されない	
26		行政に相談しても、一向に話が進まないことがある	1
27		高齢者向け集合住宅(冬季滞在型)整備が必要	3
28		地域の役員等を受ける人が少ない	
29		温泉の有効活用が必要	
30		近所の連帯感の薄れがあり、隣組のようなしくみを復活させては	1
31		高齢者世帯(独居含む)の問題(食事、犯罪、移動、買い物、通院、話し相手、緊急時)	2
32		介護施設が近くにない(ショートステイ、デイサービス)	
33		一人暮らしの方への気配り(安否確認など)が必要	4
34		高齢化した障害者のケアが必要	
35		耳が遠く電話が使えない	
36		近所での安否確認が必要	
37		認知症の方への対応が必要	1
38	要介護者の日常的な支援が必要		

番号	項目	内 容	緊急度
教育・子育て			
39	6 学 校	児童数・学級数の減少が進んでいるため、学校の適正配置が急いで必要	2
40		除雪されていない道を子供だけの通学が心配	
41		通学途中での熊の出没が心配	
42		加計保育所の駐車スペースが少なく困っている	
43		幼稚園・保育園の一元化が必要	
44		地域に保育所や小学校を残して欲しい	2
45		学校給食で食育に配慮して、暖かいものは暖かく食べられるような工夫が必要	2
46	0 教育環境	進学を考える際に、塾などの教育機関がない	
47	3 通 学	地区によってスクールバス利用ができず、保護者の負担が大きい(津浪)	
48		通学に利用しやすい路線バスのダイヤがない	2
49		部活の朝練や終了後のバスがない	
50		バス通学のバス代補助が必要-(中学・高校)／(6km未満)	
51		国道191号は交通量が多く歩道もないため自転車通学が危険	
52		冬季17時までに学校を出る必要があるが居場所がない	
53		バスに乗り遅れたときに公衆電話もない	1
54	0 学外活動	習い事での移動手段がない	
55	0 子育て	子供を安心して遊ばせることができる場所がない(公園)	
56		子育てするお母さんに利用しやすいタウン誌が欲しい	
日常生活			
57	1 高速道路	加計ICの利用時間が24時間使えないと、救急、通勤、旅行等に不便	1
58	2 空き家	空き家対策(維持管理、解体、斡旋、情報提供、サークル等での有効活用)が必要	2
59	3 あなたく	広電バスとの乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	
60		歩行が不自由な高齢者が利用しやすい通院専用車両が必要	
61		ダイヤ設定や運行便数が通院、買い物で利用しにくい	2
62		あなたく運行区域でないため利用できない	
63		あなたくは運休日があり不便	
64		あなたく車両のステップが高く乗降が困難	
65		自宅近くまでの運行をして欲しい	
66		あなたくは病院を主目的地にしており、買い物利用ができない	1
67		予約がなくても乗車可能にして欲しい(病院に運行しているときなど)	
68		あなたく、代替バス、タクシーともに運休日がある	1
69	8 交 通	平日でもタクシーが昼間しか利用できない	
70		加計BSへの連絡バスの本数が少ない	
71		川森文化交流センターへの移動手段の充実が必要(行事への参加、送迎サービス)	5
72		バスを国道ではなく自宅近くの町道を運行して欲しい	
73		バス車両のステップが高く乗降が困難	
74		バスのダイヤを使い勝手よくする必要有り(始発便早く、最終便遅く、便数増)	2
75		バス停の屋根などの待合い環境向上(加計病院バス停、その他)	
76		自動車の乗合の際、事故があったときの対応	
77	0 移送支援	移送支援事業の対象をあなたく利用ができない軽度の障害を持った方も利用できるように対象拡大	
78	4 農地管理	高齢化によって田畑の耕作がせきなくなり土地が荒れる	4
79		用水路の水漏れ等施設の老朽化	
80	0 犬 猫	飼い犬の放し飼いで困っている	
81		犬の糞の処理がしていない	
82		野良猫が多い	
83	0 外 灯	外灯が少ない(加計BS、川森文化交流センター国道側、加計バイパス)	
84	2 買 物	JAの統廃合で食料品店がなくなり困る	1
85		移動手段がないと買い物が不便(電話による配達、さんさんネットの活用、移動販売車、生協)	1
86		生協のマークシートが使えない	
87		買い物バスが必要	
88		買い物でのボランティア利用者は、非常に気を遣っている	
89	0 行 事	町の行事の開催を旧自治体単位で行うようにすべき	

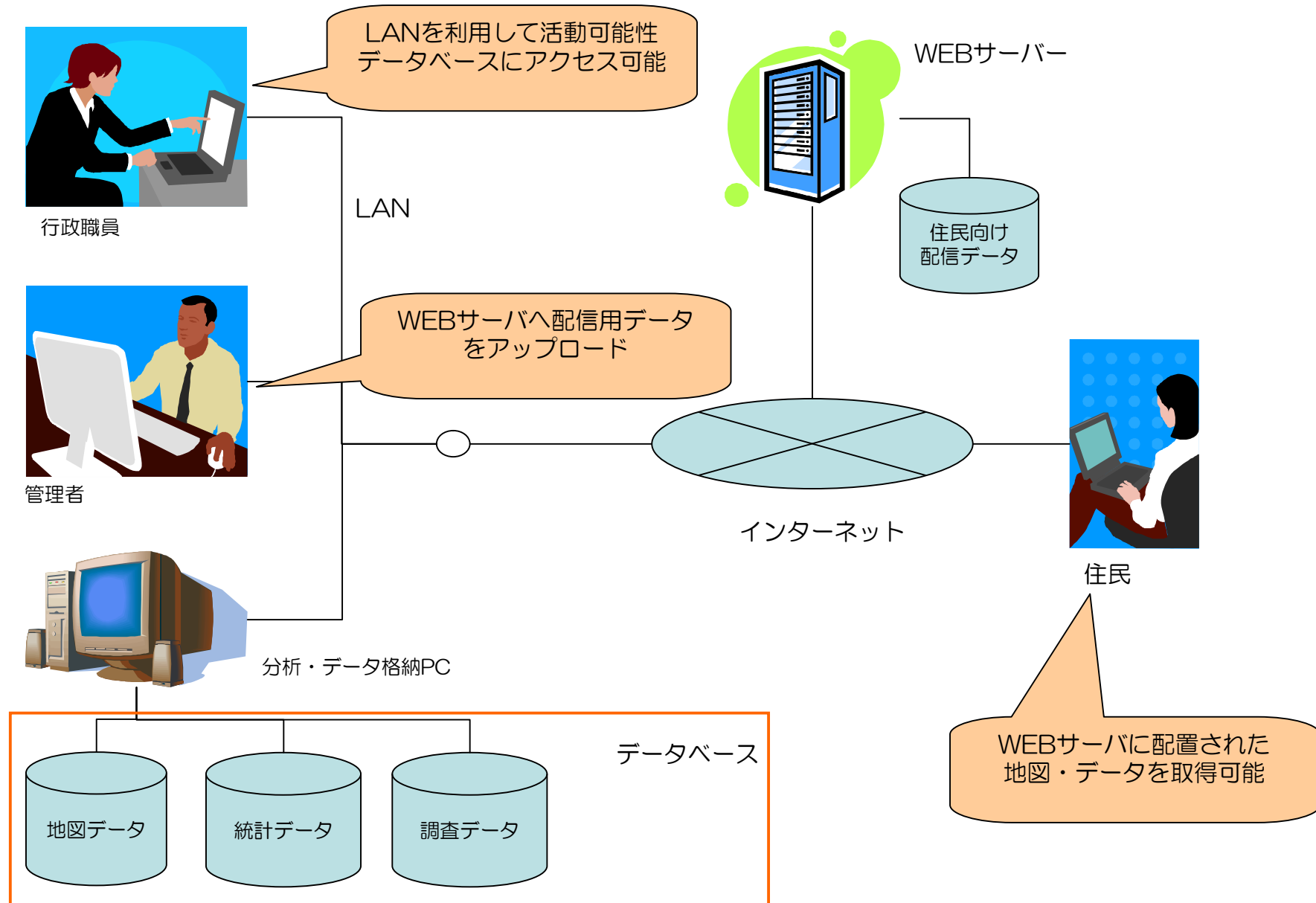
番号	項目	内 容	緊急度
90	金 融 0	JAの統廃合で金融機関がなくなり困る	
91		ATMを増やす必要がある	
92	ごみ収集 0	ごみの分別が複雑すぎる	
93	娯 楽 0	皆が集える娯楽の場がない(映画館、ミニコンサート、観劇、ミニサロン、グランドゴルフ場等)	
94	災 害 12	災害発生時の避難場所整備(遠い、周知徹底、連絡方法、避難場所自体の安全性)	10
95		災害に備えて河川・砂防・急傾斜等の整備・維持管理が必要	2
96	上下水道 0	上水道の確保が困難	
97		下水道の接続費用が高額で困難(集会所などの料金も高額で困る)	
98	除 雪 0	生活道の除雪が不十分(遅い、除雪なし、歩道は実施しない)	
99		高齢化で除雪が困難	
100		除雪した雪の捨て場がない	
101	地域活動 3	高齢化により用水路清掃、草刈りなどの共同作業が困難になった(人数、体力、経済的)	1
102		高齢化により地域の活動(葬儀・月番・祭りなど)が困難になった	
103		地域の伝統や文化の継承が必要	1
104		回覧文書等を読んでももらえない・理解できない	
105		地域拠点(神社、寺、防火用水、集会所)の維持管理が困難	
106		近所付き合いが少なくなっている	1
107		青空市の運営が困難	
108	鳥獣被害 3	猪・猿による農作物被害	3
109		熊出没により山に入れず荒れる	
110	情報通信 2	新聞が郵送で休日に読めず料金が割高	1
111		避難場所でラジオも携帯も不通	
112		インターネット環境が未整備	1
113		携帯電話の不通地区が多い	
114		公衆電話の設置(郵便局等)	
115		無線放送の回数増(朝夕に)	
116		無線放送の内容に明るい話題を加える	
117	休日に郵便物の持ち込みができない		
118	道路整備 2	道路の危険箇所の整備促進(拡幅、急カーブ等、歩道、ガードレール、舗装、トンネル)	1
119		外灯整備の必要性	
120		加計BS周辺的环境整備	1
121		町道の草刈りが困難(行政で実施を)	
就業・その他			
122	観 光 5	温井ダムや三段峡を活用した観光施策が必要	3
123		特産品の共同開発が必要	2
124		都市との交流施策が必要	
125	行 政 10	自宅にある傘・杖を町内各所に配備	
126		行政各課・各関係団体が個々にがんばって活動しているが、一つになって活動すべき	9
127		行政からの連絡を文書・無線に加えてIT活用をすべき	
128		共働きなので行政手続きを時間内に訪庁して行るのが難しい	1
129		自宅近くで役場の手続きをしたい	
130		各種施設のユニバーサルデザイン化(バリアフリー化)	
131	カタカナ表記が多く理解しにくい		
132	就業・その他 2	就業の場を確保(企業誘致)	1
133		町外の就業場所への通勤費への対策(補助、税務面)	
134		高齢者の就業場所を確保	1

安芸太田町地域ICT利活用モデル構築
システム概要

概要



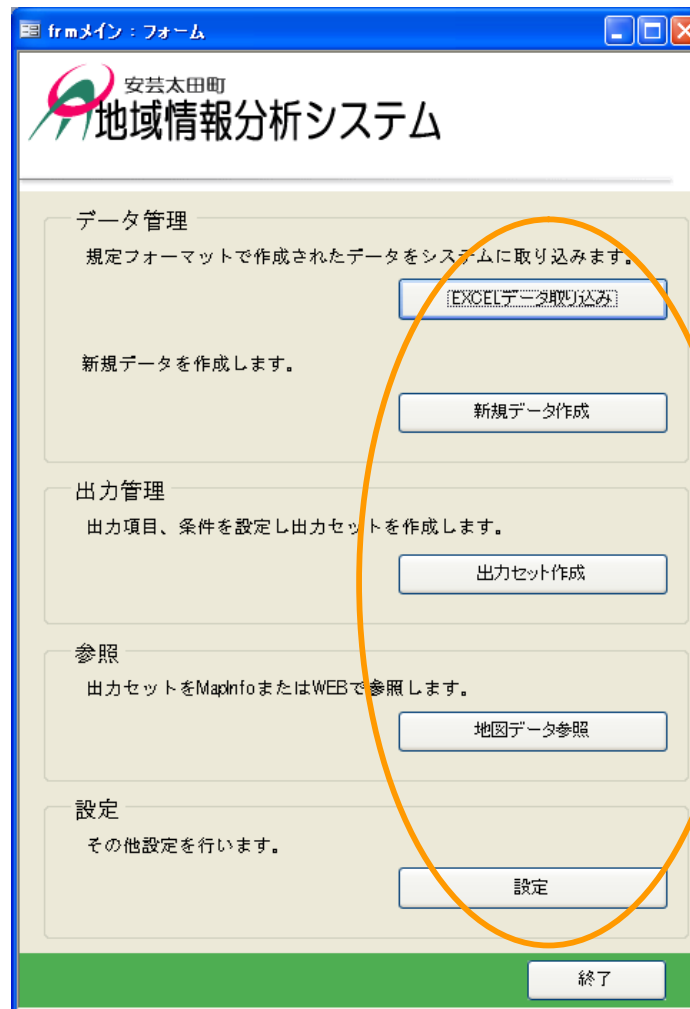
1 システム概要



2 機能・メニュー

項目	内容
データ登録	
統計情報登録	人口、世帯等の一般的に入手できるデータの登録
行政所有データ登録	免許保有、介護保険認定等の登録
調査データ登録	アンケート調査結果の集計値の登録
分析地図・データ作成	
分析結果地図作成	MapInfoの基本機能、拡張機能である時間距離計算機能等を利用して地図を作成する。 その際に利用できるデータは「データ登録」で作成されたデータを使用する。
分析結果の属性情報登録	分析結果地図に対する説明文を登録する。
登録	
WEB配信データ登録	分析結果をWEB配信するためにWEBサーバーへ登録する機能
地図データ登録	「データ登録」で登録するデータの基準となる地図データを登録する。 システム稼動時には利用する地図は全てそろえた状態ではあるが、稼動後にも追加可能とする。
参照	
職員用データ参照	データ登録機能で登録されたデータを参照することが可能
住民用データ参照	WEB配信登録機能にて登録されたデータをWEB上で参照することが可能

3 メインメニュー（管理者）



各メニューへ

役場内管理PCのシステム起動時

4 データ登録（管理者）

項目名称	項目
名称	文字
総人口	数値
男性人口	数値
女性人口	数値
世帯数	数値
高齢者数	数値
*	

登録するデータ項目を設定する

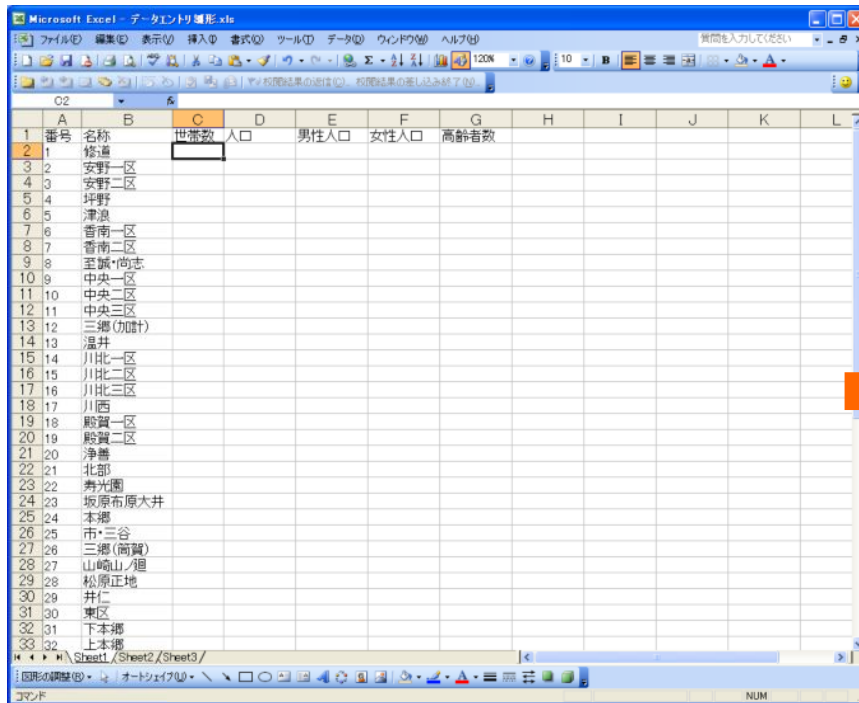
データ名称	番号	名称	世帯数	人口	男性人口	女性人口	高齢者数
集落基礎データ	1	修道	0	393	0	0	192
	2	安野一区	0	245	0	0	91
	3	安野二区	0	145	0	0	78
	4	坪野	0	236	0	0	122
	5	津浪	0	385	0	0	146
	6	香南一区	0	210	0	0	72
	7	香南二区	0	154	0	0	58
	8	至誠・尚志	0	158	0	0	79
	9	中央一区	0	144	0	0	67
	10	中央二区	0	171	0	0	83
	11	中央三区	0	153	0	0	61
	12	三郷(加計)	0	305	0	0	112
	13	温井	0	55	0	0	24
	14	川北一区	0	198	0	0	32

作成した項目に値を入力

タイトル 集落基礎データ
基準とする地図データ 集落
登録日 2008/02/25
更新日 2008/02/25
内容
集落の基礎データ

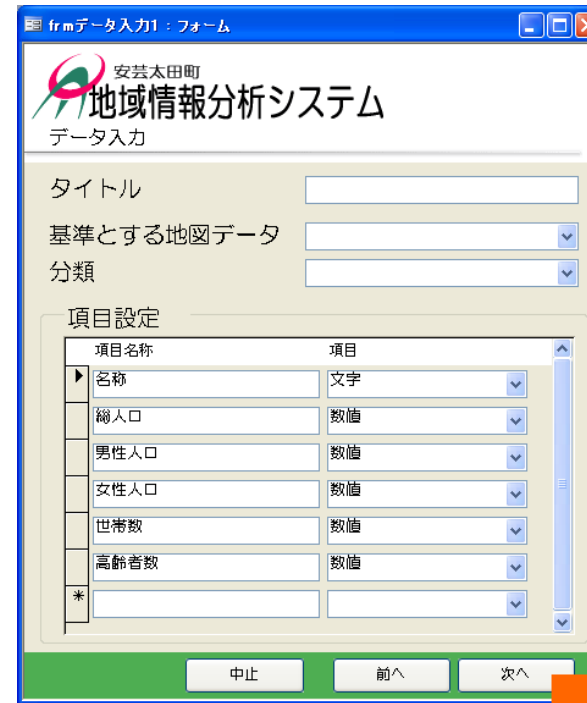
作成したデータのタイトル、概要を入力してデータ登録完了

5 EXCELよりデータ登録（管理者）



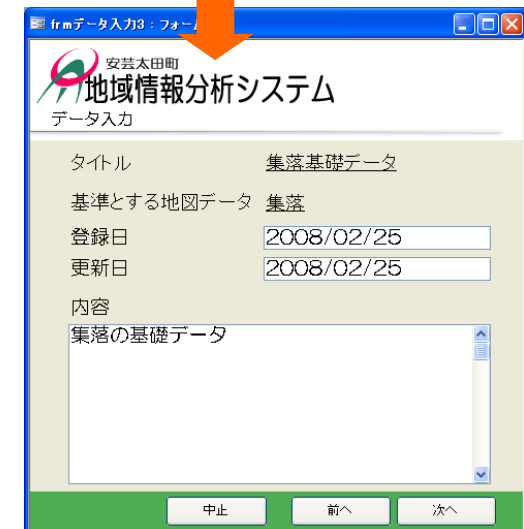
1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
2	番号	名称	世帯数	人口	男性人口	女性人口	高齢者数					
3	2	安野一区										
4	3	安野二区										
5	4	坪野										
6	5	津浪										
7	6	菅南二区										
8	7	菅南一区										
9	8	至旗・尚志										
10	9	中央二区										
11	10	中央一区										
12	11	三郷(加計)										
13	12	三郷										
14	13	温井										
15	14	川北一区										
16	15	川北二区										
17	16	川北三区										
18	17	川西										
19	18	船渡一区										
20	19	船渡二区										
21	20	浄善										
22	21	北部										
23	22	寿光園										
24	23	坂原布原大井										
25	24	本郷										
26	25	市三谷										
27	26	三郷(高麗)										
28	27	山崎山ノ原										
29	28	松原正地										
30	29	井仁										
31	30	東区										
32	31	下本郷										
33	32	上本郷										

EXCELでデータを作成
規定の雛形に従い作成



項目名称	項目
名称	文字
総人口	数値
男性人口	数値
女性人口	数値
世帯数	数値
高齢者数	数値
*	

データのタイトルと地図との
関連付けを行う。



タイトル 集落基礎データ

基準とする地図データ 集落

登録日 2008/02/25

更新日 2008/02/25

内容
集落の基礎データ

データの概要の入力を行い、
データの登録終了

6 分析地図データ作成（管理者）

frm条件設定：フォーム

安芸太田町
地域情報分析システム
条件設定

設定情報

分類

タイトル 集落の人口と高齢化率

登録日 2008/02/25

更新日 2008/02/25

内容

利用権限

地図データ公開 職員公開
 基礎データ公開 住民公開

データリスト

データ	項目
▶ 基礎データ	総人口
ランクA	100 ~
ランクB	50 ~ 100
ランクC	0 ~ 50
教育データ	小学校児童数
ランクA	~
ランクB	~
ランクC	~
基礎データ	高齢化率
ランクA	0 ~ 30
ランクB	30 ~ 40
ランクC	40 ~ 0
*	
ランクA	0 ~ 0

中止 前へ 次へ

複数データ、項目に対して条件を与えて評価

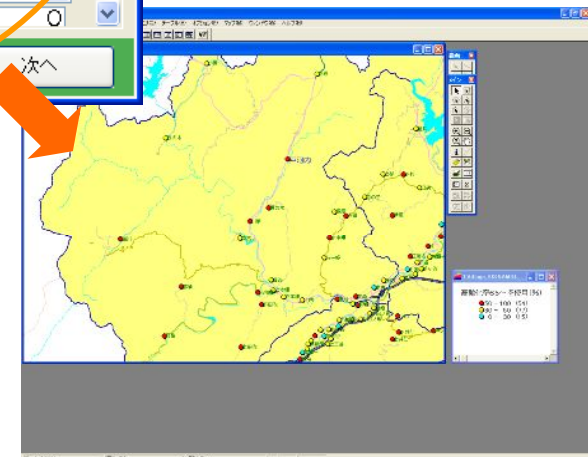
複数項目を演算式にて組み立てることも可能

(例)

世帯あたりの児童数割合
『児童数/世帯数』

登録されているデータに条件を与え評価を行う。
データを地図（MapInfo）へ転送

MapInfo上では独自に条件追加可能



7 WEB公開（管理者）

frmWEB配信：フォーム

安芸太田町
地域情報分析システム
WEB配信データ選択

番号	分類	名称	登録日	地図データ	EXCELデータ	職員公開	住民公開	アップロード	
1	統計	集落別人口分布	2008/3/1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	詳細
2		集落別高齢化率	2008/3/1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	詳細
3		集落別児童数と高齢者数	2008/3/1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	詳細
4		世帯状況と高齢者数	2008/3/1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細
5	行政所有	集落別要介護認定数	2008/3/1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細
6		〇〇サービス利用者	2008/3/1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	詳細

中止 決定

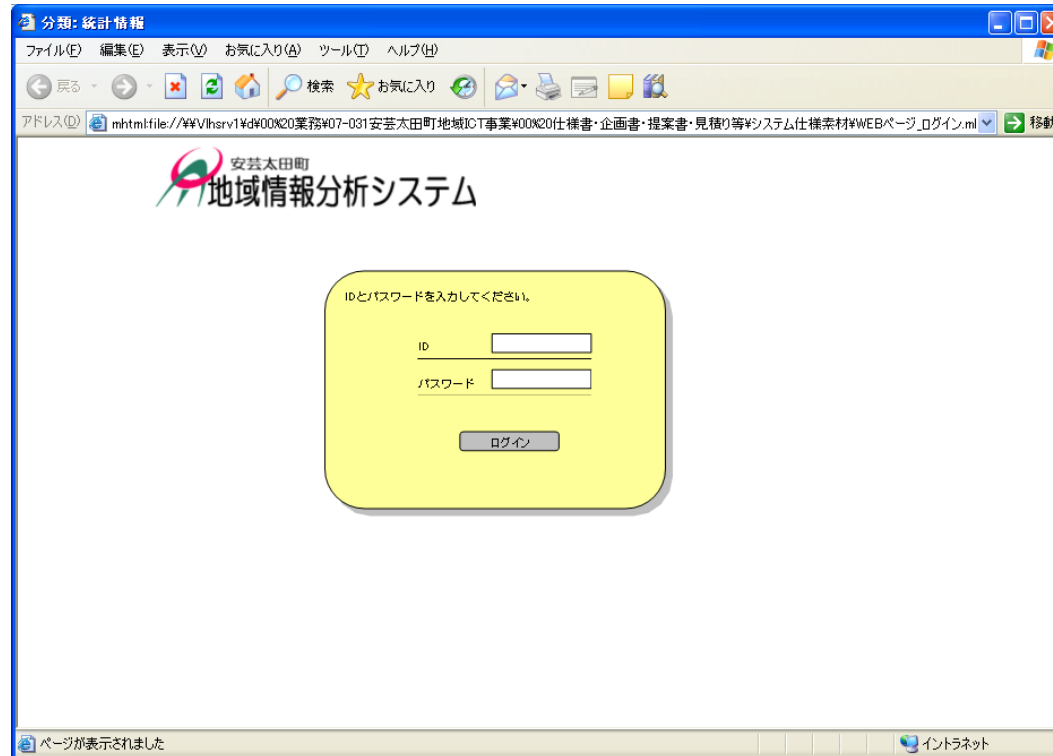
公開する制限をチェックした後、ファイルのアップロードを行う。

WEBサーバーへ素材を転送し、住民が参照可能となる



WEBサーバー

8 WEBページアクセス（住民、NPO、一般町職員）



職員、NPO、住民ごとにアクセス権限が異なる。

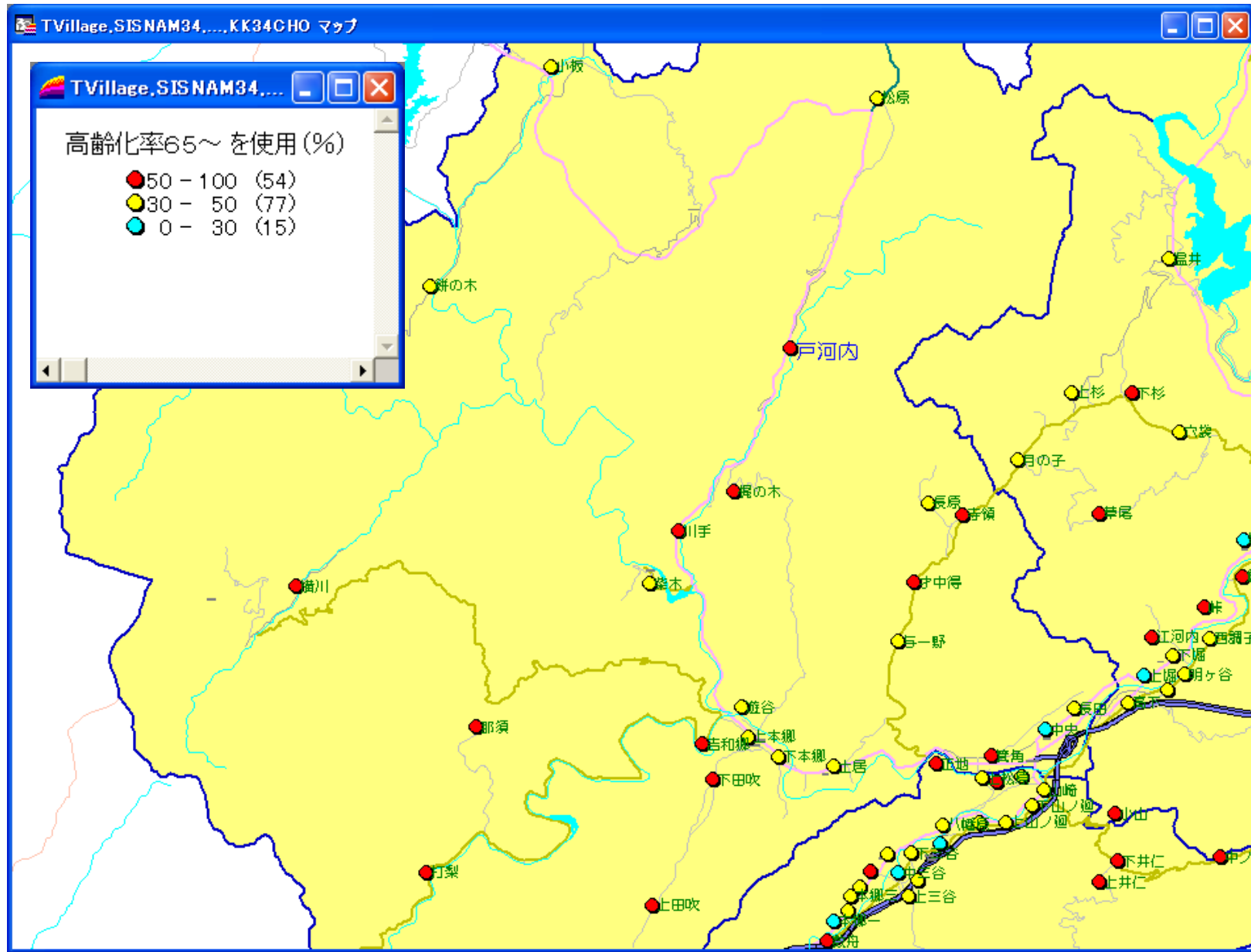
9 WEBページからデータ参照（住民、NPO、一般町職員）

The screenshot displays the 'Anayama Town Regional Information Analysis System' interface. On the left, a navigation menu lists various data categories under '統計' (Statistics), including '集落別人口(全域)', '集落別人口(戸河内地区)', '集落別人口(加計地区)', '集落別人口(筒賀地区)', '高齢者数(全域)', and '免許保有率(全域)'. An orange arrow points from the '統計' menu item to the main content area. The main content area features a map of the region with colored markers indicating data points. To the right of the map, a sidebar provides details for the selected data: '分類: 統計情報', '名称: 集落別高齢化率', and '登録日: 2008/1/13'. Below this, a '概要' (Summary) section contains a brief description. At the bottom right, a 'データのダウンロード' (Data Download) section offers two options: '地図画像ダウンロード' (Map Image Download) and 'EXCELデータダウンロード' (EXCEL Data Download), both of which are circled in orange. A callout box at the bottom center explains that the map image and the data used in the map can be downloaded as EXCEL data.

表示させたいタイトルを選択する。
この項目は管理者により変更可能

地図画像と地図で利用している
データをEXCELデータとして
ダウンロードすることが可能

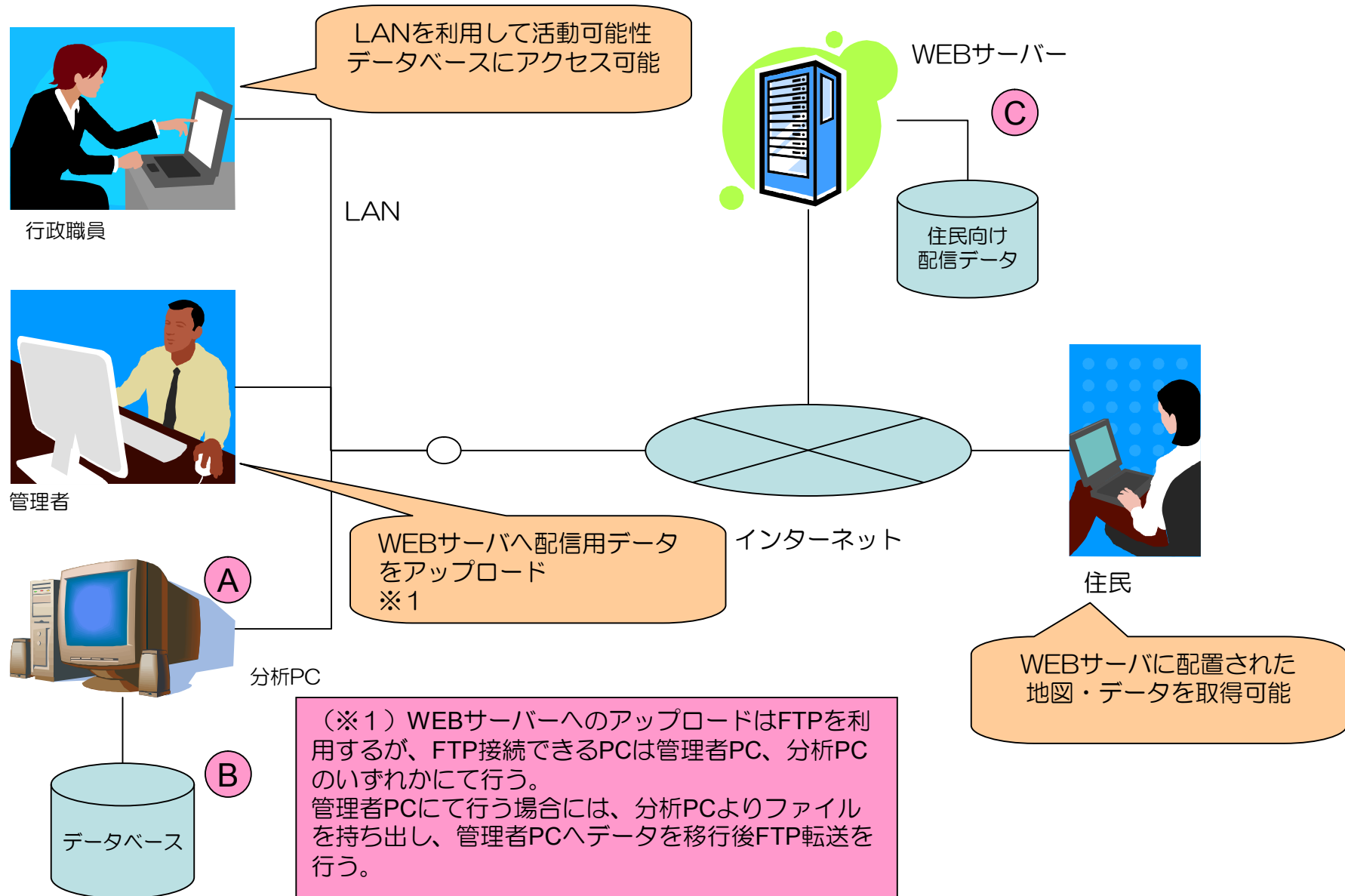
10 事例（高齢者状況を3段階で表現したもの）



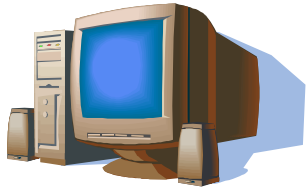
セキュリティ等



1 セキュリティ



2 分析用PC (A)



分析用PC

収集データ、統計データ等をハードディスク内に格納する。
また、公開用の地図、データの作成はこのPCにて作成する。
基本的にこのPC内のデータはPC外へ持ち出さない（公開用に加工されたデータ、管理者が許可したデータを除く）
WEBサーバーへ加工したデータをFTP経由で転送する。

スペック

OSにWindows XPを搭載したPC。装備はWindows XPの推奨環境に準じる

アプリケーション

Microsoft Office2003
MapInfo Professional Ver9.0

セキュリティ

ウィルスバスター2008

転送データについて

転送するデータはデータベース内のデータを基に作成した地図データ及び集計したCSVデータ

PC、データの取り扱いは町役場内の管理者の元管理を行う。

システムへアクセスするためには、認証情報（ID、パスワード）を用いる。認証情報については管理者が保有管理を行う。

格納データのPC外部への持ち出しは原則禁止とする。但し、WEB公開用データは管理者が確認した後、持ち出しを行う。

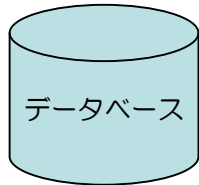
Windowsアップデート、ウィルスパターンファイル更新処理は管理者が随時行う。更新内容については町役場内規定に準じる。

ネットワークを介してこのPCへのアクセスは限定したユーザーに限る。

また、このPCから他の役場内PCへのアクセスは行わない。

このPCから外部WEBサーバーへFTPにてファイル転送を行う。

3 システム・データベース (B)



システム・データベース

収集データ、統計データ、地図データを格納
データベースはMicrosoftAccess形式

システム・データベース

MicrosoftAccessで構築されたMDBファイルにて稼動するプログラム。

地図制御部分についてはMapInfoProfessionalエンジンを用い、Accessより制御を行う。

作成する地図ファイルの加工はMapInfoProfessionalで加工することも可能。

アップロードするファイルは地図画像ファイルはJPEG形式、集計データはCSV形式を利用する。

4 WEBサーバー (C)



WEBサーバー

分析用PCよりFTP経由でアップロードされた地図画像、データをWEB公開する。
公開するデータによっては利用者を限定することがあり、ID、パスワードにてログインして参照する。

プログラム

プログラム言語はPHPを利用する。

ログイン機能、メニュー階層表示部分を動的に管理するためにプログラム化を行う。

データ

表示メニューをデータベースに格納する。

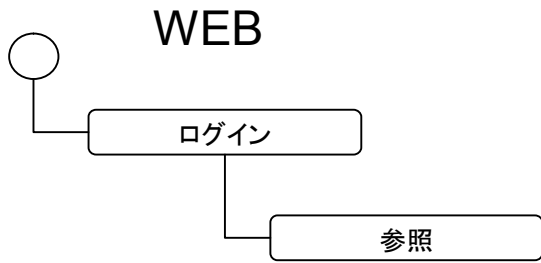
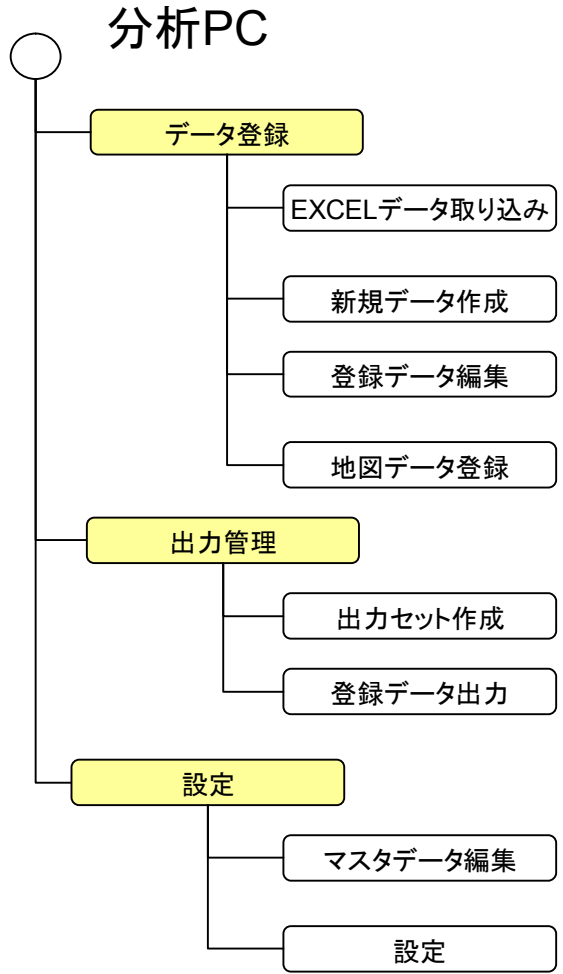
データベースはMySQLを利用する。

分析用PCよりアップロードされた地図画像データ (JPEG) と集計データ (CSV) はサーバー内の所定の位置に配置し、必要に応じてユーザーよりダウンロード可能とする。

システム・データ仕様



メニュー階層 設定	作成:2008.03.11
	更新:



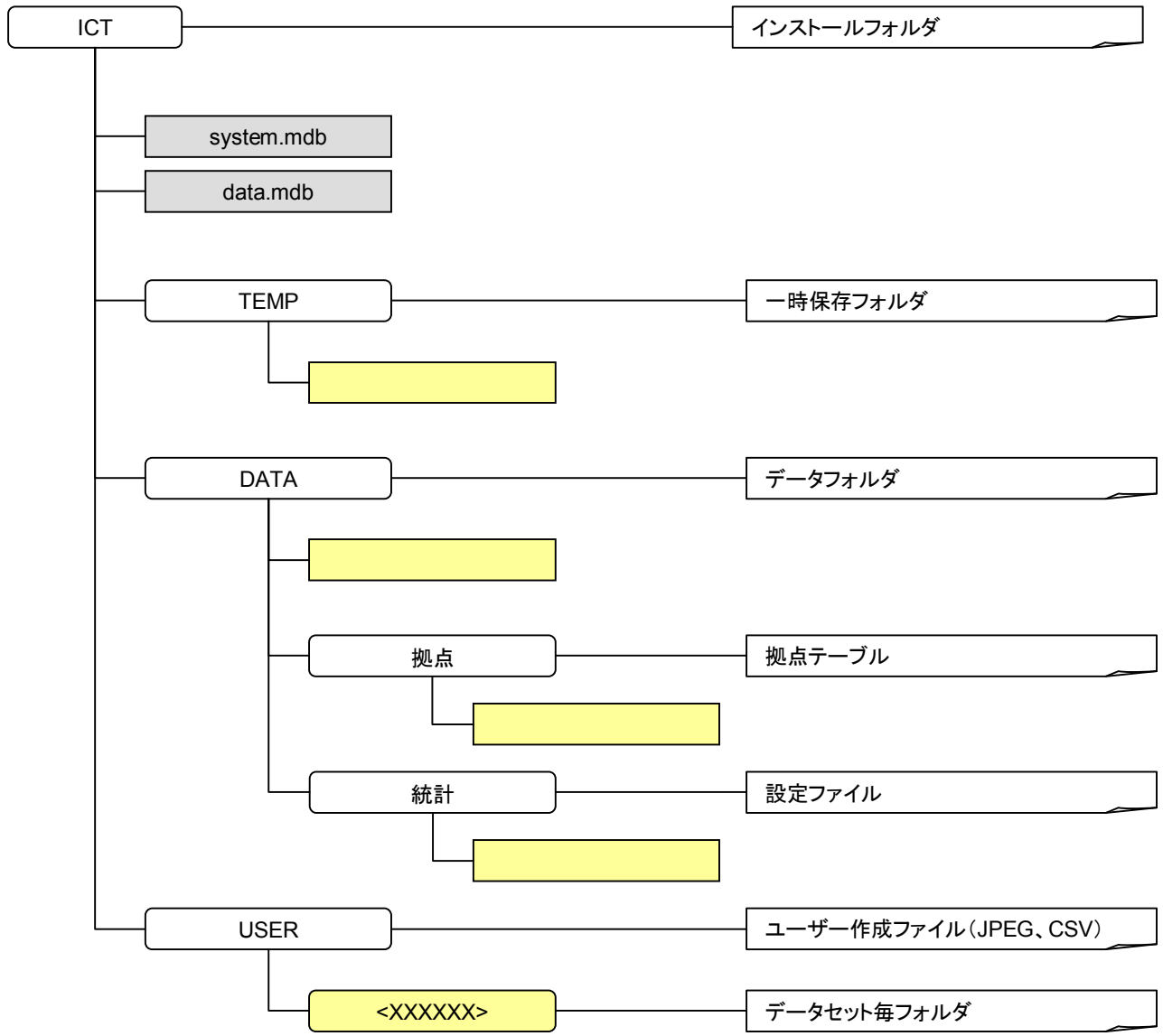
テーブル一覧	作成:2008.03.11
	更新:

テーブル項目	テーブル名称	内容
データセット	T_DATASET	
分類	TM_CLASS	
データセット構成	T_DATASET_MEMBER	
ユーザー	T_USER	
データセット地図	T_DATASET_MAP	
登録基準地図	TM_MAP_BASE	
登録データ(地図)	TM_MAP_DATA	
登録背景地図	TM_MAP_BACK	
ユーザー区分	TM_USER_CLASS	
フィールドタイプ	TM_FIELDTYPE	

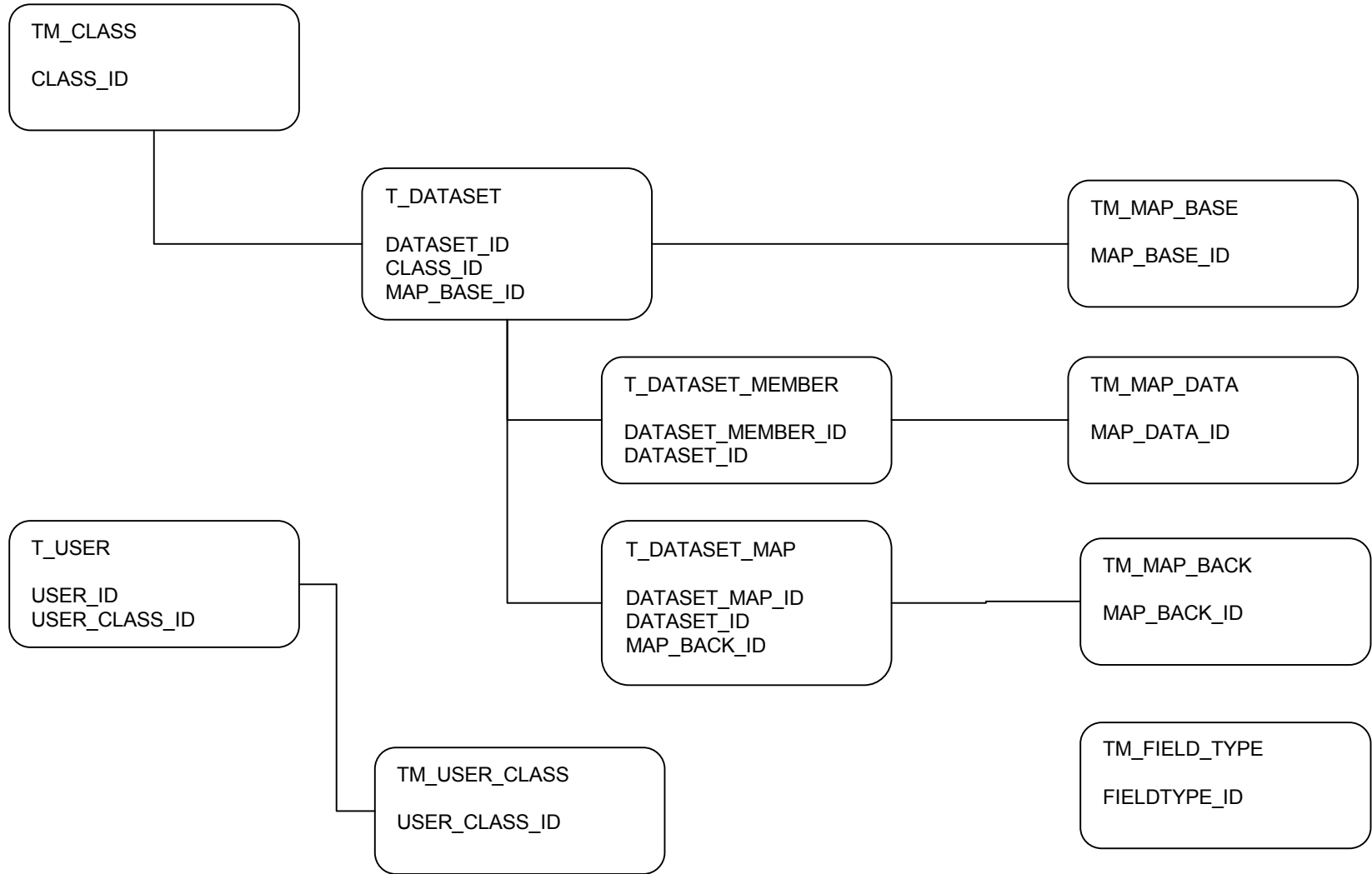
命名規則	作成:2008.03.11
	更新:

テーブル関連		変数	
テーブル	T_XXXXX	byte	by
マスタテーブル	M_XXXXX	int	int
一時テーブル	~XXXXX	long	lng
フィールド名称	XXXXX	double	dbl
		bool	b
		char	c
		string	str
		object	obj
関数等共通ルール			
共通関数	comXXXXXX		
地図関連関数	mapXXXXX		

インストールイメージ	作成: 2008.03.11
	更新:



テーブル相関	作成:2008.03.11
	更新:



データセット	作成:2008.03.11
T_DATASET	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	DATASET_ID	long				
2	CLASS_ID	long				
3	TITLE	string	50			名称
4	DATE_REGIST	string	20			登録日
5	DATE_UPDATE	string	20			更新日
6	COMMENT	string				内容
7	AUTH1	int				地図データ公開
8	AUTH2	int				基礎データ公開
9	AUTH3	int				職員公開
10	AUTH4	int				住民公開
11	MAP_BASE_ID	int				基準地図レベル
12	DELFLAG	int				削除フラグ
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

データセット構成	作成:2008.03.11
T_DATASET_MEMBER	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	DATASET_MEMBER_ID	long				
2	DATASET_ID	long				
3	TABLENAME	string	20			テーブル名
4	FIELDNAME	string	20			フィールド名
5	CONDITION_FROM1	double				条件1の開始値
6	CONDITION_TO1	double				条件1の終了値
7	CONDITION_FROM2	double				条件2の開始値
8	CONDITION_TO2	double				条件2の終了値
9	CONDITION_FROM3	double				条件3の開始値
10	CONDITION_TO3	double				条件3の終了値
11	COLOR1	long				条件1の主題図カラー
12	COLOR2	long				条件2の主題図カラー
13	COLOR3	long				条件3の主題図カラー
14	DELFLAG	int				削除フラグ
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

データセット地図	作成:2008.03.11
T_DATASET_MAP	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	DATASET_MAP_ID	long				
2	DATASET_ID	long				
3	TABLENAME	string	20			テーブル名
4	DELFLAG	int				削除フラグ
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

分類	作成:2008.03.11
TM_CLASS	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	CLASS_ID	long				
2	TITLE	string	50			分類名称
3	DELFLAG	int				削除フラグ
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

登録地図_基準	作成:2008.03.11
TM_MAP_BASE	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	MAP_BASE_ID	long				
2	TITLE	string	50			名称
3	TABLENAME	string	50			テーブル名称
4	DELFLAG	int				削除フラグ
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

登録地図_データ	作成:2008.03.11
TM_MAP_DATA	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	MAP_DATA_ID	long				
2	TITLE	string	50			名称
3	TABLENAME	string	50			テーブル名称
4	DELFLAG	int				削除フラグ
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

登録地図_背景	作成:2008.03.11
TM_MAP_BACK	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	MAP_BACK_ID	long				
2	TITLE	string	50			名称
3	TABLENAME	string	50			テーブル名称
4	DELFLAG	int				削除フラグ
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

ユーザー	作成:2008.03.11
T_USER	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	USER_ID	long				
2	ID	string	20			
3	PASSWORD	string	20			
4	DATE_REGIST	string	20			
5	COMMENT	string				コメント
6	DELFLAG	int				削除フラグ
7	USER_CLASS_ID	int				ユーザー区分
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

ユーザー区分	作成:2008.03.11
TM_USER_CLASS	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	USER_CLASS_ID	long				
2	TITLE	string	50			クラス名称
3	DELFLAG	int				削除フラグ
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

フィールドタイプ	作成:2008.03.11
TM_FIELDTYPE	

id	fieldname	type	Length	Index	Null	memo
1	FIELD_TYPE_ID	long				
2	TITLE	string	50			フィールド名称
3	TYPE	int				型
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						